

令和5年度

事業報告書

計算書類

一般財団法人新潟県地域医療推進機構

令和5年度事業報告  
— 魚沼基幹病院 —

(令和6年3月31日現在)

## 第1章 令和5年度事業報告

### < 令和5年度の実施事業概要 >

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけ変更に対応しながら、地域の医療機関との連携強化、診療の質・体制の向上を進めました。また、費用高騰の情勢下にあっても持続可能な経営基盤の安定化を図りました。

#### 1 地域全体でひとつの病院

魚沼圏域地域医療構想調整会議での協議を経て、紹介受診重点医療機関になることが新潟県より公表されました。

外来機能担当、地域医療連携ネットワーク担当の二人の病院長特命補佐の下、逆紹介推進とうおぬま・米ねっとの加入促進に取り組みました。圏域医療機関及び圏域自治体の首長訪問をし、紹介受診重点医療機関と逆紹介推進に対する理解と協力を頂きました。

連携強化に向けて、外来担当の病院長特命補佐と圏域医師会長と圏域病院の連携責任医師との意見交換を行いました。また地域連携推進室スタッフが圏域全医療機関を訪問し、紹介受診重点医療機関の報告及び逆紹介推進と紹介受診のお願いをしました。

#### 2 診療の質/体制の向上

循環器内科では入院、外来で心臓リハビリテーションが可能であり、複数名の心臓リハビリテーション指導士のもと令和5年度からは十日町病院も当院と連携し実施可能となりました。

医療の質の向上等に資するため、令和5年9月12日、13日に日本医療機能評価機構が実施する病院機能評価を受審しました。令和6年2月9日付けで病院機能評価の審査結果が通知され、主たる機能：一般病院2及び副機能：精神科病院共に認定されました。

がんゲノム医療連携病院の指定を目指し、がんゲノム医療WGで実施した検査運用プロトコルに関するアンケート調査から浮彫となった問題を整理しました。ゲノム医療全般に係る体制等の整備が必要であり、次年度の課題として継続して検討していきます。

#### 3 働き方改革/教育機能・職場環境の向上

令和5年度の初期臨床研修医募集においては、5名の基幹型研修医を当院にて採用しました。令和6年度の募集においては、新潟県や情報発信事業者による合同説明会に参加したほか、当院独自の病院説明会を開催し、動画配信など医学生への情報発信に積極的に取り組みました。

令和5年2月22日付けで厚生労働大臣から看護師の特定行為に係る指定研修機関として指定を受け、令和5年度は7名(「栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連」1名、「動脈血液ガス分析関連」3名、「精神及び神経症状に係る薬剤投与関連」1名、「在宅・慢性期パッケージ」2名)の研修生を受け入れました。

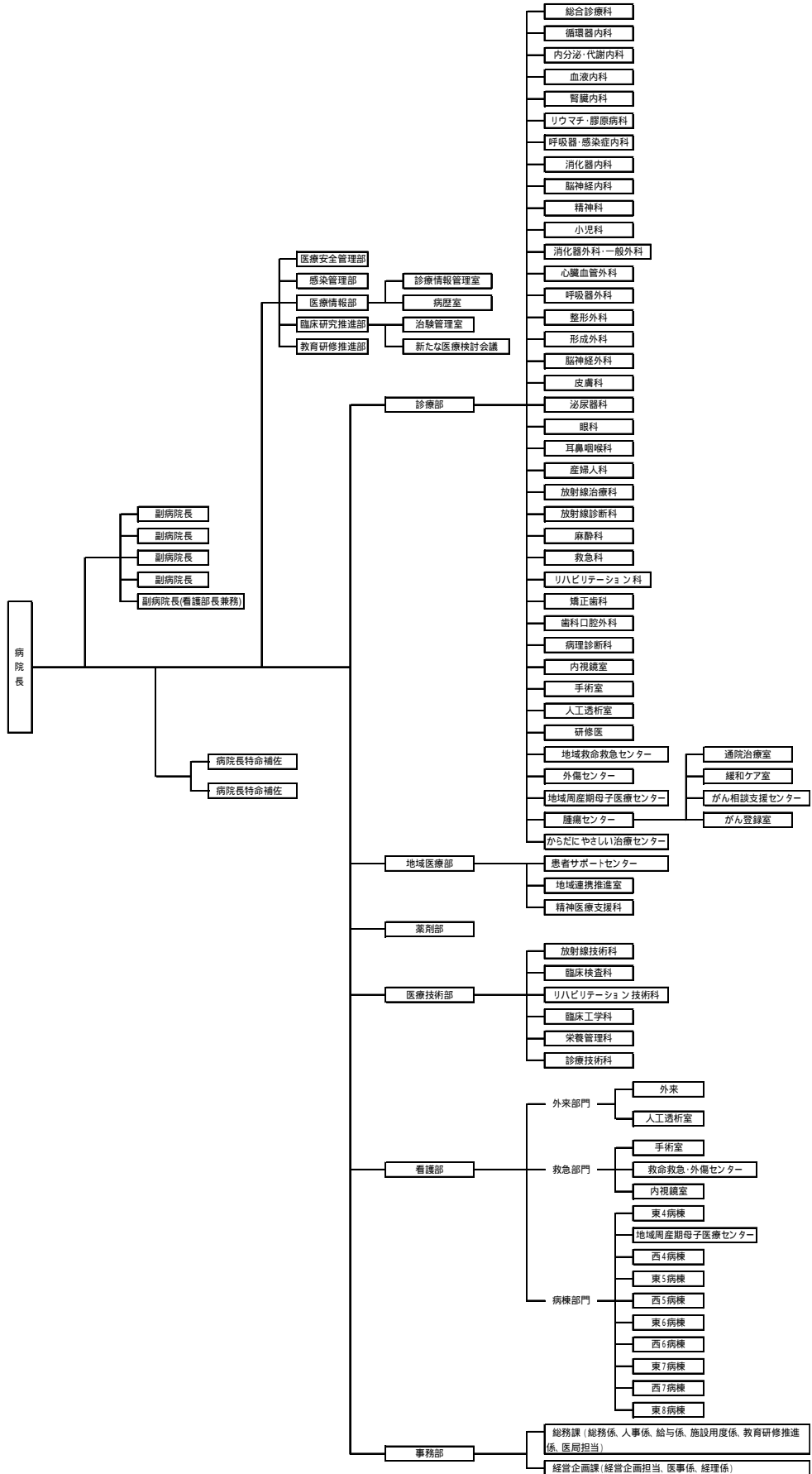
#### 4 経営基盤の安定化

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類変更や血液内科の体制縮小などの情勢の変化の下で、収支均衡に努めました。血液内科の常勤医が不在となり入院患者の受け入れが出来なくなったことを契機として、病棟の診療科構成の見直しを行いました。病棟間の入院患者の回転率の平準化や受け入れ環境の効率化を行いました。

令和5年度から始まった医療機器等の更新にあっては、機器の更新推奨、修理可能の有無や時期等を確認し、中・長期的な更新計画の見直しを行い、超音波画像診断装置7台を含む医療機器更新31案件について更新整備を行いました。

# 1 病院の基本情報

## (1) 病院の組織図



## (2) 病院長及び副病院長

- ・病院長 鈴木 榮一
- ・副病院長 高田 俊範、須田 剛士、藤原 浩、生越 章、高橋 みはる(兼看護部長)

## (3) 診療科(標榜科)

標榜診療科(31科)

(単位:人)

| 診療科       | 医師数 | 診療科      | 医師数 | 診療科        | 医師数 |
|-----------|-----|----------|-----|------------|-----|
| 内科(総合診療科) | 3   | 消化器外科    | 5   | 産婦人科       | 8   |
| 循環器内科     | 3   | 乳腺・内分泌外科 | 0   | 放射線治療科     | 1   |
| 内分泌・代謝内科  | 2   | 心臓血管外科   | 1   | 放射線診断科     | 1   |
| 血液内科      | 0   | 呼吸器外科    | 1   | 麻酔科        | 3   |
| 腎臓内科      | 4   | 整形外科     | 9   | 救急科        | 2   |
| リウマチ科     | 0   | 形成外科     | 0   | リハビリテーション科 | 2   |
| 呼吸器・感染症内科 | 4   | 脳神経外科    | 3   | 矯正歯科       | 0   |
| 消化器内科     | 5   | 皮膚科      | 2   | 歯科口腔外科     | 2   |
| 脳神経内科     | 3   | 泌尿器科     | 3   | 病理診断科      | 2   |
| 精神科       | 3   | 眼科       | 2   |            |     |
| 小児科       | 6   | 耳鼻咽喉科    | 3   | 計          | 83  |

内科(総合診療科)に病院長を含む。非常勤医師・研修医を除く。

(令和6年3月31日現在)

リウマチ科は新潟大学医歯学総合病院の助勤医師により週1回診療。

乳腺・内分泌外科は消化器外科医師により週3回診療。

矯正歯科は新潟大学医歯学総合病院の助勤医師により週1回診療。

## 2 地域連携

### (1) 地域連携における魚沼基幹病院の役割と課題

#### ア 地域連携における魚沼基幹病院の役割

魚沼圏域地域医療構想調整会議での協議を経て、紹介受診重点医療機関になることが新潟県より公表されました。

また、外来機能担当、地域医療連携ネットワーク担当の2人の病院長特命補佐の下、逆紹介推進とうおぬま・米ねっとの加入促進に取り組みました。圏域医療機関及び圏域自治体の首長訪問をし、紹介受診重点医療機関と逆紹介推進に対する理解と協力を頂きました。

当院からの転院搬送における南魚沼市消防本部大和分署への一極集中是正を目的に、引き続き圏域内の下り搬送について圏域内で検討を進めました。

#### イ 地域連携における魚沼基幹病院の課題

逆紹介率は向上しましたが、目に見える紹介率向上といった好循環にはまだ繋がっていません。紹介を増やすためにも地域の医療機関の先生方と当院医師との顔の見える関係作りの機会として意見交換会等を設けました。

またうおぬま・米ねっと加入率については、魚沼圏域に住所のある入院患者50%未満の加入から取組後は70%近くの加入率となりました。今後はうおぬま・米ねっとを通じた診療情報共有の仕組みづくりなど引き続き検討が必要です。

## 紹介率の推移

(単位: %)

|      | 4月   | 5月   | 6月   | 7月   | 8月   | 9月   | 10月  | 11月  | 12月  | 1月   | 2月   | 3月   | 平均   |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| R元年度 | 37.6 | 38.9 | 39.3 | 37.9 | 34.3 | 39.7 | 36.9 | 38.5 | 39.3 | 36.2 | 40.1 | 41.8 | 38.3 |
| R2年度 | 48.3 | 46.3 | 42.6 | 42.3 | 43.7 | 45.4 | 46.7 | 46.8 | 55.4 | 48.2 | 50.1 | 48.7 | 46.7 |
| R3年度 | 40.6 | 39.4 | 41.8 | 44.3 | 39.1 | 42.4 | 41.0 | 41.4 | 41.7 | 38.6 | 39.1 | 41.5 | 40.9 |
| R4年度 | 42.9 | 40.0 | 43.8 | 40.0 | 36.0 | 41.3 | 39.2 | 40.0 | 40.2 | 36.9 | 37.0 | 34.0 | 39.2 |
| R5年度 | 38.4 | 35.5 | 39.2 | 39.0 | 37.0 | 40.8 | 41.7 | 41.4 | 38.6 | 40.1 | 42.3 | 44.1 | 39.8 |

R3年度実績から地域医療支援病院の指定要件に基づいた算出方法に変更

## 逆紹介率の推移

(単位: %)

|      | 4月   | 5月   | 6月   | 7月   | 8月   | 9月   | 10月  | 11月  | 12月  | 1月   | 2月   | 3月   | 平均   |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| R元年度 | 26.0 | 29.0 | 29.2 | 29.2 | 28.1 | 31.2 | 33.1 | 29.0 | 30.5 | 32.9 | 34.1 | 41.7 | 30.9 |
| R2年度 | 36.1 | 35.3 | 30.5 | 31.9 | 32.2 | 35.9 | 33.1 | 38.7 | 45.4 | 43.6 | 48.5 | 46.2 | 37.6 |
| R3年度 | 33.0 | 32.0 | 33.8 | 31.0 | 28.8 | 37.7 | 36.1 | 36.8 | 42.6 | 48.2 | 52.0 | 54.1 | 38.2 |
| R4年度 | 43.6 | 39.2 | 40.8 | 38.0 | 39.8 | 42.1 | 45.0 | 47.1 | 52.6 | 52.4 | 47.8 | 53.6 | 45.0 |
| R5年度 | 45.2 | 43.8 | 45.3 | 41.3 | 46.0 | 50.8 | 52.7 | 53.2 | 55.4 | 57.8 | 70.2 | 78.7 | 53.4 |

R3年度実績から地域医療支援病院の指定要件に基づいた算出方法に変更

## (2) 地域医療機関との連携、入退院支援強化

## ア 地域医療機関との連携強化の取組

連携強化に向けて、外来担当の病院長特命補佐と圏域医師会長、圏域病院の連携責任医師との意見交換を行いました。また地域連携推進室スタッフが圏域全医療機関を訪問し、紹介受診重点医療機関の報告及び逆紹介推進と紹介受診のお願いをしました。

地域の医療機関の先生方と当院医師との顔の見える関係作りの為、令和6年1月に妻有地域、魚沼・南魚沼地域にて意見交換会を企画しました。

## 医師派遣の取組み(延べ派遣人数)

(単位:人)

|            | 派遣総数  | 魚沼市立小出病院 | 南魚沼市民病院 | 五日町病院 | 新潟県立十日町病院 | 月平均  |
|------------|-------|----------|---------|-------|-----------|------|
| 小児科        | 0     |          |         |       |           | 0.0  |
| 産婦人科       | 153   | 51       |         |       | 102       | 12.8 |
| 消化器内科      | 145   | 122      |         |       | 23        | 12.1 |
| 麻酔科        | 38    |          |         |       | 38        | 3.2  |
| 呼吸器・感染症内科  | 75    |          | 51      |       | 24        | 6.3  |
| 消化器外科・一般外科 | 68    | 26       |         |       | 42        | 5.7  |
| 神経内科       | 50    |          | 50      |       |           | 4.2  |
| 腎臓内科       | 98    |          | 47      |       | 51        | 8.2  |
| 精神科        | 52    | 48       |         | 4     |           | 4.3  |
| 整形外科       | 97    | 74       |         |       | 23        | 8.1  |
| 内科(総合診療科)  | 0     |          |         |       |           | 0.0  |
| 皮膚科        | 12    |          |         | 12    |           | 1.0  |
| 血液内科       | 6     | 2        |         |       | 4         | 0.5  |
| 脳神経外科      | 68    | 19       |         |       | 49        | 5.7  |
| 心臓血管外科     | 12    |          |         |       | 12        | 1.0  |
| 眼科         | 41    |          |         |       | 41        | 3.4  |
| 耳鼻科        | 93    |          |         |       | 93        | 7.8  |
| 循環器内科      | 43    |          |         |       | 43        | 3.6  |
| 計          | 1,051 | 342      | 148     | 16    | 545       | 87.6 |
| 月平均        | 87.6  | 28.5     | 12.3    | 1.3   | 45.4      |      |

(令和5年4月～令和6年3月)

## イ 入退院支援機能強化の取組

院内の先生方へ地域の医療機関情報を随時お伝えするとともに行政機関、地域の医療機関、地域住民へ当院の方針を発信し、可能な範囲で逆紹介を進め、令和6年3月度の逆紹介率は78.7%となりました。また病棟やうおぬま・米ねっと事務局にも協力いただきながら、うおぬま・米ねっとの加入促進を推進しました。

### (3) 地域への情報発信、地域での活動

#### ア 情報発信

##### (ア) 病院ホームページ

当院のホームページは、情報量が増え、必要な情報にアクセスしにくい状況となっていました。ホームページ利用者が必要な情報に容易にアクセスできるように、令和5年3月にホームページをリニューアルしました。

ホームページのリニューアルにより、トップページに「ピックアップ」、「掲示板」を新設して特にアピールしたい情報が目につきやすくした他、臨床研修医募集特設サイトもリニューアルし、情報を整理して臨床研修医の募集に効果的に使用できるようにしました。院長室・救命センター・基幹病院・看護部の各ブログやお知らせを随時更新し、病院の最新情報の発信に努めました。

##### (イ) 医療機関向け広報

魚沼基幹病院の取組を発信する場の一つとして、医療機関向けの広報誌「KIKANリンク」を継続して発行しました。

また紹介受診重点医療機関の広報については、きかんのみかたを地元行政、医療機関へ訪問・配布し、有効活用していただきました。

##### (ウ) 住民向け広報

1階と2階の待合スペース計6か所に設置したデジタルサイネージで、受診方法など病院からのお知らせを放映しています。放映コンテンツは定期的に見直し、タイムリーな情報を広報する手段のひとつとして有効活用しています。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、令和5年度も引き続き集合型の市民公開講座の開催は見送り、令和6年2月に「がん診療連携拠点病院である当院の役割」を紹介した市民公開講座をWeb開催しました。

また、広報誌「きかんのみかた」を2回発行しました。9月30日に発行した第5号では、「紹介受診重点医療機関」を、3月31日に発行した第6号では、「はたらく医療機器」を特集しました。

## イ 地域行事への参加

南魚沼グルメマラソンでは、救護所の開設に伴い、主催者から人員派遣の依頼を受け、医療スタッフ(医師2名、看護師2名)を派遣しました。

また、越後浦佐毘沙門堂裸押合大祭の福餅撒与に副病院長が参加し、参拝客に福餅を撒きました。

## 3 人材の確保・育成

### (1) 病院体制

#### ア 職員配置状況

##### (ア) 職員配置状況

基幹病院の診療体制等の方針に基づき、次の表のとおり職員を配置しました。

病院職員配置状況

(単位:人)

|               | 医師 | 歯科医師 | 医師計 | 看護職員 | その他医療技術職員 | 事務等 | 医師以外の職員計 | 合計  |
|---------------|----|------|-----|------|-----------|-----|----------|-----|
| R5年度必要数(a)    | 82 | 2    | 84  | 398  | 152       | 38  | 588      | 672 |
| 機構職員(b)       | 81 | 2    | 83  | 357  | 140       | 36  | 533      | 616 |
| 職員            | 43 | 1    | 44  | 304  | 140       | 36  | 480      | 524 |
| センター教員        | 38 | 1    | 39  |      |           |     |          | 39  |
| R5年4月新卒採用(g)  |    |      |     | 26   |           |     | 26       | 26  |
| R5年度期中途採用     |    |      |     | 27   |           |     | 27       | 27  |
| 派遣・出向職員(c)    |    |      |     | 110  | 13        | 4   | 127      | 127 |
| 県派遣職員         |    |      |     | 109  | 13        | 3   | 125      | 125 |
| 大学等出向職員       |    |      |     | 1    |           | 1   | 2        | 2   |
| 職員計(d:b+c)    | 81 | 2    | 83  | 467  | 153       | 40  | 660      | 743 |
| 産育休等職員(e)     |    |      | 0   | 35   | 8         | 1   | 44       | 44  |
| 実職員数(f:d-e-g) | 81 | 2    | 83  | 406  | 145       | 39  | 590      | 673 |
| 不足職員数(a-f)    | 1  | 0    | 1   | 0    | 7         | 0   | 7        | 8   |

非常勤医師・人材派遣は含まない。

(令和6年3月31日現在)

その他医療技術職員は医師・看護職員以外の医療スタッフ。

(イ) 看護職員配置状況

令和4年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症患者の受入のために臨機応変に対応を行いました。医療の安全性の向上、看護職員の労働環境の改善、経営の安定化に向け人員配置を行いました。

看護体制

(単位:床)

| 部門       | 病棟等            | 診療科等                | 病床数等 | 届出している入院料      | 体制         |
|----------|----------------|---------------------|------|----------------|------------|
| 外来部門     | 外来・通院治療室       |                     |      |                |            |
| 部門       | 人工透析室          |                     | 24   |                |            |
| 救急部門     | 手術室            |                     |      |                | 変則2交替 + 拘束 |
|          | 地域救命救急センター     | 救急外来の対応含む           | 14   | 救命救急入院料3       | 変則2交代制     |
| 内視鏡・放射線部 |                |                     |      |                |            |
| 病棟部門     | 東4病棟・GCU       | 小児・腎・内分泌・皮膚・耳鼻・歯科口腔 | 49   | 小児入院医療管理料3     |            |
|          | NICU           |                     | 6    | 新生児特定集中治療室管理料2 |            |
|          | 西4病棟           | 産婦人                 | 43   | 急性期一般入院料1      |            |
|          | 西5病棟           | 整形外                 | 49   |                |            |
|          | 東5病棟           | 消化器系・乳腺外            | 49   |                |            |
|          | 西6病棟           | 眼・脳神外               | 48   |                |            |
|          | 東6病棟           | 脳神経内科・泌尿器科          | 48   |                |            |
| 西7病棟     | 感染症・呼吸器系・循環器内科 | 49                  |      |                |            |
| 東8病棟     | 精神科            |                     | 50   | 精神病棟入院基本料13対1  |            |

(令和6年3月31日現在)

イ 職員の確保対策

(ア) 医師の確保対策

新潟大学医局と連携を図り医師の確保に努めています。

診療体制の維持が難しくなっていた救急科については令和5年12月に1名を採用しました。また、放射線診断科については令和6年度の採用に向けて調整を進めています。今後も現任医師の交流関係に加え、医師人材紹介サービスの業者を変更し、より積極的なリクルート活動を展開し医師の確保に努めます。



## (イ) 看護職員の確保対策

### 新規採用

新卒採用にあたっては、新人教育、PNS、2交替制など当院看護部の魅力や目指す姿をPRして、当院への入職意向を高めていく「採用ブランディング戦略」を継続し、合同就職説明会・インターンシップ、看護部サイトを通じた情報発信に加え、学生へ直接アプローチを行うダイレクト・リクルーティングなど積極的な採用戦略を展開しました。

#### オンライン合同就職説明会参加、インターンシップの開催

新型コロナウイルス感染症の影響による対面型イベントの中止や規模縮小に伴い、合同就職説明会においてはオンラインでの実施が普及しました。オンライン合同就職説明会では、エリアを問わずアプローチが可能になるため、積極的に参加し、併せて採用試験においてもオンライン実施での日程を設定することで、関東圏からの受験数増加を狙いました。

一方、対面型イベントであるインターンシップについては、新型コロナウイルス感染症の影響により開催できず、学生が実際に体験できる場を提供できませんでしたが、ウィズコロナにより今後は対面型のイベントが増えることを見込み、令和6年度には対面型インターンシップを実施できるよう準備を進めています。

#### 採用ツールの強化

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、学生に対するWeb媒体による広報の重要性が高まった中で、病院ホームページの看護部採用サイトを活用し、教育制度、キャリア支援制度、病棟紹介、先輩の声など看護学生にとって魅力的な切り口での発信に努めるとともに、看護部サイトの写真差替及び情報更新を行い、信頼性の維持に努めました。

#### ダイレクト・リクルーティングの実施

就職説明会での情報収集やスカウトメールを活用し、看護部が積極的に求める人材に対して直接当院の魅力をアピールしました。

#### 地元高校生へのリクルート活動の充実

地域出身の看護職員を増やすため、地元高校生の病院見学を受け入れ、卒業生による魅力発信など地道な活動により裾野を広げる取組を行い、中長期的な視野に立った人材確保策を進めました。

#### 看護学生修学資金貸与事業の実施

養成校や地元高校へ案内を配布するなど事業の周知を図り、令和5年度も新潟県内外の看護学生に対して修学資金の貸し付けを行いました。

| 名称   | 区分   | 貸与月額    |
|------|--|---------|
| 一般貸与 | 保健師、助産師、看護師の学校養成所(県内外を問わない)に在学している者          | 50,000円 |
| 特別貸与 | 新潟県外の保健師、助産師、看護師の学校養成所に在学している者で、学業成績が極めて優秀な者 | 75,000円 |

学校養成所を卒業後、直ちに魚沼基幹病院に就職し、5年間継続して看護職員の業務に従事した場合、返済を免除

|     |   |
|-----|---|
| 内 訳 | 令和2年度決定分：一般6人、特別1人<br>令和3年度決定分：一般10人、特別0人<br>令和4年度決定分：一般3人、特別0人<br>令和5年度決定分：一般2人、特別0人 |
|-----|---|

## 既卒・経験者採用

既卒・経験者採用に当たっては、質の高い人材の確保・定着を目的とした積極的な採用戦略を展開しました。

「キャリア支援」を重視した人材確保

自己啓発意識の高い求職者に対し、認定看護師資格取得支援制度や専門看護師修学資金貸与制度のキャリア支援について魅力をアピールすることで、人材育成戦略と連動した人材確保策を進めました。資格取得支援制度を利用し、認定看護師8人、専門看護師1人が履修済みです。

加えて、広報PRチームの協力を得てSNS(インスタグラム)を通じて経験豊富な看護職員へ病院の魅力をダイレクトに届ける取組を実施しました(令和6年3月現在フォロワー405人)。

病院独自の確保策の確立

既卒・経験者の確保定着に繋げるためには、転職を考えている看護人材に対してタイミングよく当院の魅力を伝える必要があります。

紹介会社を通じた採用を推進するだけでなく、病院独自の看護職員確保策として、思い立ったらすぐに当院職員とオンライン面談ができる「オンライン病院説明会」を令和3年に創設し、令和5年度も月2回設定し、当院と当院に興味を持った既卒者をダイレクトに繋ぐチャンネルを維持しました。

### (ウ) 薬剤師の確保対策

薬剤師の確保に向けては、新潟薬科大学など各養成校が主催する合同企業説明会への参加のほか、インターンシップや人材紹介会社の活用など積極的な確保対策を行いました。

また、新卒者向けに奨学金の返還支援制度を新設しました。

### (I) 他医療職員の確保対策

他医療職員の確保に関しては、求人広告、養成校への資料送付を通じて、募集・広報を図り、人材の確保を進めました。

### (オ) 事務職員の確保対策

新潟県からの派遣職員の派遣期間満了に伴い、順次、機構独自の事務職員の採用及び人材育成を進めていく必要があることから、病院事務の経験者などの人材確保を継続して進めました。

## (2) 医師の働き方改革への対応

医師が健康で働き続けられる環境整備するとともに、医療の質・安全を確保するため、令和6年度から医師の働き方改革が適用されます。A水準(年間時間外勤務時間 960 時間以内)の基準の適合に向けて医師の確保等に努めるとともに、基準に達することができない場合に備え B 水準(年間時間外勤務時間 1,860 時間以内)の申請を行いました。医療機関勤務環境評価センターの評価を受けた上で県に申請し令和6年3月5日に特定労務管理対象機関に指定されました。

## (3) ワーク・ライフ・バランスの推進

勤怠管理システムにより適正な勤怠管理を行うことで、職員ひとりひとりの意識の向上を促し、ワーク・ライフ・バランスの推進を図りました。年次有給休暇取得についても、個人及び所属長がリアルタイムに取得状況を把握できることで、義務日数の取得管理及び適切な取得を促し、取得促進に努めました。

## 4 教育研究の推進

### (1) 教育病院としての機能強化

#### ア 教育プログラムの作成

臨床研修プログラムは、教育体制を整備し、令和5年度からは内科研修の強化および選択科としてリハビリテーション科を追加し、より柔軟な臨床研修が実施できるプログラムとなりました。

#### イ 初期臨床研修医・専攻医の受入れと教育

令和5年度の初期臨床研修医募集においては、5名の基幹型研修医を当院にて採用しました。

令和6年度の募集においては、新潟県や情報発信事業者による合同説明会に参加したほか、当院独自の病院説明会を開催し、動画配信など医学生への情報発信に積極的に取り組みました。当院独自の説明会においては、研修医の生の声を医学生に届けられたことが好評でした。その結果、5名の医学生から臨床研修医採用面接への応募がありました。Web面接も活用し、全ての医学生と面接を行った結果、2名のマッチングが成立、更に、その後の二次募集では、6名の応募があり、結果、定員である8名の内定となりました。

協力型臨床研修施設からの初期臨床研修医の受入れについては、令和5年度は新潟大学医歯学総合病院から1名、県立十日町病院から2名、県立がんセンター新潟病院から2名、県立中央病院から1名の研修医を受入れました。

専門研修については、令和5年度は新潟大学医歯学総合病院から15名、東京都の国立成育医療研究センターから1名、聖路加国際病院から2名、帝京大学医学部附属病院から1名の専攻医を受入れました。

教育体制の強化として、臨床研修指導医講習会へ1名の医師が参加し、講習会受講医師の増員を図り、適切な教育が実施できる体制を整えました。

#### ウ 内科専門研修プログラムの募集

令和2年度にプログラムの認定を受け、令和5年度においても内科専門研修プログラムを履修する専攻医の募集を行いましたが、令和6年度採用の応募者はいませんでした。

#### エ 産婦人科専門研修プログラムの募集

平成30年度にプログラムの認定を受け、令和5年度においても産婦人科専門研修プログラムを履修する専攻医の募集を行いましたが、令和6年度採用の応募者はいませんでした。

#### オ 総合診療専門研修プログラムの申請

当院の特色でもある総合診療科において専門研修を行えるようにするため、令和4年度に総合診療科専門研修プログラムの申請をし、認定を受けました。これにより募集を開始しましたが応募者はいませんでした。

#### カ 整形外科専門研修プログラムの申請

令和5年度に申請を行い、プログラム認定を受けました。令和5年11月から専攻医の募集を開始し、1名の応募があり令和6年度に採用する予定です。

#### キ 帝京大学リハビリテーション専門研修プログラムの連携施設の申請

令和4年度に帝京大学リハビリテーション専門研修プログラムの連携施設として申請を行い、リハビリテーション科専攻医の受入れ体制を整備しました。令和5年度10月より1名を半年間受入れております。令和6年度においても1名を1年間受入れる予定です。

## (2) 院内研修制度の充実

人材育成プログラムに基づき、階層別研修(全体研修)として新採用研修、主任研修、キャリア開発研修、管理職研修を実施しました。各部門においては、部門別研修の企画・運営を行い、キャリアや職種に合わせ必要な専門的知識・技術等の習得や向上に努めました。

また、院内外の研修実績をホームページへ掲載し、当院の理念である「優れた医療人の育成」に向けて努力していることを広報しました。

## (3) UKBリサーチの開催

医師以外の職員が代表として研究発表を行う院内研究発表会「UKBリサーチ 2023」(通算7回目)を開催しました。14題の登録演題からポスターセッションにより6題を選考し、口述発表を経て最優秀演題賞1題、優秀演題賞2題を選考しました。多職種間の情報共有が進み、自ら疑問を解決しようとする医療人の育成に貢献しています。

## (4) 看護師の特定行為研修

令和5年2月22日付けで厚生労働大臣から看護師の特定行為に係る指定研修機関として指定を受け、令和5年度は延べ8名(「栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連」2名、「動脈血液ガス分析関連」3名、「精神及び神経症状に係る薬剤投与関連」1名、「在宅・慢性期パッケージ」2名)の研修生を受け入れ、全員が研修を修了しました。

令和6年度は、新たに「創傷管理関連」及び「術中麻酔管理領域パッケージ」を追加することとし、関東信越厚生局に事前相談を行い申請書類等の準備を進め、令和6年2月の医道審議会の審議に合わせて申請書類等を提出し、令和6年2月22日付けで承認を受けました。また、令和5年12月には令和6年度の研修生の募集を開始しました。

また、新潟大学医歯学総合病院が令和4年7月から開講している感染管理認定看護師(B課程)\*の臨地実習機関として協力依頼があり、令和6年1月から2名の当該研修生を受け入れました。

\*B課程とは、特定行為研修を組み込んでいる研修カリキュラム

## (5) 治験活動の充実

令和5年度は、組織体制の変更により、臨床研究推進部が新たに設置され、同部内にゲノム医療や医療支援ロボットの活用などを検討する「新たな医療検討会議」と既設の「治験管理室」が組み入れられました。

## (6) 教育実習の受入

令和5年度は、新潟大学医学部医学科5年生の臨床実習を3人、5・6年生の臨床実習を7人受け入れました。それ以外にも、短期研修等を希望する研修医、医学生、看護学生、救命救急士等の実習等を受け入れました。

また、新潟高校、小出高校、長岡高校の病院見学を受け入れ、医師や看護師等による講演を行ったほか、新潟県看護協会が主催する高校生一日看護師体験事業では、28人の高校生を受け入れました。

| 受入日                 | 概要                               |
|---------------------|----------------------------------|
| R5.4.1 ~ R5.12.31   | 新潟大学医学生臨床実習 (4・5年生) 3人受入 (5年生受入) |
| R5.1.16 ~ R5.7.28   | 新潟大学医学生臨床実習 (5・6年生) 7人受入 (6年生受入) |
| R5.4.21 ~ R5.9.27   | 新潟県立十日町看護専門学校より看護部に166人受入        |
| R5.11.6 ~ R5.11.10  | 新潟県立十日町看護専門学校より看護部に8人受入          |
| R5.12.14 ~ R5.12.21 | 新潟県立十日町看護専門学校より看護部に2人受入          |

|                     |                                     |
|---------------------|-------------------------------------|
| R5.6.12 ~ R6.3.7    | 北里大学保健衛生専門学院より看護部に 218 人受入          |
| R5.6.19 ~ R5.7.14   | 新潟大学より看護部に 1 人受入                    |
| R5.7.4 ~ R5.7.12    | 長岡崇徳大学より看護部に 2 人受入                  |
| R5.7.17 ~ R5.8.4    | 新潟青陵大学より看護部に 1 人受入                  |
| R5.9.25 ~ R5.10.20  | 新潟青陵大学より看護部に 1 人受入                  |
| R5.8.14 ~ R5.9.15   | 新潟県立看護大学より看護部に 2 人受入                |
| R5.9.19 ~ R5.10.13  | 新潟看護医療専門学校より看護部に 17 人受入             |
| R5.5.8 ~ R5.7.14    | 群馬パース大学より放射線技術科に 1 人受入              |
| R5.6.5 ~ R5.7.28    | 新潟医療福祉大学より放射線技術科に 1 人受入             |
| R5.8.14 ~ R5.9.15   | 新潟医療福祉大学より放射線技術科に 1 人受入             |
| R5.4.10 ~ R5.5.12   | 新潟医療福祉大学より臨床検査科に 1 人受入              |
| R5.5.15 ~ R5.5.26   | 北里大学保健衛生専門学院より臨床検査科に 1 人受入          |
| R5.5.15 ~ R5.8.25   | 北里大学保健衛生専門学院より臨床検査科に 5 人受入          |
| R5.4.3 ~ R5.5.26    | 新潟医療福祉大学よりリハビリ OT に 1 人受入           |
| R5.5.15 ~ R5.7.22   | 新潟医療福祉大学よりリハビリ PT に 1 人受入           |
| R5.6.5 ~ R5.7.30    | 新潟リハビリテーション大学よりリハビリ PT に 1 人受入      |
| R5.8.21 ~ R5.10.13  | 晴陵リハビリテーション学院よりリハビリ OT に 1 人受入      |
| R5.8.21 ~ R5.10.13  | 晴陵リハビリテーション学院よりリハビリ PT に 1 人受入      |
| R5.8.28 ~ R5.9.1    | 新潟医療福祉大学よりリハビリ OT に 1 人受入           |
| R5.8.28 ~ R5.10.19  | 看護リハビリ新潟保健医療専門学校よりリハビリ PT に 1 人受入   |
| R5.10.2 ~ R5.10.20  | 新潟医療福祉大学よりリハビリ ST に 1 人受入           |
| R6.2.5 ~ R6.2.22    | 晴陵リハビリテーション学院よりリハビリ OT に 1 人受入      |
| R6.2.5 ~ R6.2.22    | 晴陵リハビリテーション学院よりリハビリ PT に 1 人受入      |
| R5.9.11 ~ R5.9.15   | 北里大学保健衛生専門学院より栄養管理科に 1 人受入          |
| R5.9.25 ~ R5.9.29   | 北里大学保健衛生専門学院より栄養管理科に 2 人受入          |
| R5.10.2 ~ R5.10.20  | 北里大学保健衛生専門学院より栄養管理科に 2 人受入          |
| R5.10.16 ~ R5.10.26 | 悠久山栄養調理専門学校より栄養管理科に 1 人受入           |
| R5.5.15 ~ R5.6.9    | 新潟医療福祉大学より臨床工学科に 1 人受入              |
| R5.5.29 ~ R5.6.14   | 新潟青陵大学より精神医療支援科に 1 人受入              |
| R5.8.21 ~ R5.10.13  | 晴陵リハビリテーション学院より精神医療支援科に 1 人受入       |
| R5.8.28 ~ R5.9.1    | 新潟医療福祉大学より眼科(視能訓練士)へ 1 人受入          |
| R5.7.3 ~ R5.7.28    | 新潟薬科大学附属医療技術専門学校より地域救命救急センターに 1 人受入 |
| R5.10.2 ~ R5.10.27  | 新潟医療福祉大学より地域救命救急センターに 2 人受入         |
| R5.10.30 ~ R5.11.24 | 新潟医療福祉大学より地域救命救急センターに 2 人受入         |
| R6.2.13 ~ R6.2.29   | 群馬医療福祉大学短期大学部より経営企画課に 1 人受入         |

## 5 診療・経営の質の向上

### (1) 診療体制

#### ア 病棟稼働計画・稼働病床数

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類変更や血液内科の体制縮小などの情勢の変化を受けて、稼働病床の見直しや診療科構成の見直しを含めた病棟再編を進めました。

病棟許可病床・稼働計画・稼働病床数

(単位:床)

|        | 救命救急 | 東4 | 西4 | 東5 | 西5 | 東6 | 西6 | 東7 | 西7 | 東8 | 計   |
|--------|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 許可病床   | 14   | 55 | 43 | 49 | 49 | 48 | 48 | 49 | 49 | 50 | 454 |
| 稼働計画病床 | 14   | 55 | 43 | 49 | 49 | 48 | 48 |    | 49 | 50 | 405 |
| 稼働病床   | 14   | 55 | 43 | 49 | 49 | 48 | 48 |    | 49 | 50 | 405 |

東4にNICU・GCU12床、西7に感染症病床4床含む。東8は精神科病床。

イ 外来・入院患者数の推移

(ア) 外来患者の推移

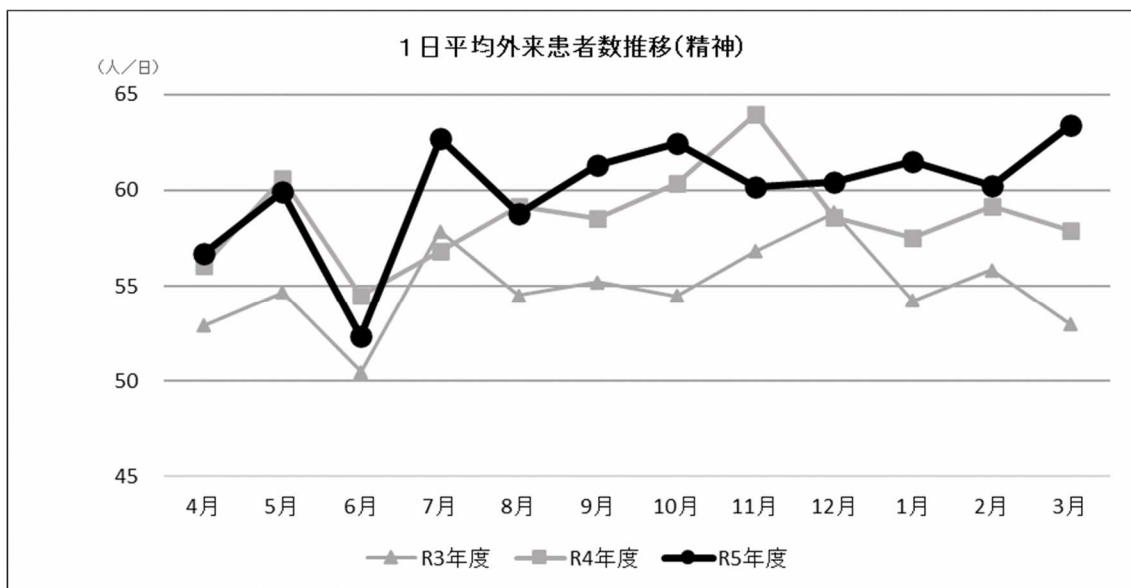
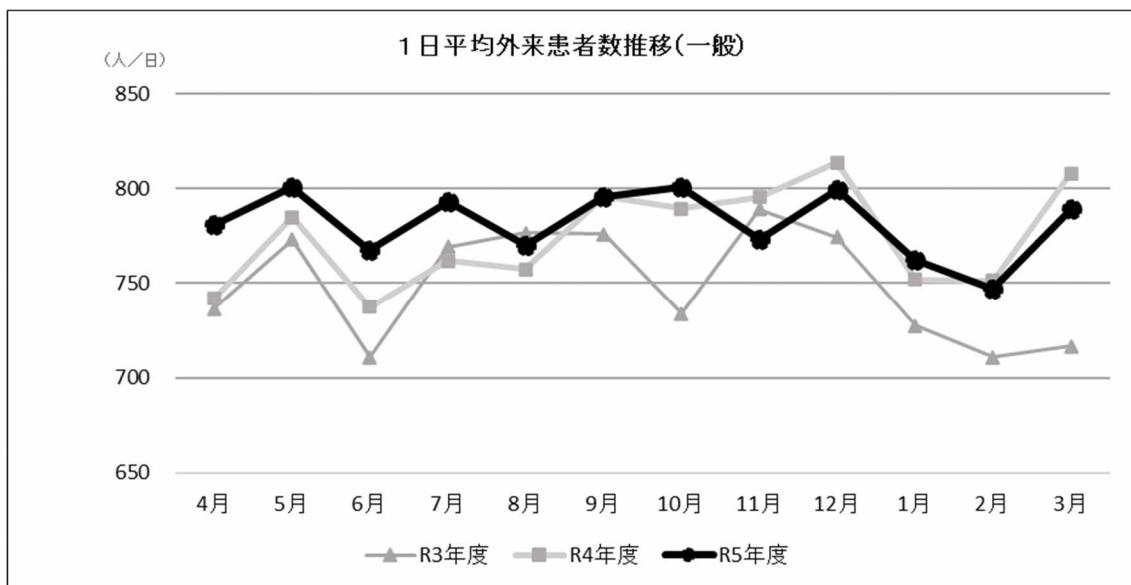
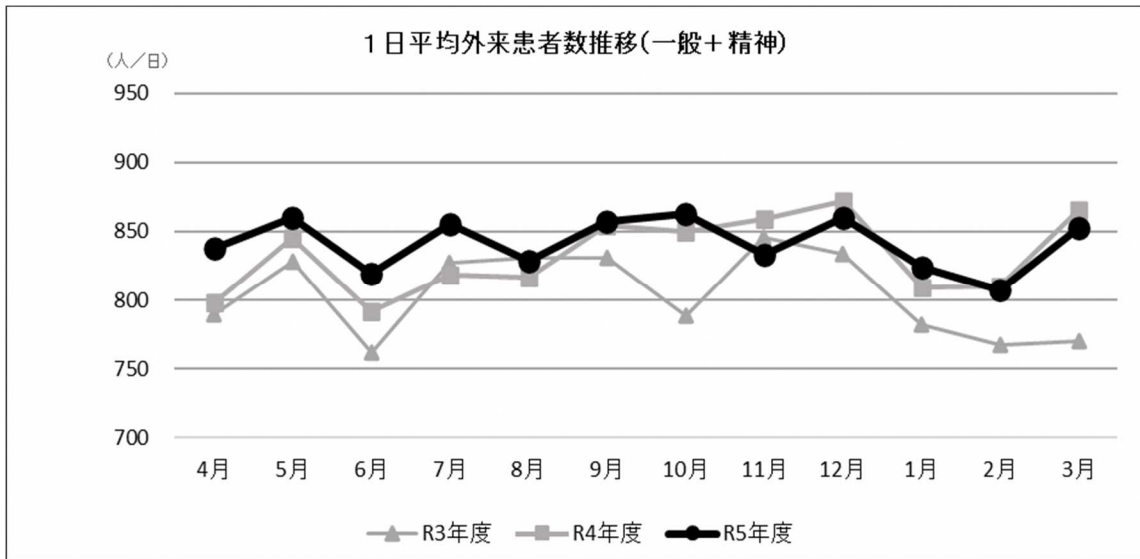
新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが5類相当となり、令和5年度の1日平均患者数は841.8人と拡大以前の令和元年度を含めて過去最大となりました。一般外来の1日平均患者数は昨年度比101.0%、精神外来の1日平均患者数は前年度比102.2%となりました。

外来患者数推移

(単位:人)

|      |      |    | 4月     | 5月     | 6月     | 7月     | 8月     | 9月     | 10月    | 11月    | 12月    | 1月     | 2月     | 3月     | 計       |
|------|------|----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 延患者数 | R3年度 | 一般 | 15,462 | 13,917 | 15,636 | 15,389 | 16,312 | 15,521 | 15,411 | 15,784 | 15,489 | 13,818 | 12,795 | 16,480 | 182,014 |
|      |      | 精神 | 1,111  | 984    | 1,110  | 1,157  | 1,145  | 1,104  | 1,144  | 1,136  | 1,177  | 1,030  | 1,005  | 1,218  | 13,321  |
|      |      | 計  | 16,573 | 14,901 | 16,746 | 16,546 | 17,457 | 16,625 | 16,555 | 16,920 | 16,666 | 14,848 | 13,800 | 17,698 | 195,335 |
|      | R4年度 | 一般 | 14,838 | 14,915 | 16,223 | 15,239 | 16,663 | 15,920 | 15,793 | 15,913 | 16,276 | 14,290 | 14,276 | 17,775 | 188,121 |
|      |      | 精神 | 1,121  | 1,152  | 1,199  | 1,136  | 1,301  | 1,171  | 1,207  | 1,279  | 1,172  | 1,093  | 1,124  | 1,274  | 14,229  |
|      |      | 計  | 15,959 | 16,067 | 17,422 | 16,375 | 17,964 | 17,091 | 17,000 | 17,192 | 17,448 | 15,383 | 15,400 | 19,049 | 202,350 |
|      | R5年度 | 一般 | 15,625 | 16,011 | 16,884 | 15,860 | 16,946 | 15,914 | 16,812 | 15,469 | 15,997 | 14,483 | 14,199 | 15,785 | 189,985 |
|      |      | 精神 | 1,134  | 1,199  | 1,151  | 1,254  | 1,294  | 1,226  | 1,311  | 1,204  | 1,209  | 1,169  | 1,144  | 1,268  | 14,563  |
|      |      | 計  | 16,759 | 17,210 | 18,035 | 17,114 | 18,240 | 17,140 | 18,123 | 16,673 | 17,206 | 15,652 | 15,343 | 17,053 | 204,548 |

|         |      |    | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    | 10月   | 11月   | 12月   | 1月    | 2月    | 3月    | 平均    |
|---------|------|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1日平均患者数 | R3年度 | 一般 | 736.3 | 773.2 | 710.7 | 769.5 | 776.8 | 776.1 | 733.9 | 789.2 | 774.5 | 727.3 | 710.8 | 716.5 | 752.1 |
|         |      | 精神 | 52.9  | 54.7  | 50.5  | 57.9  | 54.5  | 55.2  | 54.5  | 56.8  | 58.9  | 54.2  | 55.8  | 53.0  | 55.0  |
|         |      | 計  | 789.2 | 827.8 | 761.2 | 827.3 | 831.3 | 831.3 | 788.3 | 846.0 | 833.3 | 781.5 | 766.7 | 769.5 | 807.2 |
|         | R4年度 | 一般 | 741.9 | 785.0 | 737.4 | 762.0 | 757.4 | 796.0 | 789.7 | 795.7 | 813.8 | 752.1 | 751.4 | 808.0 | 774.2 |
|         |      | 精神 | 56.1  | 60.6  | 54.5  | 56.8  | 59.1  | 58.6  | 60.4  | 64.0  | 58.6  | 57.5  | 59.2  | 57.9  | 58.6  |
|         |      | 計  | 798.0 | 845.6 | 791.9 | 818.8 | 816.5 | 854.6 | 850.0 | 859.6 | 872.4 | 809.6 | 810.5 | 865.9 | 832.7 |
|         | R5年度 | 一般 | 781.3 | 800.6 | 767.5 | 793.0 | 770.3 | 795.7 | 800.6 | 773.5 | 799.9 | 762.3 | 747.3 | 789.3 | 781.8 |
|         |      | 精神 | 56.7  | 60.0  | 52.3  | 62.7  | 58.8  | 61.3  | 62.4  | 60.2  | 60.5  | 61.5  | 60.2  | 63.4  | 59.9  |
|         |      | 計  | 838.0 | 860.5 | 819.8 | 855.7 | 829.1 | 857.0 | 863.0 | 833.7 | 860.3 | 823.8 | 807.5 | 852.7 | 841.8 |



(1) 入院患者の推移

病棟間の入院患者の回転率の平準化や受入れ環境の効率化を行い、入院患者数も外来と同様に過去最大となりました。一般入院の1日平均患者数は昨年度比 103.5%増加、精神入院の1日平均患者数は 139.0%となりました。

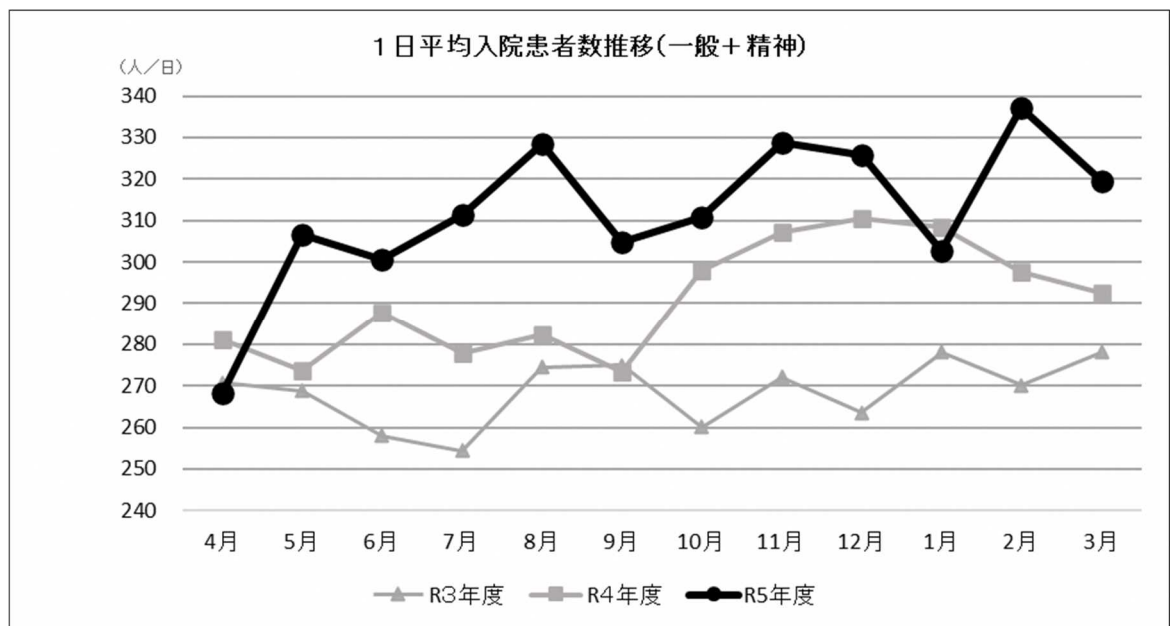
入院患者数推移

(単位:人)

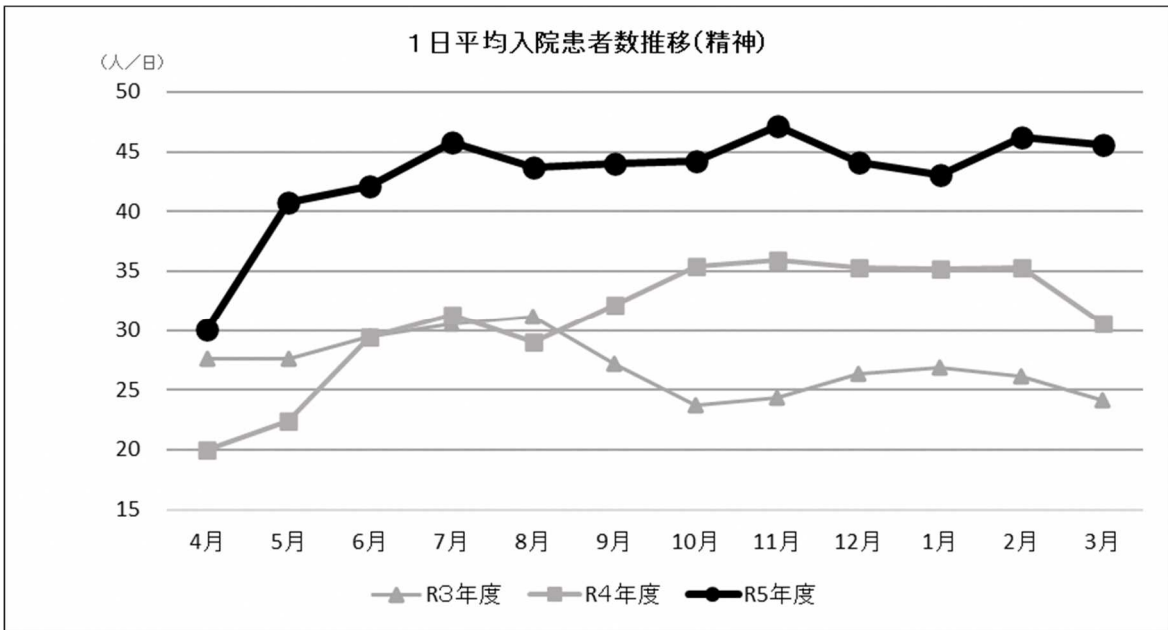
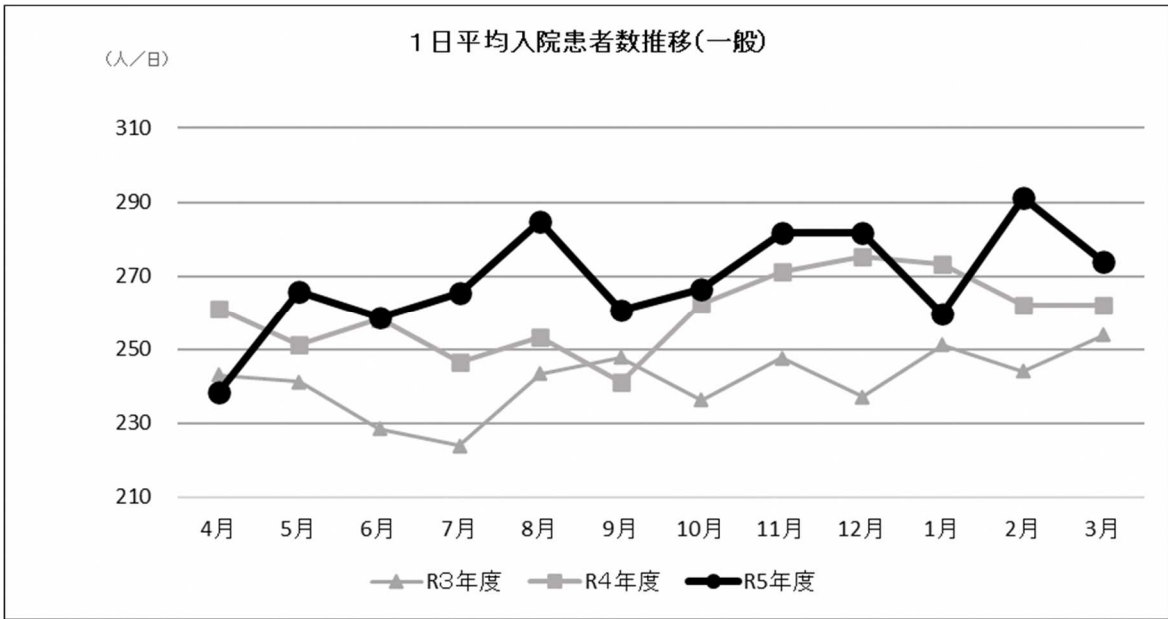
|      |      |    | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月     | 9月    | 10月   | 11月   | 12月    | 1月    | 2月    | 3月    | 計       |
|------|------|----|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|---------|
| 延患者数 | R3年度 | 一般 | 7,293 | 7,477 | 6,854 | 6,939 | 7,544  | 7,432 | 7,325 | 7,430 | 7,352  | 7,786 | 6,833 | 7,873 | 88,138  |
|      |      | 精神 | 829   | 855   | 884   | 946   | 966    | 816   | 736   | 730   | 818    | 834   | 731   | 749   | 9,894   |
|      |      | 計  | 8,122 | 8,332 | 7,738 | 7,885 | 8,510  | 8,248 | 8,061 | 8,160 | 8,170  | 8,620 | 7,564 | 8,622 | 98,032  |
|      | R4年度 | 一般 | 7,831 | 7,793 | 7,748 | 7,640 | 7,852  | 7,237 | 8,138 | 8,133 | 8,531  | 8,471 | 7,343 | 8,121 | 94,838  |
|      |      | 精神 | 600   | 693   | 882   | 971   | 900    | 965   | 1,097 | 1,079 | 1,096  | 1,091 | 989   | 948   | 11,311  |
|      |      | 計  | 8,431 | 8,486 | 8,630 | 8,611 | 8,752  | 8,202 | 9,235 | 9,212 | 9,627  | 9,562 | 8,332 | 9,069 | 106,149 |
|      | R5年度 | 一般 | 7,147 | 8,239 | 7,757 | 8,233 | 8,825  | 7,823 | 8,262 | 8,450 | 8,733  | 8,052 | 8,443 | 8,490 | 98,454  |
|      |      | 精神 | 901   | 1,265 | 1,264 | 1,418 | 1,354  | 1,321 | 1,372 | 1,414 | 1,369  | 1,336 | 1,339 | 1,414 | 15,767  |
|      |      | 計  | 8,048 | 9,504 | 9,021 | 9,651 | 10,179 | 9,144 | 9,634 | 9,864 | 10,102 | 9,388 | 9,782 | 9,904 | 114,221 |

|         |      |    | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    | 10月   | 11月   | 12月   | 1月    | 2月    | 3月    | 平均    |
|---------|------|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1日平均患者数 | R3年度 | 一般 | 243.1 | 241.2 | 228.5 | 223.8 | 243.4 | 247.7 | 236.3 | 247.7 | 237.2 | 251.2 | 244.0 | 254.0 | 241.5 |
|         |      | 精神 | 27.6  | 27.6  | 29.5  | 30.5  | 31.2  | 27.2  | 23.7  | 24.3  | 26.4  | 26.9  | 26.1  | 24.2  | 27.1  |
|         |      | 計  | 270.7 | 268.8 | 257.9 | 254.4 | 274.5 | 274.9 | 260.0 | 272.0 | 263.5 | 278.1 | 270.1 | 278.1 | 268.6 |
|         | R4年度 | 一般 | 261.0 | 251.4 | 258.3 | 246.5 | 253.3 | 241.2 | 262.5 | 271.1 | 275.2 | 273.3 | 262.3 | 262.0 | 259.8 |
|         |      | 精神 | 20.0  | 22.4  | 29.4  | 31.3  | 29.0  | 32.2  | 35.4  | 36.0  | 35.4  | 35.2  | 35.3  | 30.6  | 31.0  |
|         |      | 計  | 281.0 | 273.7 | 287.7 | 277.8 | 282.3 | 273.4 | 297.9 | 307.1 | 310.5 | 308.5 | 297.6 | 292.5 | 290.8 |
|         | R5年度 | 一般 | 238.2 | 265.8 | 258.6 | 265.6 | 284.7 | 260.8 | 266.5 | 281.7 | 281.7 | 259.7 | 291.1 | 273.9 | 269.0 |
|         |      | 精神 | 30.0  | 40.8  | 42.1  | 45.7  | 43.7  | 44.0  | 44.3  | 47.1  | 44.2  | 43.1  | 46.2  | 45.6  | 43.1  |
|         |      | 計  | 268.3 | 306.6 | 300.7 | 311.3 | 328.4 | 304.8 | 310.8 | 328.8 | 325.9 | 302.8 | 337.3 | 319.5 | 312.1 |

平成27年6月1日開院。







## (2) 診療機能の充実

当地域で循環器専門医が勤務する唯一の医療機関としての役割を果たすため、急患を除く広い範囲の循環器疾患に対応しました。循環器医師と放射線技術科看護師・技師が協力して、不整脈のアブレーション治療やペースメーカー植込み術を行いました。また心臓リハビリテーションは入院、外来で可能で、複数名の心臓リハビリテーション指導士のもと令和5年度からは十日町病院でも当院と連携し実施可能となりました。

地域がん診療連携拠点病院の指定を令和3年3月29日付で受けました。

腫瘍センター会議を定期的開催し、各室の業務を見直すなどして、がん診療機能の強化を図りました。がん診療については、がん患者の病態に応じたより適切ながん医療を提供できるよう、適宜カンサーボードを開催しました。緩和ケア診察室を活用し、緩和ケア診察日以外の日を利用して専門知識を持った看護師による相談支援を充実しました。また、当院以外で治療しているがん患者の緩和ケア診療等を充実するために診療を行う体制を整備し、受入れを始めました。

がん相談支援センターでは、療養生活・就労に関する相談を受け付け、地域の関係機関と連携を取りながら支援に努めています。また、がん患者サロンを定期的開催し、一般ながんの治療・予防・検診などに関する情報提供も行なっています。

がんの診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会(平成29年厚生労働省健康局長通知に準拠)を実施したほか、がん医療に携わる医療従事者を対象とした研修を実施しました。

地域の医療機関等と、がんに関する医療提供体制や社会的支援、緩和ケアについて情報を共有し、役割分担や支援等について検討する場として、魚沼地域がん診療連携協議会を令和6年2月に設置しました。また、がん患者の自殺リスクに対し、関係機関との連携強化等を目的に市町村と共同して研修を実施しました。

地域がん診療連携拠点病院の指定は、がん診療連携拠点病院等の指定要件が令和4年8月1日付で改正され、第三者評価の受審要件が未充足という理由により、令和5年4月1日から令和6年3月1日までの1年間であったことから、令和5年10月に指定更新申請を行い、令和6年3月26日付で令和6年度から指定年限3年で更新されました。なお、第三者評価については、日本医療機能評価機構が実施している病院機能評価を令和5年9月に受審しました。

全国の大学病院やがん診療連携拠点病院で整備が進んでおり、泌尿器科領域の治療においては標準治療に組み込まれて来ている現状を踏まえ、低侵襲性治療を推進する観点から、手術支援ロボット整備に係る検討を行うためWGを設置して議論を重ねました。

当院における診療の柱の一つである救急診療については、救急科常勤医が2名であるものの、非常勤医師と救急科以外の各科医師、救急科看護師、放射線技術科、臨床検査科、薬剤部が協力して、救急診療を行いました。

## (3) 病院機能評価の受審

医療の質の向上等に資するため、体系的な病院機能の評価ツールとして日本医療機能評価機構(以下「機構」という)が実施する病院機能評価を令和5年9月に受審することが令和4年3月の経営会議で承認されました。

評価機構が定めた評価項目をグループ化し、検討部会を設置して改善活動等の推進及び進捗管理を行い、クオリティマネジメント委員会を定期的開催して全体の情報共有を図りました。令和5年3月に評価機構が実施する模擬審査を受審し、模擬審査の講評を踏まえて改善活動等を推進しました。事前提出する自己評価調査票について、評価機構が提供する解説集を基にC評価となりうる状況(例)が残されていないか、全ての評価項目を確認し、評価項目担当にヒアリングを実施し、改善等を促しました。訪問審査当日に対応しない職員に対しても、説明会を開催し病院全体で準備をしました。

訪問審査は、9月12日、13日の2日間で実施されました。最後の講評では、概ね良好な感触でしたが、11月初旬に評価機構から「中間的な結果報告」が届き、評価Cの項目が1項目あったことから、補充的な審査を受審しました。令和6年2月9日付で病院機能評価の審査結果が通知され、主たる機能:一般病院2及び副機能:精神科病院共に認定されました。なお、認定に伴う改善要望事項はありませんでした。認定期間は、令和6年2月9日～令和11年2月8日。

(4) 医療安全・診療情報管理

ア 医療安全

(ア) 重要インシデントへの対策

令和5年度のインシデント報告件数は2,161件でした。これは令和4年度の1,864件を297件(16%)上回る件数となっており、報告する文化の醸成が図られているものと考えます。増加内容を発生事象で見ますと「ドレーン・チューブ」「療養上の場面(転倒・転落)」が増加しています。患者影響度(インシデントレベル)では、「レベル3b」の件数が29件と、令和4年度の19件を上回る件数となっていますが、医療安全管理委員会での事例検証において、過失ありと判断された事案は1件のみでした。報告されたインシデントについては、週1回の医療安全管理部検討会において再発防止策の検討を行うとともに対策の周知を行っています。

重点課題として取組を行ってきた患者誤認に関するインシデントについては118件の報告があり、令和4年度の98件を上回る結果となっています。

医療安全研修会についてはWeb研修の回数を増やし、2,098名の参加があり、令和4年度の1,404名を上回る参加数となっています。年度末には研修参加延べ人数で一人年2回の参加の基準を満たしていますが、一人2回の参加では約72%の達成率にとどまっています。

医療安全研修会実施状況

(単位:人・%)

| 開催日              | 研修テーマ                         | 対象者    | 参加人数  | 参加率   |
|------------------|-------------------------------|--------|-------|-------|
| 4月               | 医療機関におけるハラスメント(e-learning)    | 全職員    | 30    | 4.0   |
| 4月 - 5月          | 職員間のコミュニケーション(e-learning)     | 全職員    | 163   | 21.9  |
| 6月 - 7月          | 医療安全とヒューマンエラー(e-learning)     | 全職員    | 206   | 27.7  |
| R5.9.7           | 輸血研修会                         | 全職員    | 132   | 17.7  |
| 8月 - 9月          | 患者・家族とのコミュニケーション(e-learning)  | 全職員    | 241   | 32.4  |
| 9月 - 10月         | 看護補助者向けBLS研修                  | 看護部    | 55    | 91.7  |
| R5.11.9          | BLS研修                         | 全職員    | 24    | 3.2   |
| R5.11.17         | 医療事故に学ぶ働きやすい医療環境作り            | 医師管理職員 | 98    | 65.3  |
| 11月 - 12月        | 医用テレメータの適切な利用について(e-learning) | 全職員    | 249   | 33.5  |
| R5.12.7          | さすまた研修会                       | 全職員    | 57    | 7.7   |
| R5.7月、8月、10月、12月 | KYT研修会                        | 全職員    | 47    | 6.3   |
| 12月              | 情報セキュリティ研修(e-learning)        | 全職員    | 118   | 15.9  |
| 1月、2月            | 医療者における接遇研修会(e-learning)      | 全職員    | 262   | 35.2  |
| R6.1.11          | 暴言・暴力対策研修会                    | 全職員    | 94    | 12.6  |
| 2月、3月            | 医療機関における個人情報保護(e-learning)    | 全職員    | 190   | 25.5  |
| R6.3.5           | 個人捕縛線量の管理について                 | 全職員    | 132   | 17.7  |
| 合計参加人数           |                               |        | 2,098 | 282.0 |

研修受講状況(年2回の研修参加義務):全職員

| 職員数 | 受講2回以上の職員数 | 受講1回の職員数 | 受講0回の職員数 |
|-----|------------|----------|----------|
| 860 | 617        | 139      | 104      |
| 割合  | 71.7%      | 16.2%    | 12.1%    |

インシデント事象別発生状況

(単位:件・%)

| 発生事象別     | 3年度   |        | 4年度   |        | 5年度   |        |
|-----------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|
|           | 件数    | 割合     | 件数    | 割合     | 件数    | 割合     |
| 薬剤        | 596   | 34.8%  | 603   | 32.3%  | 653   | 30.2%  |
| ドレーン・チューブ | 309   | 18.0%  | 314   | 16.8%  | 442   | 20.5%  |
| 療養上の場面    | 266   | 15.5%  | 275   | 14.8%  | 355   | 16.4%  |
| 検査        | 132   | 7.7%   | 186   | 10.0%  | 187   | 8.7%   |
| 治療・処置     | 150   | 8.8%   | 157   | 8.4%   | 180   | 8.3%   |
| 給食・栄養     | 53    | 3.1%   | 51    | 2.7%   | 55    | 2.5%   |
| その他       | 207   | 12.1%  | 278   | 14.9%  | 289   | 13.4%  |
| 計         | 1,713 | 100.0% | 1,864 | 100.0% | 2,161 | 100.0% |

レベル別発生状況

(単位:件・%)

| レベル別   | 3年度   |        | 4年度   |        | 5年度   |        |
|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|
|        | 件数    | 割合     | 件数    | 割合     | 件数    | 割合     |
| レベル0   | 158   | 9.2%   | 209   | 11.2%  | 224   | 10.4%  |
| レベル1   | 1,233 | 72.0%  | 1,337 | 71.7%  | 1,635 | 75.7%  |
| レベル2   | 256   | 14.9%  | 223   | 12.0%  | 211   | 9.8%   |
| レベル3a  | 54    | 3.2%   | 69    | 3.7%   | 59    | 2.7%   |
| レベル3b  | 10    | 0.6%   | 19    | 1.0%   | 29    | 1.3%   |
| レベル5   | 2     | 0.1%   | 0     | 0.0%   | 0     | 0.0%   |
| その他・不明 | 0     | 0.0%   | 7     | 0.4%   | 3     | 0.1%   |
| 計      | 1,713 | 100.0% | 1,864 | 100.0% | 2,161 | 100.0% |

(イ) 医療安全対策の標準化

年度当初より病院機能評価の受審に向けて医療安全に関する12項目について業務の見直し、改善に取り組んできました。取り組みにおいて、身体拘束に関する指針の見直しと身体拘束中の観察項目の改訂を行いました。中間評価では12項目全てにおいて「A」の評価を受けましたが、3項目において課題が提示されましたので、現在、課題の改善に向けた取り組みを行っています。

地域における医療安全の評価として、小千谷総合病院との間で地域連携加算1施設同士の相互評価を実施しました。また、連携する地域連携加算2施設の評価では現行の3施設(南魚沼市民病院、ゆきぐに大和病院、齋藤記念病院)に加え令和5年度より津南町立津南病院と新たな連携を図り、地域における医療安全対策の質の向上に努めました。

## イ 感染管理

### (ア) 医療関連感染の低減

医療関連感染の低減には職員の知識の向上が必要であり、令和4年度に引き続き院内感染対策研修会を4回実施しました。研修会では、新型コロナウイルス感染症の5類移行後の感染対策に向け「これからの新型コロナウイルス感染症」、また院内アウトブレイクにつながりやすい「病院における感染性胃腸炎の対策」、AMR アクションプランに基づく「細菌検査と抗菌薬」、医療従事者として必要な知識となる「医療従事者として知っておきたいワクチン」等、テーマを検討し、ICTメンバーが講師となり企画運営をしました。また、当日参加できなかった職員にも学ぶ機会が得られるよう、YouTube による動画を作成と配信を行い、学習の場の提供に努めました。

医療関連感染の低減には、感染対策活動を推進できる職員が不可欠であることから、令和4年度より引き続き「感染リンクスタッフ」の養成をしました。講義や演習のほか、現場での実習を含んだ全6回のコースで実施し、18名のリンクスタッフを養成しました。また令和4年度に感染リンクスタッフに任命された17名を対象に、実践活動を継続できるようフォローアップ研修会を実施しました。

さらに感染リスクの低い安全安心な療養環境を提供するため、外部委託職員と協働しワーキンググループでの活動を継続して行い、環境衛生に努めていきました。

新型コロナウイルス感染症においては、3か所の病棟で小集団の発生があり、一時的に病棟新規受け入れの禁止をしましたが、最小で押さえることができ、長期に続く集団発生は起こりませんでした。また、インフルエンザにおいても入院中の患者から発症が見られたものの、アウトブレイクには至りませんでした。感染性胃腸炎、C.ディフィシル、多剤耐性菌など集団発生の起こりうる病原体による院内伝播の発生は起こりませんでした。職員一人一人が、手指衛生、個人防護具の適正使用、環境衛生などをはじめとした標準予防策、また感染経路別予防策をきちんと理解し、実践できていたことが奏功したと考えます。

研修会開催状況と参加者数

| 開催日   | 内容(テーマ)                   | 参加者数 |
|-------|---------------------------|------|
| 5月29日 | これからの新型コロナウイルス感染症対策       | 370名 |
| 9月1日  | 病院における感染性胃腸炎の対策           | 357名 |
| 11月1日 | 自分自身の学びにつなげる研修会～細菌検査と抗菌薬～ | 528名 |
| 1月17日 | 医療従事者として知っておきたいワクチン       | 320名 |

院内感染防止対策のより一層の推進を図るため、感染対策向上加算1を算定している他施設(新潟市民病院、県立新発田病院)と連携し、互いの医療機関に赴き感染防止対策に関する相互評価を実施しました。指導を受けた事項に関して、積極的な改善に努めました。

(1) 職員の安全確保

感染性ウイルス性疾患(麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎)から職員を守るため、委託職員を含む全職員を対象に、予防接種の記録や抗体価を確認し、感染制御支援システムに記録しています。「医療関係者のためのワクチンガイドライン」に基づき、1歳以上で2回の予防接種記録があるか、抗体陽性の検査結果を持っている者を「ガイドライン適合者」と認定し、院内全体で適合者率が100%となるよう取り組みました。具体的には、1歳以上で2回の接種記録がない職員向けに、不足回数分の予防接種や抗体価検査事業を実施し、ガイドライン適合者を増加させました。新採用者にも、入職時に同様の対応をしました。結果、ガイドライン適合者率は、各疾患で90%前後となりました。また複数の部署で適合者率が100%となりました。

ガイドライン適合者率(院内全体) (%)

|      | 麻疹   | 風疹   | 流行性耳下腺炎 | 水痘   |
|------|------|------|---------|------|
| 院内全体 | 89.9 | 92.7 | 90.4    | 91.2 |

ガイドライン適合者率(所属別) (%)

|                               | 麻疹    | 風疹    | 流行性耳下腺炎 | 水痘    |
|-------------------------------|-------|-------|---------|-------|
| 医局                            | 77.1  | 81.3  | 71.9    | 82.3  |
| 薬剤部・治験管理室                     | 100.0 | 100.0 | 100.0   | 87.5  |
| 事務部・クラーク                      | 83.3  | 85.6  | 81.1    | 81.1  |
| 看護部・病棟・外来                     | 92.2  | 94.5  | 93.5    | 93.1  |
| 医療安全管理部・感染管理部                 | 100.0 | 100.0 | 100.0   | 100.0 |
| リハビリテーション技術科                  | 79.3  | 89.7  | 89.7    | 96.6  |
| 患者サポートセンター・地域連携推進室・がん相談支援センター | 100.0 | 100.0 | 93.1    | 100.0 |
| 精神医療支援科                       | 90.0  | 100.0 | 100.0   | 100.0 |
| 栄養管理科                         | 100.0 | 100.0 | 100.0   | 75.0  |
| 放射線技術科                        | 96.2  | 96.2  | 96.2    | 96.2  |
| 臨床検査科                         | 93.5  | 100.0 | 100.0   | 96.8  |
| 臨床工学科                         | 100.0 | 100.0 | 100.0   | 100.0 |

流行性ウイルス性疾患ワクチン接種者数 (人)

| ワクチン    | 接種者数(職員) | 接種者数(委託職員) |
|---------|----------|------------|
| 麻疹      | 4        | 2          |
| 風疹      | 5        | 3          |
| 麻疹風疹混合  | 16       | 1          |
| 流行性耳下腺炎 | 33       | 2          |
| 水痘      | 33       | 1          |

インフルエンザワクチン接種者数 (人)

| ワクチン    | 接種者数(職員)   | 接種者数(委託職員) |
|---------|------------|------------|
| インフルエンザ | 815(90.4%) | 213        |

(ウ) 地域社会における感染対策活動の推進

診療報酬改定に伴い、令和4年度より感染対策向上加算及び外来感染対策向上加算が新設されました。感染対策向上加算に基づく合同カンファレンスに、感染対策向上加算3を算定している届出医療機関6施設、外来感染対策向上加算を算定している4施設のほか、届出をしていない医療機関、地域振興局にも呼びかけ参加を促し、開催しました。毎回のカンファレンスでは、薬剤耐性菌検出状況報告、抗菌薬使用状況報告(AMR アクションプランに基づき薬剤耐性率の減少に向けたディスカッション)、手指衛生実施回数報告、テーマに沿ったディスカッションを行いました。

令和5年度は、令和4年度と比較し黄色ブドウ球菌メチシリン耐性率が増加し、緑膿菌カルバペネム耐性率および大腸菌カルバペネム耐性率は国の指標を達成することができませんでした。薬剤耐性菌を作らない抗菌薬の適正使用について取組みを強化する必要があります。

南魚沼地域振興局と協同し、南魚沼保健所管轄内の高齢者介護施設等の感染予防対策リーダー養成研修(全5回)を開催しました。管轄内34名の申し込みがあり、33名の感染予防対策リーダーを輩出しました。同時に魚沼圏域看護職会議、また十日町病院感染管理認定看護師と協力し、魚沼圏域(十日町管轄、南魚沼管轄、魚沼管轄)医療機関の感染リンクナース育成事業(全4回)を企画運営しました。圏域内全病院から18名の参加があり、18名の感染リンクナースを輩出しました。

耐性率の推移 ( )内は国の目指す指標 (%)

|                          | H31<br>1-6 | R元<br>7-12 | R2<br>1-6 | R2<br>7-12 | R3<br>1-6 | R3<br>7-12 | R4<br>1-6 | R4<br>7-12 | R5<br>1-6 | R5<br>7-12 |
|--------------------------|------------|------------|-----------|------------|-----------|------------|-----------|------------|-----------|------------|
| 黄色ブドウ球菌メチシリン耐性率(20%以下)   | 29.0       | 19.8       | 26.2      | 27.7       | 29.2      | 26.5       | 27.5      | 23.5       | 33.2      | 26.1       |
| 大腸菌フルオキノロン耐性率(25%以下)     | 33.0       | 25.9       | 27.9      | 25.3       | 28.6      | 23.2       | 27.6      | 27.5       | 20.8      | 24.5       |
| 緑膿菌カルバペネム耐性率(10%以下)      | 10.4       | 9.0        | 12.1      | 5.0        | 3.1       | 7.0        | 5.2       | 18.7       | 14.3      | 12.8       |
| 大腸菌カルバペネム耐性率(0.1~0.2%以下) | 0          | 0          | 0         | 0          | 0         | 0.17       | 0.5       | 0.3        | 0.5       | 0.3        |

(I) 抗菌薬適正使用に向けた活動の推進

院内感染対策研修会で抗菌薬適正使用について啓発するとともに、週1回の抗菌薬適正使用ラウンドを実施しました。

抗菌薬適正使用ラウンドでは、広域抗菌薬・抗MRSA薬、タゾバクタム/ピペラシリンを使用中の症例、および血培陽性、耐性菌検出症例を中心にカルテラウンドを行い、必要に応じて、抗菌薬の変更や培養採取提案などの介入を行いました。カルテラウンドの対象症例は合わせて1,165症例、介入を行った症例は28件でした。

また、抗菌薬適正使用や感染対策にかかる介入依頼について、電子カルテの「ICT・AST介入依頼」機能を見直しました。これにより、介入依頼時のチーム内の即時的な情報共有ができるようになりました。令和5年度は34症例の介入依頼があり、効率的な介入につなげることができました。

(オ) 医療関連感染サーベイランスの実施

医療関連サーベイランスとして、中心ライン関連血流感染サーベイランス、カテーテル関連尿路感染サーベイランス、手術部位感染サーベイランスを実施し、感染率を算出しました。感染率を低減できるよう問題点を明確にし、現場と共有し改善へ繋げる活動を実施しました。中心ライン関連血流感染率は、感染管理方法の見直し等が奏功し、令和4年度より感染率が大きく減少しました。また日本環境感染学会サーベイランスデータ(JHAIS)2020.7-12全国平均との比較においても非常に低い結果でした。

カテーテル関連尿路感染サーベイランスは令和4年6月より全病棟で開始しました。令和5年度は令和4年と比較し感染率が増加していますが、令和4年はサーベイランスを開始した年度であり、感染を疑った症例があった時に適切に判定が行えていなかったことから、実際の感染率よりも低い結果となったと推察します。令和5年度の感染率は日本環境感染学会サーベイランスデータ (JHAIS)2020.7-12 全国平均と比較すると、低い結果でした。手術部位感染発生率は、整形外科で微増、産婦人科で増加しました。厚生労働省院内感染サーベイランス事業報告 (JANIS)2022 年年報と比較すると、整形外科、産婦人科では全国平均より若干高く、消化器外科、呼吸器外科では低い結果でした。

中心ライン関連血流感染率 (感染率 = 感染数 / のべ使用日数 \* 1000)

単位 1000device days

| 年度 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 |
|----|------|------|------|------|------|------|------|
| 率  | 0.83 | 2.12 | 2.08 | 0.98 | 1.02 | 1.31 | 0.29 |

カテーテル関連尿路感染率 (感染率 = 感染数 / のべ使用日数 \* 1000)

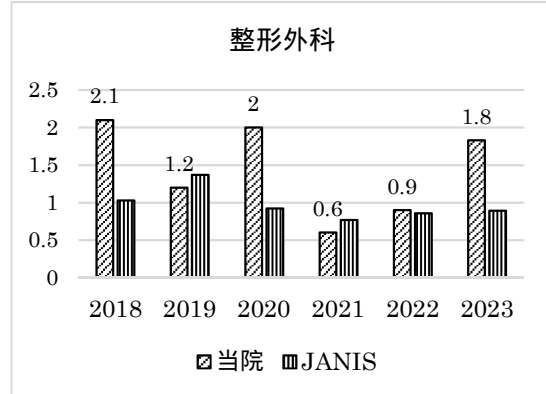
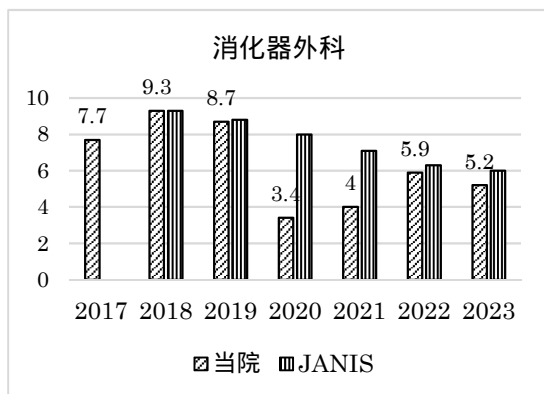
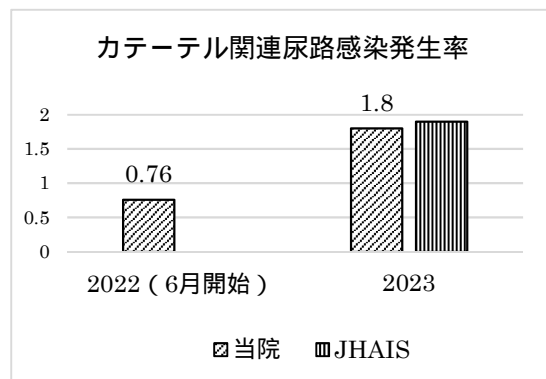
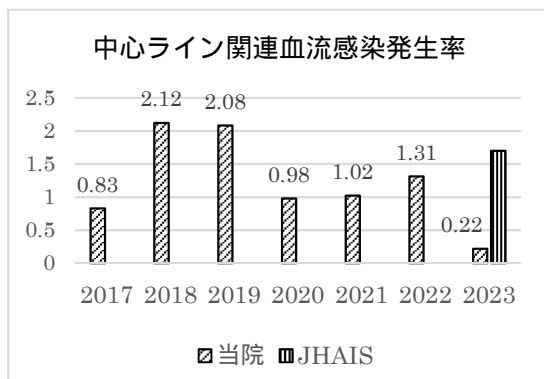
単位 1000device days

| 年度 | 2022 (6月開始) | 2023 |
|----|-------------|------|
| 率  | 0.76        | 1.45 |

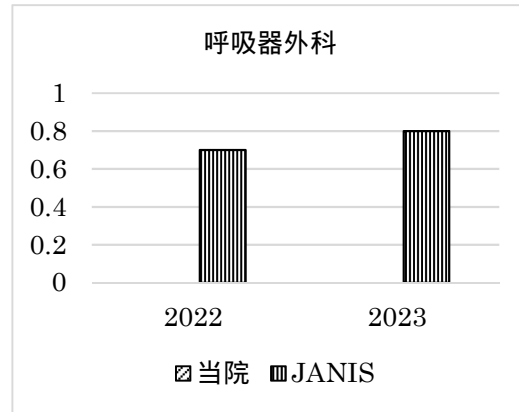
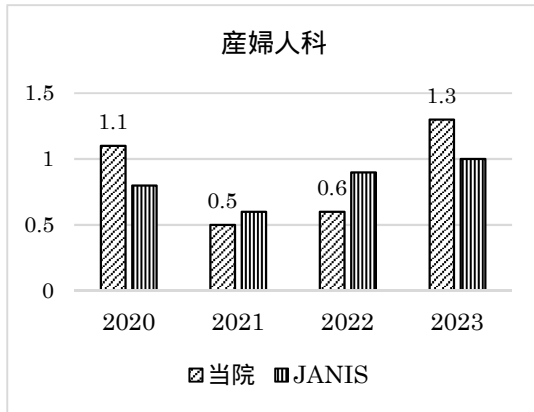
手術部位感染発生率 (感染発生率 = 感染数 / 手術件数 \* 100)

単位 %

|       | 2017 年度 | 2018 年度 | 2019 年度 | 2020 年度 | 2021 年度 | 2022 年度 | 2023 年度 |
|-------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 消化器外科 | 7.7     | 9.3     | 8.7     | 3.4     | 4.0     | 5.9     | 5.2     |
| 整形外科  | 未実施     | 2.1     | 1.2     | 2.0     | 0.6     | 0.9     | 1.8     |
| 産婦人科  | 未実施     | 未実施     | 未実施     | 1.1     | 0.5     | 0.6     | 1.3     |
| 呼吸器外科 | 未実施     | 未実施     | 未実施     | 未実施     | 未実施     | 0.0     | 0.0     |







#### ウ 診療情報管理

令和5年11月に医療情報システムの更新を行いました。システム定例会や各WGを開催し、課題・要望点を改善できるように院内での話し合いを進めました。また、新システム稼働後は、ベンダーへ管理体制の強化を依頼し、課題の早期解決・改善を図りました。適切な診療情報データの集計分析を通じて、当院の経営改善に寄与しました。

#### (5) 適正な診療報酬請求

##### ア 診療報酬請求の適正化

診療報酬請求に関する返戻・査定を分析し、診療報酬請求検討委員会等において分析結果を関係部署と情報共有・検討することで返戻・査定の減少に努めました。

また、返戻・査定事例を各診療科医師へフィードバックし、医師と相談のもと、再審査請求すべき事例については適切に再審査請求を行うとともに、同様事例の発生防止を図り、請求精度の向上に努めました。

DPC請求については、コーディング(診断群分類の決定)に対する事務的点検を実施し、必要に応じて各診療科医師へ確認依頼を行い、適切なコーディング実施に努めました。

##### イ 診療報酬改定への対応

令和4年度の診療報酬改定後において算定できていない項目は、引き続き診療科や関係部署と共有し、算定に向け情報を収集しました。また、算定可能項目については、院内の周知を図り円滑な運用に努めました。算定できていない項目に関しては引き続き対応策を検討していきます。令和6年度の診療報酬改定に向けて、情報収集を行いました。

##### ウ DPC 対象病院としての適正化

DPCデータ分析システムから、入院期間や出来高算定した場合との比較資料を作成し、診療部門と情報共有を行いました。また、コーディング委員会を年4回開催し、診療科担当医参加のもと実例に基づいた事例検討を行い、適切なコーディングが実施できるよう努めました。

DPC対象病院として、急性期病院としての機能を高めるためにも、効率的・効果的な医療を提供することで入院期間の適正化が図られることから、診療部門と連携し、適切なDPC請求を行うことに努めました。

##### エ 未収金の縮減及び回収対策

経営企画課と医事業務受託業者とで定期的にミーティングを行い、未収金管理が適正に行われているかを確認するとともに、未収金の発生防止、迅速な回収に努めました。

窓口担当と収納担当で連携を密にし、未収金のある患者が来院した際には面談の上、分割払いを提案する等により、未払金の支払いを促し、回収の促進を図りました。

令和3年度から長期化している未収金については、再三の督促にも応じないなど誠意の感じられない患者に対しては、未収金回収業者に委託しました。病院事業収益のうち回収が困難となっている未収金は、4,109千円となっています。

また、徴収が困難であると認められた案件は、健全な会計処理の観点から適正に欠損処分を行いました。

## (6) 経営改善への取組

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類変更や血液内科の体制縮小などの情勢の変化の下で、収支均衡に努めました。

地域連携推進室を設置し、他医療機関との地域連携を強化して紹介及び逆紹介患者を増やすことに力を入れました。このことにより、外来単価の向上と入院に繋がる患者数の増加を図りました。

また血液内科の常勤医が不在となり入院患者の受入れが出来なくなったことを契機として、病棟の診療科構成の見直しを行いました。病棟間の入院患者の回転率の平準化や受入れ環境の効率化を行いました。

継続して積極的な採用戦略で看護師採用を行い、病棟の運用数を維持することができました。

患者単価の増加と、新規施設基準や各種加算の取得などによる収益確保を病院全体で取組み、入院収益は前年比1.5億円増加しています。

## (7) 新たな医療の検討

### ア 手術支援ロボット導入を見据えた体制整備

体制整備を行うため、整備WGを開催し、必要な情報収集、「ダヴィンチ」及び「ヒノトリ」の2機種でのデモ機見学を実施しました。

### イ ゲノム医療に関する体制整備

がんゲノム医療連携病院の指定を目指し、がんゲノム医療WGで実施した検査運用プロトコルに関するアンケート調査から浮彫となった問題を整理しました。ゲノム医療全般に係る体制等の整備が必要であり、令和6年度の課題として継続して検討していきます。

## 6 その他の重点施策

### (1) 新型コロナウイルス感染症対応

新型コロナウイルス感染症の感染症法(感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律)上の位置付けが、令和5年5月8日から5類感染症になりましたが、ウイルス自体の感染力が弱まったわけでも、重症化のリスクが弱まったわけでもありません。院内には重症化リスクの高い患者さんが多いことから、不織布マスク着用の継続など、院内での感染防止に努めました。その一方で、市中の感染状況を確認し、面会制限を緩和するなど柔軟に対応しました。

職員向け新型コロナウイルスワクチン接種の6回目(オミクロン株対応2価ワクチン)を6月に、7回目(オミクロン株対応1価ワクチン)を12月に実施しました。また、新型コロナウイルスワクチン住民接種(魚沼市・南魚沼市)への職員派遣に協力し、地域内の感染防止の取組にも協力しました。

### (2) 患者サービスの向上

#### ア 患者サービス向上委員会の開催

職員等関係者の患者に対する意識の向上と実践を図り、地域住民から信頼され、かつ親しく利用される病院とするため、患者サービス向上委員会に、以下のWGを設置し取組を実施しました。

| 設置 WG | 内容  | 成果課題  |
|-------|---|---|
| 接 遇   | 接遇セルフチェック、身だしなみチェックを実施した。<br>チェックの結果を元に接遇新聞を発行した。   | 接遇に関する職員の意識向上を図った。  |
| 環境整備  | 利便性、環境美化等に関して、月1回の院内巡視を行い、改善を提案した。                  | より広い視点での巡視や提案後の改善状況の把握を行った。   |
| 意見対応  | 意見箱を設置し、収集した意見の内容分析や回答・掲示を実施した。                     | 193 件の回収を行い、寄せられた意見をもとに、改善を実施し、回答として院内に掲示を行った。院内での情報共有も行った。   |
| 調査分析  | 患者アンケート(入院・外来)を7～9月に実施した。<br>回収実績 外来 890 件、入院 181 件 | アンケートを継続して実施し、患者サービスの成果の把握を行うとともに、取組の検討を行った。  |
| 行 事   | 7月七夕飾り、12月クリスマス飾り、1月正月飾りを行った。                       | 引き続き患者に喜ばれるイベントを企画していく。   |
| 外国人対応 | 患者さんに配布する案内等について、英訳版の作成を進めた。                        | 新潟大学創生学部 of 学生より提案いただいた「外国人向けガイドブック」、「英語版フロアマップ」を作成し、ホームページに掲載したほか、院内にも配置した。今後も、案内等について、英訳版の作成を進めていく。 |

## イ 病院イベントの開催

患者サービス向上委員会が中心となって、七夕飾りやクリスマス飾り、正月飾りは実施できましたが、新型コロナウイルス感染リスクを考慮してクリスマスコンサートは中止としました。

## ウ 外国人患者の支援策

魚沼基幹病院の周辺には国際大学やスノーリゾートがあることから、英語しか話せない外国人患者が月に 100 人以上受診しています。そのため、通訳可能者が不在であっても対応できるように、入院案内等の英訳実施、ポケットク(超小型の通訳機、英語以外の言語も対応)・電話医療通訳サービスの導入など、外国人患者の受診環境向上に努めました。

また、新潟大学創生学部 of 学生さんから提案いただいた「外国人向け受診ガイド」と「フロアマップ」を作成して、院内に配置し、ホームページに掲載したほか、国際大学の学生さんにも配布しました。

### (3) 災害時医療の充実

魚沼圏域における災害医療の拠点となるべく、「地域災害拠点病院」「DMAT 指定医療機関」の指定を受けています。拠点としての機能強化に向け、災害対策マニュアルや業務継続計画(BCP)の適宜見直しを行っています。

患者用・職員用備蓄食を保存期限にあわせて、定期的な購入・入替を行いました。

また、災害対応研修会を開催したほか、災害訓練を実施し、被災時の災害対策本部の機能や傷病者来院時のフローを確認しました。

### (4) 医療倫理に基づく医療の提供

ヒトを対象とした医学系研究や遺伝子解析研究、医療行為等については、医学的、倫理的及び社会的な妥当性の観点から審査し、患者権利の保護を図る必要があります。こうした目的を果たす

ため、「倫理委員会」「遺伝子倫理審査委員会」「臨床倫理委員会」において医学研究の倫理面に関する審査を行いました。

また、「臨床倫理委員会」において、診療行為としての保険適用外の新規医療技術、新規手技の導入については、実施後の事後報告並びに事後検証を行うこととしました。

#### 倫理委員会の審査結果

|       | 承認 | 条件付承認 | 不承認 | 計  |
|-------|----|-------|-----|----|
| 令和3年度 | 22 | 2     | 0   | 24 |
| 令和4年度 | 19 | 0     | 1   | 20 |
| 令和5年度 | 24 | 0     | 0   | 24 |

#### 遺伝子倫理審査委員会

|       | 承認 | 条件付承認 | 不承認 | 計 |
|-------|----|-------|-----|---|
| 令和3年度 | 1  | 0     | 0   | 1 |
| 令和4年度 | 0  | 0     | 0   | 0 |
| 令和5年度 | 3  | 0     | 0   | 3 |

#### 臨床倫理委員会

|       | 承認 | 条件付承認 | 不承認 | 計  |
|-------|----|-------|-----|----|
| 令和3年度 | 9  | 2     | 0   | 11 |
| 令和4年度 | 16 | 1     | 0   | 17 |
| 令和5年度 | 34 | 0     | 0   | 34 |

#### (5) 活力ある組織風土作り

病院運営状況説明会を4回開催したほか、参加できなかった職員向けに動画を作成し、後日視聴できるようにし、病院の理念や運営方針の浸透を図りました。また、院内報を10回発行し、院内情報を職員で共有できるように取り組みました。

職員の健康増進及び活力ある組織づくりにも役立つような様々な取組は、新型コロナウイルス感染症の影響からできませんでしたが、病院公認サークルは2団体増え9団体となり、活動支援を継続しました。

### 7 各診療科の目標と取組

#### (1) 総合診療科

魚沼基幹病院は基幹型医師臨床研修病院であり、内科/総合診療専門研修の基幹/連携施設でもあることから、総合診療科では医師臨床研修医、専門研修専攻医とともに診療を担当しました。

入院は、病院総合診療のスタンスで、高齢化先進地ならではの健康課題や臓器系統を超えた多疾患罹患、対応困難例の包括的マネジメントを行いました。また、臓器系統別で解決が難しいケースの予約外来のほか、内科各科医師の協力により内科新患外来に応じました。さらに、整形外科に入院した大腿骨近位部骨折患者さんについては、リエゾン診療として周術期リスク評価も担当しました。

#### (2) 循環器内科

慢性疾患の管理においては、狭心症や心筋梗塞、心不全、不整脈、肺高血圧等の循環器疾患に加え、高血圧、高コレステロール血症、糖尿病等の生活習慣病においても最適な管理を行いました。心臓カテーテル検査は診断に加え、ステント留置術も定期的に行いました。

不整脈のアブレーション治療やペースメーカー植込み術も非常勤の不整脈専門医とともに行いました。急患を除く広い範囲の循環器疾患に対応しました。

心臓リハビリテーションは当科は入院、外来で可能で、複数名の心臓リハビリテーション指導士のもと令和5年度からは十日町病院でも当院と連携し実施可能となりました。

### (3) 内分泌・代謝内科

頻度の高い代謝性疾患(糖尿病、高血圧、脂質異常症、肥満症)と甲状腺疾患からめずらしい内分泌疾患(脳下垂体、副甲状腺、副腎)まで幅広く専門的に対応しました。

糖尿病診療ではバランスの取れた食生活や適度な運動を含めた規則正しい生活習慣を送ることが治療の柱になります。そのために必要な正しい知識と自己管理の方法を患者さんに身につけてもらうために、糖尿病専門医、管理栄養士、看護師、薬剤師、理学療法士が連携したチーム医療を実践し、同時に医療人の育成に力を入れました。

系統的かつ最新の知識と豊富な経験に裏打ちされた、安全で信頼性の高い診療体制により、この分野における地域完結型医療を継続しています。

### (4) 血液内科

魚沼基幹病院は、魚沼地域における血液疾患治療の中心として、近隣の病院と連携を取りながら多くの血液疾患診療に関わっています。開院以来、貧血や紫斑などのプライマリーケア領域の疾患から、造血器悪性腫瘍の最先端治療および自家末梢血幹細胞移植まで幅広く診療を行ってきました。しかし、新潟大学血液内科の診療集約化の方針に従い、6月以降は一週間2回の外来診療のみとなっています。7月以降は、長岡赤十字病院血液内科と密接に連絡を取りながら診療レベルの維持に勤めています。また、通院中の症例の急変には院内各科が協力して対応しています。

### (5) 腎臓内科

魚沼基幹病院では、必要な例には腎生検を行い、原因を明らかにしました。腎生検で得られた病理診断をもとにして個々の症例に最良の治療を提供できるように心がけました。腎機能が低下し腎代替療法が必要になった場合には、それぞれの生活背景なども尊重し、患者さんとともに最善の方法を考えました。腎疾患は、単に腎機能が低下するだけでなく、心血管病にかかる危険性をあげることもあり、臓器にとらわれない、受診した患者さんの健康を守る上でベストの医療を行うため、各専門科と密接に協力しながら治療を進めました。

### (6) 呼吸器・感染症内科

呼吸器感染症疾患の迅速な診断のため、胸部レントゲン、CT検査、呼吸機能検査はもとより、超音波気管支鏡、気管支肺胞洗浄、経気管支肺生検、外科的肺生検、および新型コロナウイルスやインフルエンザウイルスに対する抗原検査、PCR検査などを実施しました。

また、気管支喘息に対する分子標的治療、肺癌に対する免疫チェックポイント阻害薬、および呼吸器外科、放射線治療科と協力のもとで行う肺癌の集学的治療を継続しました。さらに、地域で唯一の感染症指定病院として、新型コロナウイルス感染症の取り扱いの変化に的確に対応しながら、近隣医療機関と協力のうえ感染症診療を行いました。

### (7) 消化器内科

3次救急施設として緊急内視鏡やインターベンショナルラジオロジーへの24時間対応に加え、組織硬度、呼吸商、体組成測定や活動量、エネルギー摂取量調査、24時間pHモニタリングなど、他の多くの医療機関では実施困難なデータの取得と解析に基づく慢性疾患への科学的なアプローチを継続しました。

また、食道・胃・粘膜剥離術時の麻酔法に関する前向き試験のデータを解析し、より安全で効果的な治療体制の確立と新規医療の創出にも積極的に取り組みました。さらに、他施設からの内視鏡検査直接予約を積極的に推し進め、質の高い消化器内視鏡検査の圏域内均てん化を図りました。

## (8) 脳神経内科

脳神経内科では、脳、脊髄、末梢神経、あるいは筋肉の病気によって体調を崩された患者さんの診療を行いました。脳神経内科専門医が不足しているこの魚沼地域では、魚沼基幹病院へ遠く離れた市町村からも患者さんが受診されます。高齢や病気の症状による運動機能の低下、さらには天候の悪化(冬場の積雪など)によって、長距離の通院が難しい患者さんも多いことから、できるだけ近くの医療機関で診療が継続できるように、地域の他の診療科ドクターとの連携に努めました。また、患者さんのより良い療養生活をサポートするために、医療ソーシャルワーカー、リハビリスタッフ、栄養管理科スタッフなど多職種でのチーム医療を提供しました。

## (9) 精神科

病床稼働率は86.2%と過去最高でした。また、当科の使命である身体合併症管理加算は80人、リエゾンでは新規患者102人を含め延べ318件の診察を行い、修正型電気けいれん療法は171件、クロザピン導入は4件を達成しました。

外来患者数も1日平均で59.9人、救急搬送12時間以内の診察も111件と極めて高い水準にあります。さらに英文原著論文6編を発表するなど研究活動も活発に行いました。

## (10) 小児科

小児科では、医療を通して子供の幸せに貢献するよう日々努めています。軽症の子供から長期入院や専門的医療を要する重症の子供まで幅広く診察しており、当院は魚沼地域で唯一の小児入院施設です。入院医療や専門的医療を特に大切な役割と考え、緊急を要する病気の子供を随時受け入れました。地域の医療機関や学校・保育機関との連携強化にも引き続き取り組みました。

## (11) 消化器外科・乳腺外科

対象疾患は、全ての消化器・乳腺疾患、腹部救急疾患、鼠径部・腹壁ヘルニアで、手術数は年間ベースで約350例、そのうち約4割が鏡視下手術でした。

年間手術数・鏡視下手術率に大幅な増加はありませんでしたが、鼠径ヘルニアの鏡視下手術率は31%を達成しました。

地域の外科医療の機能分担は他院との競合もあり思うように進まず、手術支援の需要もありませんでした。

臨床研究として導入した「蛍光ガイド手術」と「汚染手術創に対する陰圧閉鎖療法」の症例を蓄積し、得られた知見を学会や論文で発表しました。

## (12) 心臓血管外科

新潟大学からの派遣医師減少に伴い、心血管手術後の投薬管理、大動脈疾患の経過観察、他院からの紹介患者さんなどの外来診療を中心に診療活動を継続しました。日常遭遇することの多い、腹部大動脈瘤や手足の末梢動静脈疾患に対しては、速やかに検査・診断を行い、適切な時期に最適な治療を受けられるように手配しました。また、患者さんと十分話し合った上で診療方針を決定しました。

## (13) 呼吸器外科

肺癌や縦隔腫瘍、気胸、膿胸などに対する外科的治療を担当し、小さなキズでの胸腔鏡手術を標準的な手術手技として約100件の手術を行いました。CT画像から肺の血管や気管支の3D画像を作成して術前シミュレーションや術中ナビゲーションに利用することによって、肺癌に対する肺葉切除術ではもちろん、より高度な技術を要する区域切除術や気管支形成術などでも胸腔鏡を活用しました。そのような低侵襲手術を行うことによって高齢者であっても術後は早期の離床・退院が可能であり、術前と同等の生活に早く戻れるように努めました。

#### (14) 整形外科

整形外科では、地域で発生する外傷に素早く対応できるように、救急科の先生と密に連絡を取って骨折・脱臼・挫創などに対応しました。また、手足のしびれや腰痛・頸部痛などの疾患に対する正しい診断・保存療法・手術治療まで幅広く診療を行っており、椎間板ヘルニアに対する内視鏡や顕微鏡を用いた低侵襲手術も行いました。変形性膝関節症や外反母趾といった疼痛疾患に対しても、有効な靴の中敷き作成や、骨切り手術、人工関節置換術など様々な対応が可能です。骨や筋肉のがんを専門にしている医師もあり、がんの骨転移の診断と治療も積極的に行いました。手や肘のけがや変形・痛みに対する専門医もあり、内視鏡を使用した低侵襲手術を含めた様々な治療を引き続き行いました。

#### (15) 脳神経外科

脳神経外科は、急性硬膜下血腫、慢性硬膜下血腫、脳挫傷等の頭部外傷、神経膠腫、髄膜腫、聴神経腫瘍、下垂体腫瘍、転移性脳腫瘍などの各種脳腫瘍、脳動脈瘤、脳動静脈奇形、脳卒中などの脳血管障害、顔面けいれん、三叉神経痛、難治性てんかんなどの機能的脳神経外科疾患、特発性正常圧水頭症、先天性水頭症、先天奇形などの小児神経外科疾患等、脳神経外科疾患全般にわたり診療しており、新潟大学脳神経外科と連携して対応しました。神経内視鏡を用いた低侵襲の手術を積極的に採用しており、高齢者の手術も安全に計画していくよう努めました。

#### (16) 皮膚科

令和5年度は、近隣の医療機関の影響で、紹介無しで受診する軽症の外来、軽症の入院患者がかなり増加しました。手術も前年度比2割増となりました。

#### (17) 泌尿器科

魚沼基幹病院は、魚沼地域で唯一の泌尿器科常勤医のいる施設で、かつ最先端の高度な診療を提供しています。

泌尿器科の手術では、腹腔鏡下手術や経尿道内視鏡手術をはじめ内視鏡手術比率の高い患者さんにやさしい診療を行っており、腹腔鏡下膀胱全摘除術は県内唯一の認定施設です。

病院の推進事業として発足した「からだにやさしい治療センター」の一翼を担う低侵襲治療を心がけました。また、泌尿器科の癌の治療においては保険診療内での最新の治療を提供し、ご希望があれば新潟大学医歯学総合病院と連携し、臨床試験の紹介も積極的に行い、患者さんに最善の治療を提供しました。

引き続き、様々な手術、診療手段を通じて、最先端の高度な診療提供に努めました。

#### (18) 眼科

魚沼地域の拠点病院として、眼科診療所単独では難しい疾患に対応しており、加齢黄斑変性症や網膜静脈閉塞症への硝子体注射、眼の外傷、斜視弱視、角膜ぶどう膜疾患などの幅広い眼科領域に対して診療しました。

白内障や網膜剥離の手術、緑内障の点眼治療などが有名ですが、からだの病気に伴う眼の疾患も多く、他の診療科と協力して治療にあたりました(重症の糖尿病網膜症、甲状腺眼症、視神経炎、ぶどう膜炎など)。

#### (19) 耳鼻咽喉科

耳鼻咽喉科での診療範囲は耳科領域(中耳炎、難聴、めまい、顔面神経麻痺など)、鼻科領域(アレルギー性鼻炎、副鼻腔炎など)、口腔咽頭領域(扁桃炎、咽喉頭炎、睡眠時無呼吸症候群など)、頭頸部腫瘍(喉頭腫瘍、咽頭腫瘍、甲状腺腫瘍、唾液腺腫瘍など)があげられ、多岐にわたっています。

また、魚沼基幹病院は、魚沼地域で唯一の耳鼻咽喉科医師が常勤している病院であり、耳鼻咽喉科領域の一般的な疾患のみでなく救急疾患や難治疾患にも引き続き対応しました。

#### (20) 産婦人科

魚沼市、南魚沼市、湯沢町では、魚沼基幹病院でしか分娩を取り扱っておらず、分娩数は月当たり約40件でした。婦人科悪性腫瘍に対しては、外科・泌尿器科・放射線治療科と連携した集学的治療を行っており、さらに、最近増加しつつある若年婦人科悪性腫瘍に対しては、十分に検討し妊孕能温存治療を行いました。

産婦人科は周産期医学(分娩)、腫瘍医学(悪性腫瘍・良性腫瘍)、生殖医学(不妊症・不育症)、女性医学(思春期・更年期)という4つの基本分野から成り立ち、女性の一生をサポートしています。魚沼基幹病院は、地域周産期母子医療センターの機能を有しており、引き続き新生児専任医師と協力しながら、早産・妊娠高血圧症候群などのハイリスク症例の分娩に対応しました。

#### (21) 放射線治療科

肺癌・食道癌・前立腺癌・乳癌・脳腫瘍・リンパ腫・婦人科癌・頭頸部癌などの様々な腫瘍に対し、根治・再発予防・症状の緩和などの目的に応じた放射線治療を行いました。県内最高レベルの放射線治療機器を備えており、一般的な治療のほか、ピンポイントの定位放射線治療や動体追跡放射線治療などを行いました。特に動体追跡放射線治療システムは新潟県で唯一導入されており、呼吸によって位置が動くような肺癌や肝臓癌などの適応症例に対し、より安全・確実に治療を行いました。

魚沼地域唯一の放射線治療科として、正しい放射線治療の理解促進に努めました。

#### (22) 放射線診断科

放射線診断科では主にCT、MRI、RI検査の画像診断を行っています。頭部から胸部、腹部、骨関節など全身のあらゆる部位の画像診断を行いました。的確な診断はもとより、被ばくや侵襲性など各検査法の特徴を考慮して、適切な検査法、撮像方法や部位を決定・推奨することも重要な役割です。診療放射線技師とは緊密に連携を取り、より良い検査が行われるように努めました。画像検査件数および一検査の画像枚数は増加傾向にあり、日々膨大な画像を丹念に読影しつつ、地域医療に貢献できるように努めました。

#### (23) 麻酔科

麻酔科では主に全身麻酔、硬膜外麻酔、脊髄くも膜下麻酔での管理を担当しており、約2,600例を担いました。ただ麻酔するだけではなく、患者調節型鎮痛(自分で鎮痛薬を投与できるシステム)を組み合わせ、術後の苦痛軽減と早期離床、早期回復につながるような麻酔管理を心がけました。

また、患者さんが安心・安全に手術、麻酔を受けられるように術前外来を設けており、最適と考えられる麻酔方法、鎮痛方法を提案しました。

#### (24) 救急科

昨今の救急医療を取り巻く医療情勢はかなり厳しいものがあり、医療従事者の人手不足は深刻な問題です。通常の医療機関が開いている平日の昼間は、すべての時間の約1/5でしかありません。夜間や休日など、通常の医療機関が閉まっている時間は、すべての時間の4/5を占めます。

救命救急センターは、24時間365日、魚沼地域の軽症のいわゆるコンビニ受診をする方の満足度を高めようとするものではなく、急病や怪我などの急を要する患者さんのために、質の高い医療を提供するよう努めました。



## (25) 歯科口腔外科

口腔内と口腔周囲に発生する病気を外科的に治療する診療科です。『総合病院の中にある歯科』という特色をいかし、院内の他診療科との連携、専門の設備を用いた診断をもとに、外来診療だけでなく入院しての治療にも対応しました。

むし歯などの一般歯科治療を除く口腔外科疾患全般に対応していますが、特に顎変形症、インプラント、歯牙移植に力を入れました。平成 29 年より日本口腔外科学会認定の准研修施設となり、口腔外科疾患の治療のみでなく、院内の NST チームと連携しての摂食嚥下診療や、院内他科で手術をする患者さんの周術期の口腔機能管理にも力を入れ、口腔内を総合的に診察できる歯科医師・歯科衛生士の教育も行いました。

## (26) 病理診断科

病理診断科の大きな柱は組織診・細胞診で、それぞれ約 3,000 件、2,000 件の診断を行いました。患者さんの臓器・組織・細胞を肉眼および顕微鏡で観察することはもちろん、蛋白・遺伝子レベルで把握して、全身の各疾患に関して病理診断しました。各科臨床医からの要求事項を十分に満たすとともに、先進医療にも対応する診断情報の提供を心掛けました。

また、診療の客観的評価に病理解剖は大変重要で、必要に応じて速やかに対応しました。

病理診断および剖検を通じて、常に診断スキルの向上に努め、医療の質を高めるための一役を担いました。

## (27) リハビリテーション科

魚沼医療圏では、当院が高度急性期医療や救急医療を担い、その後リハビリテーションを要する状態となれば、自宅に近い病院に移って自宅退院を目指す流れができています。当院は圏域のリハビリテーションの拠点として、入院早期のリハビリテーションを提供しつつ、後方病院のリハビリテーションを支援する役割を担っており、幅広い仕事が期待されています。当圏域において歴史の浅いリハビリテーション科診療が地域に定着するよう、医師体制の拡充を含めて、努めました。

# 8 各医療支援部門の目標と取組

## (1) 看護部

### 事業目標

高度医療・救急医療が必要な患者が入院し治療できるよう、看護体制の整備と部署運用を行います。

安心・安全な看護サービスの提供を行うために、看護師の負担軽減に努めます。

専門性の高い看護を提供できる看護師を育成します

就業継続できる職場環境を作ります。

地域の医療人育成に参画します。

### 重点取組内容

WITH/アフターコロナを見据えて、医療収益へ参画

効率的な病床運営を推進するための仕組みづくりを行います。

血液内科常勤医不在に伴い、泌尿器科・整形外科・総合診療科の再編を行いました。

病床運用については、東 6 病棟・西 7 病棟の検討を行い、呼吸器内科を集約することができました。病床稼働率を各病棟で把握できるように示し、入院を必要とする患者を断らずに受け入れることができています。

外来機能のあり方を見直し、ACP の支援・療養指導など看護の専門性を強化し、質の向上を目指します

紹介受診重点医療機関として当院の役割を理解するために、看護師長会で学習会を行いました。ACP 強化のために、IC 同席や患者の思いをくみ取る看護記録の充実に取り組みました。実践力の高い看護師を育成するために、計画的な倫理事例検討を行いスタッフ間で共有しました。

看護提供体制 PNS®を評価し、患者のそばにいれる看護をめざして業務改善を行います

若い看護師の自律遅延や業務責任の所在の不明瞭などが問題となり、看護体制の見直しを行いました。ペアの組み方と患者の受け持ち方法を変更し「プライマリーナーシング+デイペア」方式としました。個人の自立や業務責任に対する効果が少しずつみられてきました。

ロールモデルとなる看護師が生き生きと働くことができるための支援を行います

「ロールモデルとなる主任看護師の実践知の共有」を掲げ、各部署で共有する場を設定し取り組んでいます。全主任看護師の実践知を共有できるように計画し、129名(92%)の主任看護師が実践知共有シートを作成し部署スタッフと共有しました。主任看護師にとっては自己の看護を振り返る機会となり、後輩スタッフにとっては先輩の看護観や視点の違いに気づく等の機会になっています。

また、看護職員のエンゲージメント向上への取り組みを開始しました。参加部署を募り9部署が取り組んでいます。9月にエンゲージメント調査を実施し、結果を共有、部署ごとに今後のエンゲージメント向上のための目標を設定し、看護師長・副看護師長による1on1ミーティングを取り入れるなどのアクション後に再調査を計画しています。

超過勤務の削減に取り組み、負担の軽減を図ります

就業継続できる職場環境を作ることを目標とし、各部署が超過勤務の削減に向けた取り組みを行いました。一人平均時間外勤務時間が令和4年度の8.4時間/月より減を目指し、時間外業務の可視化、補完を活用したりシャッフルの検討、始業前業務の改善などを行いました。結果は、一人平均時間外勤務時間は、8.0時間/月と減少しましたが、部署による格差があり今後の課題にもなります。

看護師特定行為研修指定研修機関としての活動を促進します

令和5年度第1回看護師特定行為研修管理委員会において令和5年度受講者7名を選考しました。その内訳は「栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連」1名(当院看護職員)、「動脈血液ガス分析関連」3名(当院看護職員)、「精神及び神経症状に係る薬剤投与関連」1名(当院看護職員)、「在宅・慢性期領域パッケージ」2名(外部施設看護職員)です。

令和5年3月開催の特定行為研修管理委員会において、安定した研修運営と指導医の負担軽減を目的に業務委託を決定し、連携しながら研修を進めています。また、実習協力施設として2施設を申請し、令和5年12月より臨地実習を行っています。

令和6年度には「創傷管理関連」と「術中麻酔管理領域パッケージ」の追加を申請し、4区分と2領域パッケージを開講する予定です。

さらに、「特定行為研修の組織定着化支援事業」の一環として、臨床経験4年目以上の看護職員を対象に特定行為研修共通科目の受講希望を募り、85名が受講できるように環境を整えました。

## (2) 薬剤部

### 事業目標

専門性を生かし、最適な薬物治療と安全性を確保し、チーム医療へ貢献します。

後発医薬品の使用促進と同時に医薬品の確保、医薬品費の適正化を図り、病院経営に貢献します。

薬剤師の確保と人材育成を図ります。

### 重点取組内容

病棟薬剤業務体制および通常業務の維持

病棟薬剤業務は、医療安全や多職種連携に繋がる重要な薬剤師業務で、診療報酬上、病棟薬剤業務実施加算1,2、薬剤管理指導料で評価されています。令和5年度は薬剤師の退職等が相次ぎ人員確保が難しい中、病棟薬剤業務実施加算1(120点)、2(100点)の算定を維持することができました。一方で、薬剤管理指導件数は、約10%減少しました。

救急外来の患者数の増加の影響もあり院外処方箋発行率は令和4年度の91.6%から90%弱へと減少し、時間外外来調剤業務が引き続き増加しました。人員の減少に伴い薬剤師一人にかかる負担の増加等、厳しい状況でしたが、通常業務を維持しました。今後もこの傾向が継続することを想定し、薬剤部の業務効率化をさらに加速して検討しなければなりません。病棟薬剤業務実施加算1,2については算定の維持について検討の必要が生じています。

プロトコルに基づく薬物治療管理(Protocol Based Pharmacotherapy Management:PBPM)の実践による医師の業務負担軽減とチーム医療への貢献

調剤上の定型的な変更に伴う疑義照会を減らし、処方医の負担を軽減する目的で「院内処方箋に関する問い合わせ簡素化プロトコル」の運用を開始しました。薬剤師へのタスクシフト/シェアにより、医師の業務負担軽減が図れました。

院内各種の医療チーム：糖尿病療養チーム、ICT、AST、NST、骨折リエゾン、精神科リエゾンなどに恒常的に参加し、薬剤師の視点で活動しました。

医薬品費の適正化、後発医薬品・バイオシミラーの利用促進

令和5年度の薬価収載医薬品の消費額は、1ヶ月平均1.38億円でした。令和4年度1.31億円でした。令和3年度1.29億円と増加傾向が続いています。高額医薬品、特に抗がん剤やバイオ医薬品の使用増加が続いています。また、抗がん剤については、新規適応症の追加も相次いでいるため、適応患者が拡大していることも購入金額・使用量増加の一因と考えられます。

バイオシミラーへの切り替えを1剤(テリパラチドBS皮下注)実施、15品目の後発医薬品への切り替えを行い医薬品費削減に寄与しました。後発医薬品使用体制加算は、数量シェア90%以上を安定して確保し、加算1の算定を維持しました。今後も継続して取り組み、維持していきます。

令和5年度も医薬品メーカーの事情による医薬品の出荷調整・出荷停止が相次ぎ発生し、業務への影響が続いています。新型コロナウイルス感染症の5類移行後のインフルエンザ等の感染症拡大により、解熱剤・鎮咳剤等の品薄も解消しておらず、適正な薬物治療の維持が厳しい状態です。薬剤部では、随時情報発信し、各診療科・医師に対し処方調整のご協力を仰ぎつつ、他銘柄や同効薬の確保に努めました。

人材の確保と育成

年度途中に卒業1年目の薬剤師1名を採用し、到達度を見極めながら育成を図りました。人材確保は依然、当薬剤部の最重要課題であり、例年実施している大学薬学部へのキャリアセンターへの働きかけや企業説明会等を活用し、当院の紹介に努めました。

令和5年度の受け入れはなかったのですが、実習生の受け入れは、将来の人材確保に繋がる可能性が高いことから、今後も積極的な受け入れを行います。

全国レベルの学会で5演題の発表を行いました。業務の成果をまとめることにより自己のスキルアップを図り、良質な薬物治療の提供、チーム医療への貢献、医療の安全確保に資する薬剤師の育成に取り組みました。また、NST 専門療法士1名が新たに誕生し、成果をあげています。

(単位: %)

|                   | H29  | H30  | R1   | R2   | R3   | R4   | R5   |
|-------------------|------|------|------|------|------|------|------|
| 後発医薬品の使用割合(数量シェア) | 85.0 | 87.0 | 91.3 | 90.6 | 90.6 | 91.5 | 92.6 |

### (3) 医療技術部:放射線技術科

#### 事業目標

- 救急業務体制の強化、より高度な検査画像の提供を行います。
- 高額医療機器の地域医療機関との共同利用を始めます。
- 患者被ばく管理の体制の確立を目指します。
- 一部看護師業務のタスクシフトを行います。

#### 重点取組内容

- CT 装置更新による高度な検査画像の提供を行います。

令和5年12月にCT装置1台が更新されました。64列CTから256列CTへ性能が向上しています。稼動間もない状態ですが、心臓CTでは64列CTとの比較で、不整脈や高心拍(80回/分以上)の症例でもブレのない非常に綺麗な画像が得られています。また、整形外科を中心としてデュアルエネルギーCTの撮像が行われており臨床応用を進めています。今後は「造影剤の低減・被ばく線量の低減」をめざし撮影条件の見直しを進めていきたいと考えています。

CT・骨密度・核医学撮影装置の共同利用を開始します

共同利用は開始準備を行いました。予約システムや依頼票・資料等の準備に時間が必要でしたが、令和5年度は病院機能評価・電子カルテシステム更新・医療監査の現場実施・CT装置更新などが立て続けにあり、院内各部署が共同利用の準備に時間が割けなかった点が最大の理由です。地域の医療機関へ行った共同利用のニーズに対するアンケート実施からも時間が経過しているため、再度のニーズ確認が必要であると考えています。

患者の被曝説明へ向け取り組みます

病院機能評価の必要事項として、令和5年9月よりCT・核医学検査・血管造影検査のオーダー時に「被ばく線量の説明」を患者さんへ文書として配布しています。また、放射線科各撮影室廊下には「被ばく線量の説明」を掲示しています。患者さんの被ばくの不安を安心へつなげる資料として運用しています。また、「線量管理ソフト」も更新され統計資料の作成が容易になりました。自施設の被ばく線量の低減に更に努めたいと思います。

検査時の静脈ライン確保を開始します。

診療放射線技師法の改正により「検査時の静脈ラインの確保」が可能となりました。必須条件である厚生労働省の告示研修受講は、診療放射線技師24名中23名が修了しました。かつ医療安全・看護部と共同作成した研修プログラム「静脈路確保・造影剤投与 実技他者評価」に11名が合格し、患者さんに対して静脈ライン確保を開始しています。MRI・核医学検査において現在ER・内視鏡部門の看護師が行っている「検査時の静脈ラインの確保」を放射線技師へタスクシフト出来るように努めていきます。

(単位:人・件)

| 区分   | 放射線部門での実施件数 |        |       |       |       |       |
|------|-------------|--------|-------|-------|-------|-------|
|      | 診断部門        |        |       |       |       | 治療部門  |
|      | X線撮影        | CT     | MRI   | 核医学検査 | 骨密度検査 | 放射線治療 |
| R3年度 | 26,515      | 14,275 | 5,137 | 289   | 1,065 | 5,365 |
| R4年度 | 29,185      | 14,737 | 5,218 | 322   | 1,580 | 4,958 |
| R5年度 | 30,145      | 15,082 | 5,330 | 351   | 1,623 | 5,383 |

#### (4) 医療技術部:臨床検査科

##### 事業目標

臨床に貢献する検査データの迅速提供・効率的な検査運用を追及します。

収入の確保、経費節減により、経営に貢献します。

高度・救急医療に貢献し、地域医療に精通した人材を育成します。

各種休暇の取得率アップと、超過勤務の縮減に向け、取り組みます。

##### 重点取組内容

ISOによる検査品質の向上

国際標準規格・ISO 15189の要求規定に従い、効率的で専門的な業務を遂行しました。7月26日に第3回定期サーベランスを受審し、速やかに是正処置を行い、承認されました。国際標準規格・ISO 15189の要求規定が更新され、第4版が6月に出版されたことで、順次移行作業を進めているところです。

検査効率の追求

令和5年11月の電子カルテ更新と同時に検体検査システム、輸血システム、全自動輸血検査装置が更新されました。検体検査システムの更新により、精度管理の確認や結果登録などの効率化が図られました。また、輸血システム更新に伴い、アルブミン製剤の管理を臨床検査科で開始



|        | 院内PCR | 迅速PCR | 抗原定性 | cov/インフル同時定性 |
|--------|-------|-------|------|--------------|
| 2020年度 | 363   | 0     | 9    | 0            |
| 2021年度 | 4,140 | 284   | 573  | 0            |
| 2022年度 | 4,150 | 1,941 | 306  | 713          |
| 2023年度 | 646   | 536   | 202  | 3,306        |

#### 人材の育成

臨床検査科の教育訓練手順に従い、検査科スタッフ一人一人のスキルアップを図ってきました。細胞検査士1名が合格となりました。

各学会・研修会・勉強会は、webだけではなく、ハイブリット方式で現地開催されるものが増え、どちらも積極的に参加しました。タスクシフト実技研修会が県内で5回開催され、13名受講しました。今後も積極的に研修会に参加し、タスクシフトへの準備を進めます。

#### 各種休暇取得と超過勤務解消

年次有給休暇の平均取得日数は令和4年と令和5年とを比較すると、前者は7.7日、後者は7.2日と令和5年は減少しました。一人ひと月あたりの平均超過勤務は令和4年度8.9時間から令和5年度9.3時間と増加しました。また、一ヶ月で25Hを超えた延べ人数も増加しました。これらは電子カルテ更新、検査システム更新、輸血システム更新と生化学・免疫分析装置更新という臨床検査科にとってのビックイベントが令和5年度に集中したため、負担が多くなったことが要因です。令和6年度は例年並みに解消されると思われます。

#### (5) 医療技術部:リハビリテーション技術科

##### 事業目標

魚沼地域の地域完結型リハビリテーションの実現のため急性期リハビリテーションの充実を図ります。

人材育成・学術活動の充実に努めます。

多職種連携の促進を図ります。

##### 重点取組内容

急性期リハビリテーションの充実と収入増

診療科別担当チーム編成を継続し、発症、術後早期患者の介入増加に取り組みます。

各診療科と連携し、リハビリテーション潜在需要の把握と体制整備を進めます。

各部門において、産休育休者、中途退職者、欠員など前年度に比してスタッフ数の減少がありました。急性期リハビリテーションに取り組みました。

#### 急性期リハビリテーションの充実と収入増

|             | 令和4年度        | 令和5年度        |
|-------------|--------------|--------------|
| スタッフ数       | PT16/OT9/ST4 | PT15/OT7/ST3 |
| 出勤人数(延べ数)   | 5,843名       | 5,523名       |
| 部門収益        | 246,514,100円 | 214,658,900円 |
| リハビリテーション件数 | 102,063件     | 98,623件      |
| 初期加算        | 37,466単位     | 35,420単位     |
| 早期加算        | 62,231単位     | 57,001単位     |

## 心大血管疾患等リハビリテーションの充実

|             | 令和4年度  | 令和5年度  |
|-------------|--------|--------|
| 心大血管疾患等リハビリ | 2,789件 | 3,783件 |
| CPX検査       | 116件   | 138件   |

### 人材育成・学術活動の取り組み推進

研究活動を支援し、データベースの活用を推進します。

院内外の講師依頼に協力します。

周辺の病院とリハビリ職員同士の交流を図り、病院機能の理解を深めます。

学会発表 21 件(受賞 2 件) 論文発表 7 件 院外講師 1 件 院内講師 9 件

周辺の病院との交流については、月 1 回の心疾患リハビリの研修受け入れを行う中で、当院スタッフの病院視察を受け入れていただき病院間の交流ができました。また月 1 回部門長会議を zoom で開催し、病院間の情報交換を行いました。

### ワーク・ライフ・バランスの推進

ワーク・ライフ・バランスを大切に作る職場環境を作ります。

業務体制を見直し、超勤時間の減少に取り組みます。

スタッフ全員が1月～12月の1年間で目標である年休 10 日以上(時間休含む)

取得できました。三六協定違反はありませんでした。

### 病棟連携、チーム医療への貢献

カンファレンスの充実を図り、病棟との協力体制を強化します。

リハビリテーションの視点が必要なチーム医療への協力を促進します。

定期的に主要科のカンファレンスを行い、多職種での情報共有を行いました。

病棟担当スタッフを配置することで、病棟との協力体制を構築できました。

## (6) 医療技術部: 栄養管理科

### 事業目標

給食業務受託業者と連携し、安全でかつ患者個人に合わせた食事の提供に努めます。

患者支援体制の充実に努めます。

チーム医療に貢献する人材の育成に努めます。

### 重点取組内容

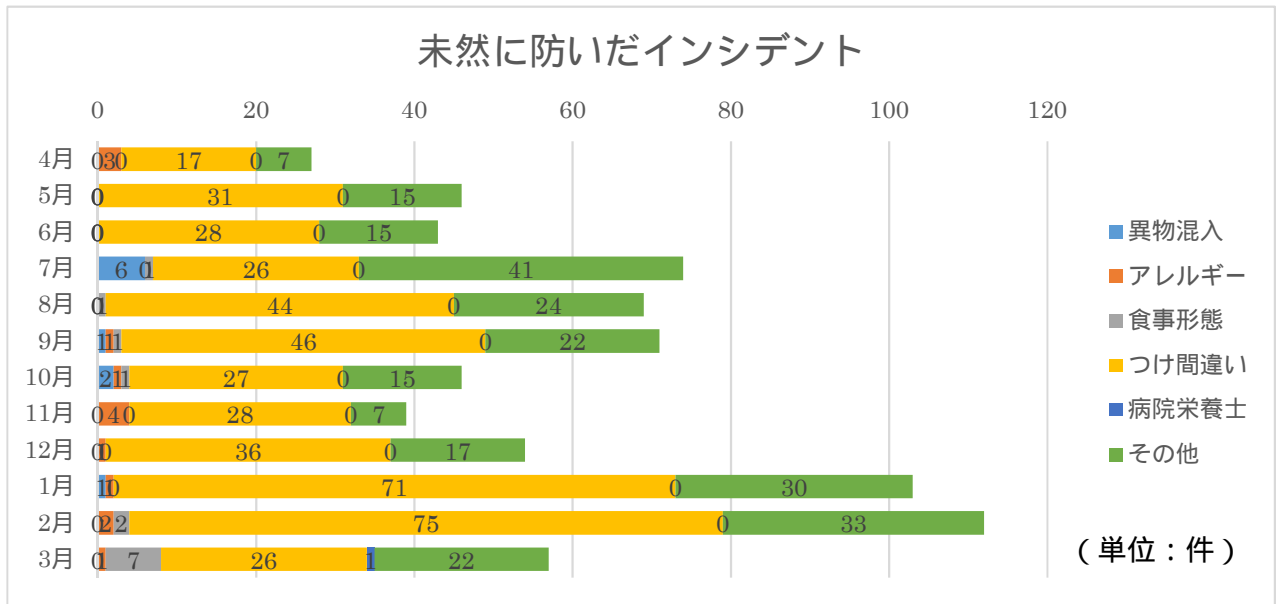
給食業務受託業者と連携し、安心・安全な食事の提供に努める

#### ア インシデント発生防止、異物混入の防止

インシデントの発生時は「インシデント迅速版」を使用し、病院栄養士と給食業務受託業者でいち早く情報共有しました。

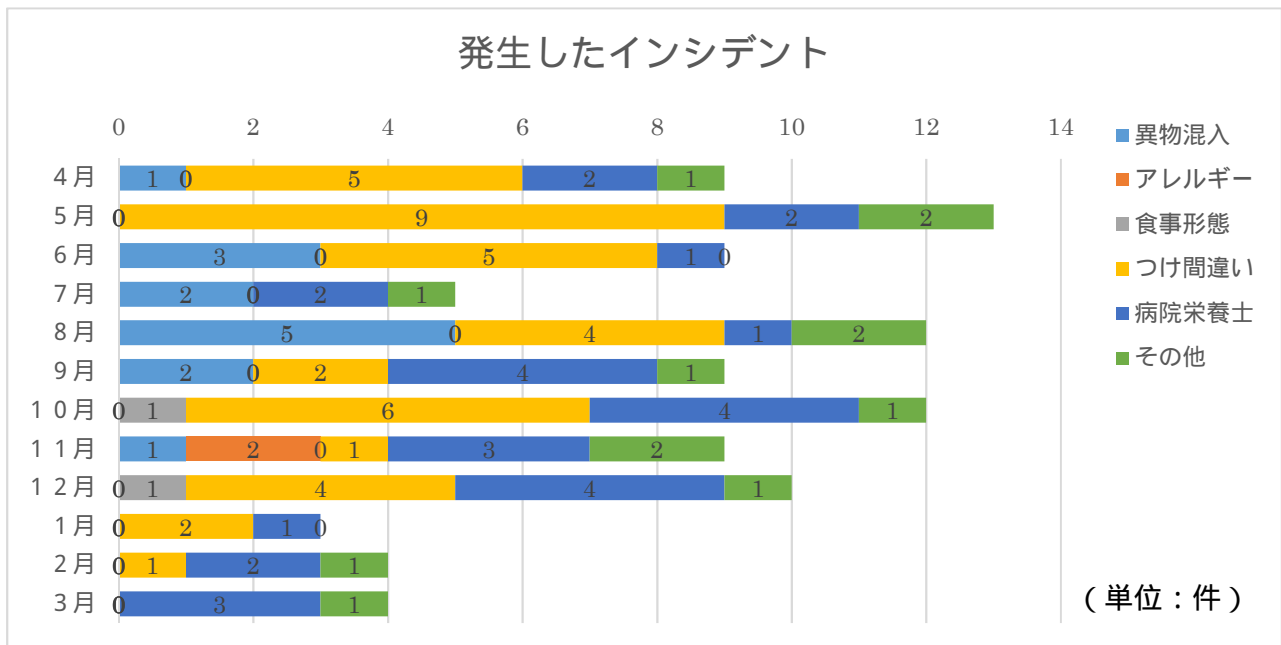
給食業務受託業者は「未然に防げた内容と発生したインシデント」についてミーティングや伝達ノートで職員全員に周知を図ります。そして、月 1 回栄養管理科内会議を開催し、給食業務受託業者と病院栄養士がインシデントを振り返り、再発防止案を検討しています。適宜、医療安全担当看護師による現場確認や指導も実施しています。

医師や看護師が食事オーダーを発行する際に、食物アレルギーの入力を忘れる事がたびたび発生していました。そこで、管理栄養士が患者基本情報に入力されたアレルギー情報の確認を全患者に対して1日2回実施し、インシデントの発生防止に努めています。



未然に防いだインシデント「病院栄養士」とは: 病院管理栄養士が未然に防ぐことができたインシデントを指す。件数は0件であった。

未然に防いだインシデント「その他」とは: つけ間違いなのか、皿数の数え間違いなのか不明だったケースが多くを占めた。



発生したインシデント「病院栄養士」とは: 病院管理栄養士が起こしたインシデントを指す。複雑な食事オーダーが必要な患者の入力忘れ等が多くを占めた。

発生したインシデント「その他」とは: つけ間違いなのか、皿数の数え間違いなのか不明だったケースが多くを占めた。



## イ 安心・安全な食事の提供

給食業務受託業者と協力し、衛生管理を徹底し、安全な食事作りを目指しました。

納品物の温度管理や品質の確認・職員の健康管理などについては実践できましたが、保健所の適時調査にて、「清掃実施の記載漏れ」についてご指摘を頂きました。

この点について、給食業務受託業務の担当者と話し合い、今後の解決策を作成しました。

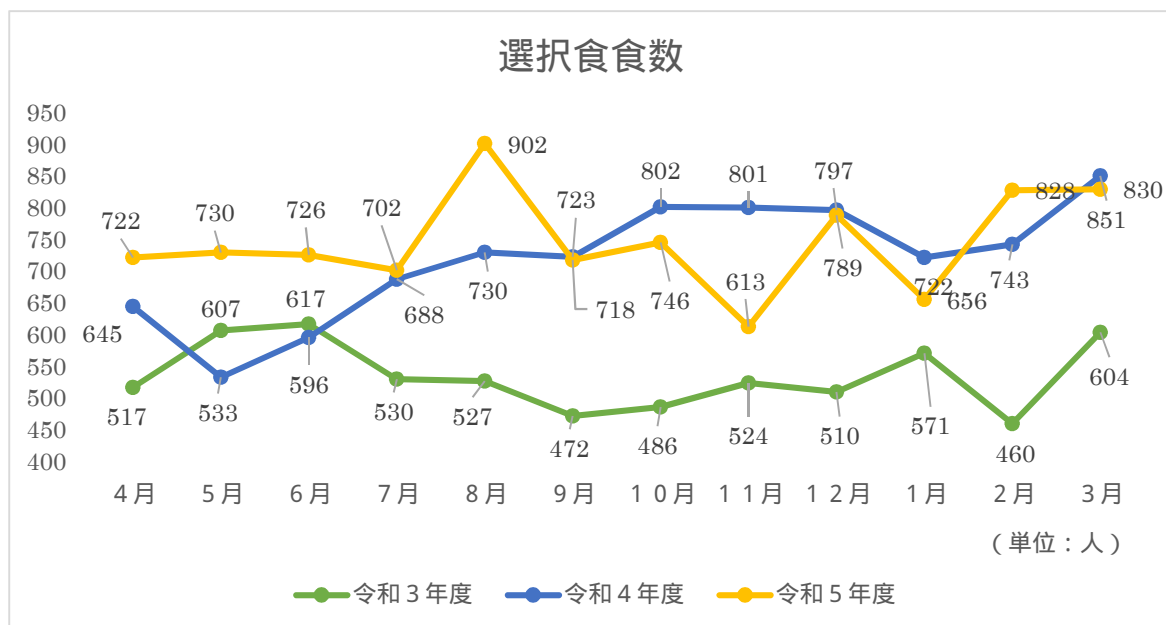
## ウ フードサービス・栄養管理の充実に努める

年3回の嗜好調査と月1回の残食調査の集計結果及び医師と管理栄養士の検食結果を基に、献立内容検討会を実施し、献立の見直しを随時行いました。

毎日昼食時には、患者が2つの定食から選べる選択食を提供しています。

令和4年度に人気メニューの麺類を週3回へ増加させ令和3年度比 34.3%増加。更に令和5年度、人気メニューの回数の増加を行った結果、選択食対象者に対する割合は、令和4年度比 3.8%増加し、収益増加にもつながりました。

現在、選択食金額を増額の方針で検討中。今後も患者に選んでいただける取り組みを行っていきたいと思います。



行事食(年間20回以上)の他に、郷土料理や厳選されたデザート等の提供等で、食事に変化を持たせるように努めました。

また、長期入院される精神科病棟では、豊富な種類のデザートや飲み物等のスイーツバイキングを実施し、好評を得ました

令和5年度実施された患者満足度調査結果(日本医療機能評価機構)では約75%と高い評価をいただきました。

## エ 患者支援体制の充実・栄養管理の充実

### (ア) 患者に適した食事提供

入院時から、食物アレルギーの把握・乳糖不耐症・がん患者の食思不振などへの対応や、患者の嗜好も配慮し、満足していただける食事の提供に努めました。

医師の指示のもと適切な食事を提供するだけでなく、管理栄養士がこまめに患者訪問を行いました。これにより、患者の口腔内環境や身体機能に合わせた食事形態や、患者の嗜好に合わせた主食や飲み物類の変更を行ったことで、喫食量の増加につながりました。

病棟で、週 14 回実施されている全ての診療科のカンファレンスへ参加し、栄養に関する情報を多職種と共有しました。

入院中の食事状況だけでなく、退院後の食生活や疾病の再発予防を見据えた提案を行いました。

がん患者や家族を対象とした「がんサロン」では、管理栄養士が患者の食生活に対する不安について講演会を実施し、参加者から好評をいただきました。

今後も定期的に講演会を開催する予定で、がん診療連携拠点病院の管理栄養士としての役割を担っていきたいと思います。

地域における栄養・食生活支援体制を充実するために、シームレスな栄養連携が重要であることから、医療・介護分野の管理栄養士と共に研修会を実施し、連携の強化に努めました。

(イ) チーム医療に貢献し、診療報酬の増収に努めました。

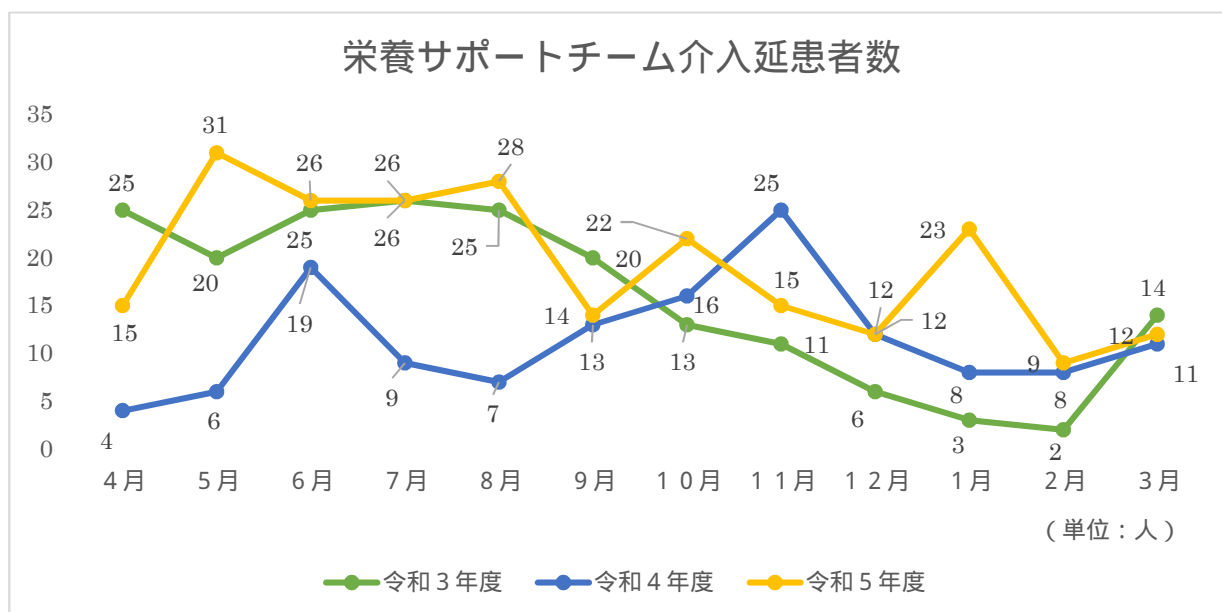
病院の方針に沿い、診療報酬増加に向けて、以下のような取り組みを行いました。

a チーム医療: 栄養サポートチーム(200点/人)

栄養状態の改善が困難な症例については、栄養サポートチームの介入を促し、多くの専門職と連携して、早期に患者の栄養状態改善につながるよう努めています。

令和5年度、栄養サポートチーム加算の算定体制を整え、診療報酬増加につなげました。

介入件数は、令和4年度より増加しました。増加要因としては、褥瘡チームとの連携を図れたこと、NST 委員会で中間評価を行い各病棟への積極的な介入アプローチを行ったことが考えられます。

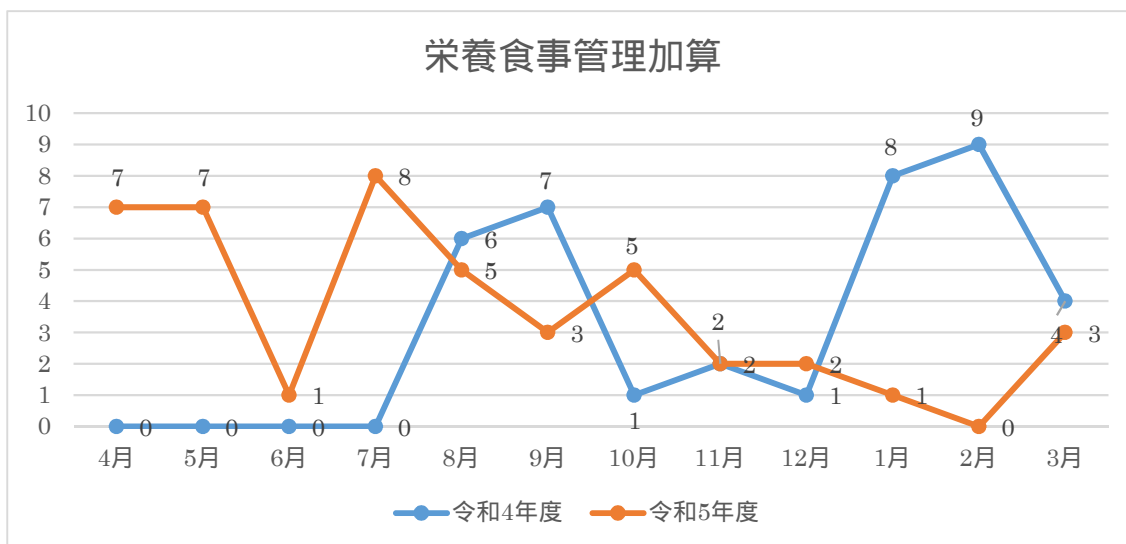


介入した全患者の終了時点の栄養状態は、栄養改善 76%、不変 24%、悪化 0%と、栄養サポートチームとしての役割を果たせたと考えます。

令和5年度新たに医師 3 名・看護師 1 名・管理栄養士 1 名が研修を修了したので、次年度以降の積極的な活動へ繋がりたいと思います。

b チーム医療: 緩和ケアチーム

週 1 回の緩和ケアカンファレンスに参加し、緩和ケア介入患者の栄養管理を行い「緩和ケア診療加算」算定に伴う「個別栄養食事管理加算」の算定を行いました。



c 周術期栄養管理実施加算

令和4年の診療報酬改定にて周術期における適切な栄養管理を推進する観点から、管理栄養士が行う周術期に必要な栄養管理について、「周術期栄養管理実施加算」が新設されました。

周術期栄養管理実施加算は外来栄養食事指導2回以上(初回260点、2回目以降200点以上)・入院栄養食事指導2回(初回260点、2回目以降200点)・周術期栄養管理実施加算(270点)からなる合計1,190点以上の高額な取組みとなります。令和5年度12月より泌尿器科で算定を開始しました。

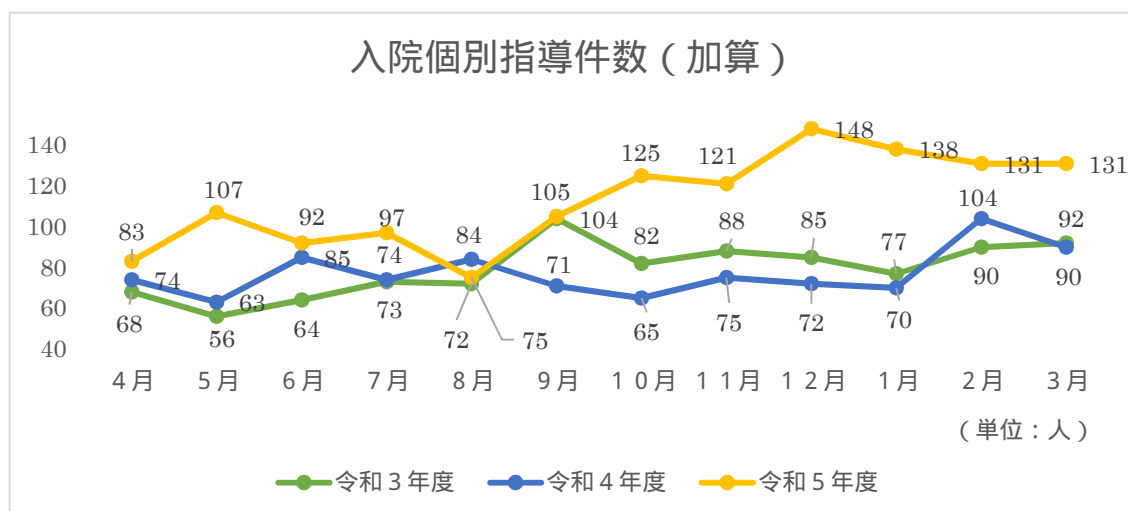
d 早期栄養介入加算開始に向けての準備

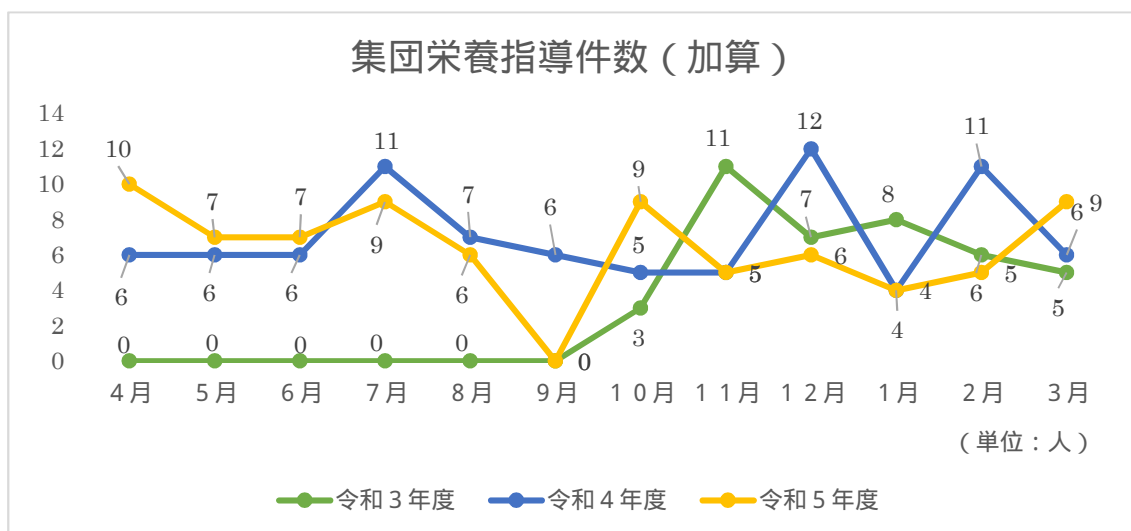
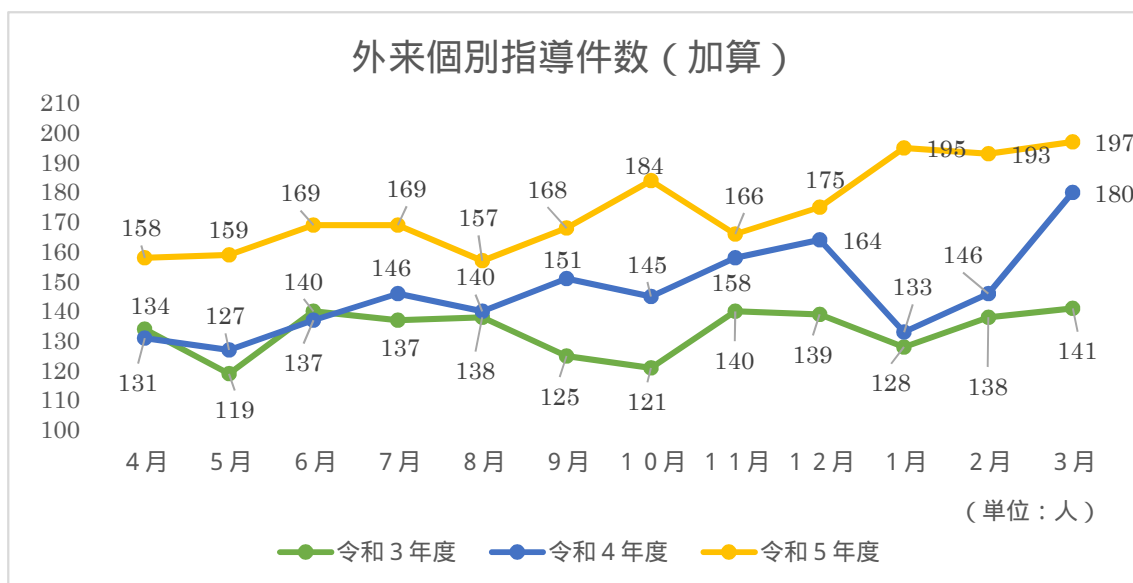
令和4年の診療報酬改定において早期からの回復に向けた取り組みへの評価として「早期栄養介入加算(400点)」が新設されました。

令和6年度4月より救命救急センターで算定を開始できるよう、現在準備を進めています。

e 入院・外来栄養食事指導

外来栄養指導については、栄養指導室の拡充、管理栄養士本来の業務に集中できる体制作り及び業務改善等を進めた結果、令和5年度入院栄養食事指導件数は前年比46.0%増加、外来栄養食事指導件数は前年度比19.0%増加しました。





令和3年度4月から9月は、新型コロナウイルス感染症予防の為未実施  
 令和5年度9月は、病院機能評価当日の為未実施

#### f 入退院支援との連携

当院では、予定入院の患者に対し入院前に入院時支援を行っています。患者の口腔内状況や栄養状態、既往歴を把握し、主治医と相談して適切な食事形態や特別治療食への変更を行い、特別食加算の増加を目指しました。

#### 人材の育成

当科では令和5年度初めて教育体制のマニュアルを見直しました。

各種疾患における専門性を高めるため、NST 専門療法士教育研修(臨床実地修練)、地域糖尿病療養指導士の資格更新等、各自が積極的に学会や研修会等へ参加しました。

## (7) 医療技術部：臨床工学科

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の分類が5類に変更され、診療体制が徐々に以前の状態に戻りつつあった年となりました。本感染症に罹患した透析患者は幸いにしてほとんど重症化せず、透析室の陰圧機能のある個室にて令和5年度 23 件実施されたほか、救命救急センターにて2件、西7病棟で行うことはありませんでした。

臨床業務件数については、令和4年度に比べて大きな変動は見られず、業務量は高水準で推移しました。循環器診療に関わる業務は、循環器内科常勤医師3名体制になった令和4年度と同様の件数でした。医療機器の修理件数についても令和4年度と同程度の件数であります。開院以来8年以上使用した医療機器について、経年劣化による故障を未然に防ぐために継続的な保守・メンテナンスを行うとともに、当科にて可能な範囲内にてより多くの点検・修理を行うことにより、使用不能時間と修理コストの削減に努めてきました。

| 臨床業務件数            | R1年度 | R2年度 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | 定期(日常含む点検業務件数) | R1年度 | R2年度 | R3年度 | R4年度 | R5年度 |
|-------------------|------|------|------|------|------|----------------|------|------|------|------|------|
| 人工呼吸器使用数(NICU含む)  | 237  | 206  | 168  | 241  | 249  | 輸液ポンプ          | 3660 | 4120 | 4605 | 3691 | 3994 |
| 透析(救命救急センター、西7病棟) | 47   | 49   | 71   | 83   | 67   | シリンジポンプ        | 940  | 971  | 1043 | 1341 | 1181 |
| 持続的血液濾過透析(CHDF)   | 19   | 23   | 12   | 5    | 14   | フットポンプ         | 1778 | 1740 | 1809 | 2040 | 2063 |
| 血漿交換              | 0    | 32   | 20   | 17   | 4    | 人工呼吸器          | 572  | 503  | 532  | 569  | 565  |
| 腹水濾過濃縮            | 55   | 41   | 23   | 45   | 37   | 計              | 6950 | 7334 | 7989 | 7641 | 7803 |
| 経皮的心肺補助           | 1    | 2    | 1    | 2    | 4    | 点検・修理件数        |      |      |      |      |      |
| 大動脈バルーンポンプ(IABP)  | 1    | 0    | 0    | 5    | 7    | 科内対応件数         | 459  | 628  | 526  | 617  | 551  |
| 脊髄誘発電位測定          | 207  | 221  | 207  | 220  | 153  | 業者依頼件数         | 284  | 226  | 249  | 216  | 201  |
| ペースメーカー植込、交換      | 12   | 13   | 12   | 34   | 30   | 計              | 743  | 854  | 775  | 833  | 752  |
| 計                 | 579  | 587  | 514  | 652  | 565  |                |      |      |      |      |      |

(単位:件)

(単位:件)

### 事業目標

各部門・診療科と連携して、円滑な医療機器管理および高度な臨床工学技術の提供を図ります。

さらなる高度医療に対応できるよう臨床工学技士としての知識・技術を強化します。

### 重点取組内容

循環器内科診療における当科の心臓カテーテル業務について

令和4年度より循環器内科常勤医師が3名体制に戻り、2年目である令和5年度は平日日勤帯に循環器疾患における緊急受け入れが始まりました。当科として重点取組内容に挙げた心臓カテーテル室における清潔野での補助業務を行うにあたり2名を担当とし、他の様々な業務との調整を行いつつ、新規業務として医師からのOJT、外部の研修会等における自己研鑽により全症例ではありませんが、業務への介入を始めることができました。令和6年度以降さらに人員が増えることで、より多くの症例にて業務を行うことが可能となり、医師業務のタスクシフトと心臓カテーテル治療の安全性向上に貢献できると考えます。

円滑な医療機器更新について

昨年度に引き続き、令和5年度についても同程度の更新費用が確保され、機器選定審査会を開催しました。令和5年度は電子カルテの更新がありましたが、それに伴い電子カルテに連携している医療機器の更新が必要となりました。それらについても高額医療機器含め、各科・部門における必要な更新機器を選定することができました。

開院から10年目となる令和6年度、限られた予算の中で、各部門からさらに多くの機器の更新要望が挙げられることが予想されます。このような状況においても病院の診療機能を落とすことなく、更なる計画的な更新が必要となります。

病院機能評価の受審、認定に向けた取り組み

令和5年度病院機能評価を受審するにあたり、特に当科に関連した評価項目である「医療機器を安全に使用している(2.1.7)」、「医療機器管理機能を適切に発揮している(3.1.7)」に対

して、改めて病院内の医療機器の安全使用、管理について自己評価を行いました。概ね問題がありませんでしたが、細かな箇所を改善することで、医療機器管理について充実させることができました。訪問審査においても高い評価である A と評価されました。これに満足することなく、更なる安全かつ適正な医療機器管理に努めます。

#### 臨床工学技士法改正、業務範囲追加における研修の受講

令和3年に臨床工学技士法が一部改正され、臨床工学技士の業務範囲が追加されました。追加された業務範囲を行うためには、厚生労働大臣が指定する研修を受講する必要がありますが、基礎研修(eラーニング、20時間以上)は令和4年度までに全員の受講が完了していました。令和5年度は実技研修の全員修了を目指し、完了しました。これにより法改正に伴う追加された業務について当科の全員が可能となり、今まで行っていた血液浄化業務における内シャント以外の穿刺業務について法令遵守が担保されました。令和6年度から施行される医師の働き方改革、医師業務のタスクシフト・シェアの推進とそれ以外の職種の業務含めて、新たに行う必要がある業務について今後協議、検討していく必要があります。

#### (8) 地域医療部:患者サポートセンター・地域連携推進室

##### 事業目標

「地域全体でひとつの病院」の具現化に向け、地域の連携強化に努めます。  
患者及び家族に安心と満足の医療療養環境の提供に努めます。

##### 重点取組内容

###### 病病連携・病診連携の推進

連携強化に向けて、外来担当の病院長特命補佐と圏域医師会長、圏域病院の連携責任医師との意見交換を行いました。また地域連携推進室スタッフが圏域全医療機関を訪問し、紹介受診重点医療機関の報告及び逆紹介推進と紹介受診のお願いをしました。

連携病院間での Zoom を活用した定期情報交換会については質を見直ししながら継続し、相互理解を深めました。

地域の医療機関の先生方と当院医師との顔の見える関係作りの為、令和6年1月に妻有地域、魚沼・南魚沼地域にて意見交換会を企画しました。

定期的に UKB Case Conference を開催し、圏域内の医療機関から紹介された患者さんの情報共有を通じて、医師間の連携強化を図りました。

###### 逆紹介の推進

地域情報を医師・患者へ伝え、逆紹介を推進することで年初 45%だった逆紹介率は令和6年3月度の値が 78.7%となりました。ただし、目に見える紹介率向上といった好循環にはまだ繋がっていません。引き続き逆紹介を推進するとともに、地域の医療機関との関係作り、連携強化を進めていきます。

###### 各種会議体の積極開催

当院が紹介受診重点医療機関になることに伴い、患者さんの受診行動を変えていただく必要があることから、病院長・事務部長と圏域内の首長を訪問し、自治体からの広報協力のお願いや意見交換を実施しました。また逆紹介推進に向けて課題となる点はなにか、外来担当病院長特命補佐と圏域病院を訪問し、意見交換を実施しました。

連携病院間での情報共有の為、Zoom を活用した隔週の定期情報交換会を開催しました。3月中旬に連携実務者の意見交換会を企画しています。

###### 医療福祉相談の強化

外来における医療福祉相談件数は令和5年度 155 件(令和4年度 161 件)となっています。

また、転院や在宅復帰など入院後の相談件数は令和5年度 1,311 件(令和4年度 1,200 件)となっています。

### 入退院支援の強化

入退院支援委員会を通じて病棟看護師の退院支援対応力の向上を図りました。令和3年4月より算定を開始した入退院支援加算1は、令和5年度5,356件の算定となりました。(令和4年度の算定件数4,868件)

### 人材育成

オンラインでの研修に数多く参加し、職員の意識や意欲の向上につなげました。

UKBリサーチ2023において「地域連携情報共有WEB会議の取組と効果」及び「当院からの転院搬送における救急車利用の実態調査」について発表をしました。

退院支援スタッフ間での事例検討会を定期開催し、スキルアップ向上を図りました。

## (9) 地域医療部:精神医療支援科

### 事業目標

精神科領域の患者支援部門として院内・地域の窓口機能を果たします。

各職種が専門性を発揮しつつ多職種協働で患者支援が行える医療支援体制を構築します。

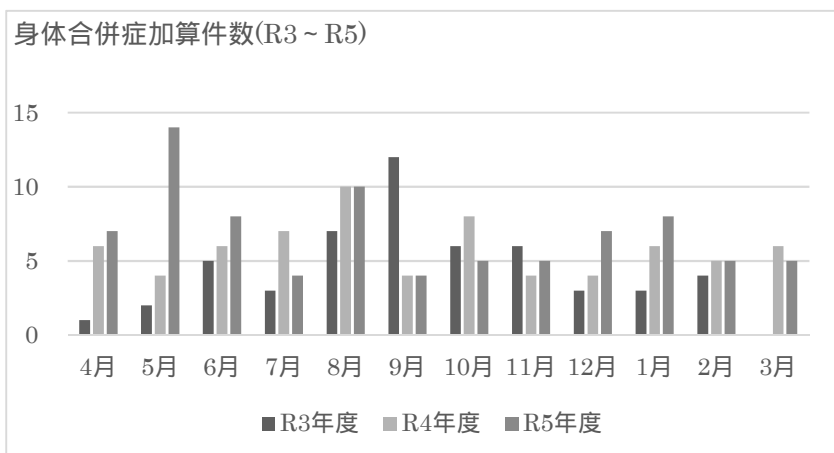
### 重点取組内容

#### 精神科病院との連携強化

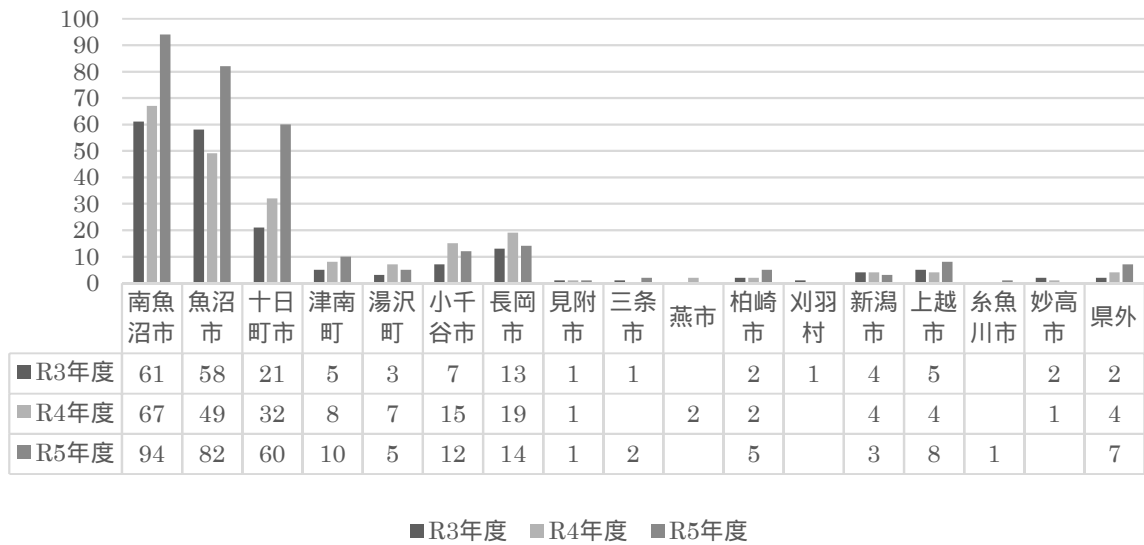
身体合併症の拠点病院として、身体科と連携しながら専門治療が必要な患者の受け入れを積極的に行いました。救急医療当番システムや措置入院に対応する病院として、地域外からも入院の受け入れを行い、入院早期から地域機関や地元病院と連携して状態改善後速やかに地元病院に戻るよう努めました。当地域では精神科の病院・診療所の機能縮小が続いており、圏域外への転院・退院調整をせざるを得ない状況にもなっています。魚沼フォーラムなどの機会に地域全体でこの課題を共有し、改めて当院精神科の機能や役割を周知し今後の機能分担への取り組みを始めたところです。

### 身体合併症管理加算の割合(R5年度)

|                | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    | 10月   | 11月   | 12月   | 1月    | 2月    | 3月    | 合計    |
|----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 新規入院患者         | 32    | 36    | 32    | 32    | 25    | 17    | 23    | 21    | 22    | 24    | 18    | 22    | 304   |
| 身体合併症加算        | 7     | 14    | 8     | 4     | 10    | 4     | 5     | 5     | 7     | 8     | 5     | 5     | 82    |
| 身体合併症管理加算の患者割合 | 21.9% | 38.9% | 25.0% | 12.5% | 40.0% | 23.5% | 21.7% | 23.8% | 31.8% | 33.3% | 27.8% | 22.7% | 27.0% |



新規入院者の住所地（R3～R5）



### 一般病棟との連絡強化

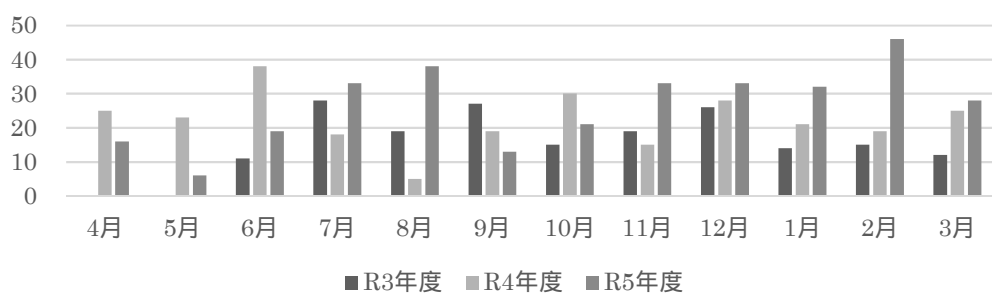
精神科リエゾンでは各々の専門性を活かして精神科の問題への介入を行いました。チームが稼働して3年目となり、精神的に急性期と判断された場合は転科して治療を行い、症状が落ち着いた時点で一般病棟に戻り退院・転院調整を行うという連携を強化し、身体の治療の円滑化、病棟スタッフの負担軽減に努めました。

また、HIV 委員会や緩和ケア医療に心理士が参画し、対象患者のメンタルヘルスの向上に努めました。

R5年度 リエゾンチーム介入実績(病棟別)

| 病棟/月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計  |
|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| ICU  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 1   | 1   | 1   | 1  | 0  | 0  | 4   |
| 東4   | 1  | 0  | 2  | 5  | 11 | 2  | 1   | 6   | 2   | 5  | 10 | 4  | 49  |
| 西4   | 3  | 1  | 1  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 2  | 7   |
| 東5   | 0  | 0  | 0  | 4  | 0  | 0  | 5   | 5   | 8   | 6  | 11 | 5  | 44  |
| 西5   | 7  | 5  | 12 | 7  | 3  | 1  | 3   | 5   | 12  | 11 | 11 | 8  | 85  |
| 東6   | 0  | 0  | 4  | 11 | 9  | 2  | 3   | 7   | 4   | 4  | 7  | 7  | 58  |
| 西6   | 0  | 0  | 0  | 4  | 5  | 4  | 3   | 3   | 0   | 3  | 5  | 0  | 27  |
| 西7   | 5  | 0  | 0  | 2  | 10 | 4  | 5   | 6   | 6   | 2  | 2  | 2  | 44  |
| 合計   | 16 | 6  | 19 | 33 | 38 | 13 | 21  | 33  | 33  | 32 | 46 | 28 | 318 |

精神科リエゾンチーム介入実績（R3～R5）





### 人材の育成

学会・研修会は Web 研修に加えて集合研修も一部再開され、それぞれの職種が専門職として必要な研修に積極的に参加し、自己研鑽に努めました。

次世代を担う人材育成に貢献するため、令和 5 年度は新潟青陵大学 4 年生の精神保健福祉士実習（5 月 29 日～6 月 13 日の 12 日間 1 名）、晴陵リハビリテーション学院 3 年生の精神科作業療法臨床実習（8 月 21 日～10 月 13 日の 8 週間 1 名）を受け入れました。また、令和 5 年は初めて精神科認定看護師実習（11 月 20 日～12 月 16 日のうち 7 日間 1 名）の受け入れも行いました。加えて、研修医・医学生が精神科での研修期間に訪問看護への同行・デイケアプログラムへの参加により、退院後の患者支援の現場について体験する機会を設けました。科としてもそれぞれの実習指導を通して、日々の業務を振り返る良い機会となりました。令和 6 年度の実習受け入れ要請にも協力したいと考えています。

### 地域支援者との連携強化

保健所主催の地域連絡会（事例検討）が 9 月 28 日（南魚沼地区：参加者 18 名）、10 月 26 日（魚沼地区：参加者 16 名）、11 月 30 日（十日町地区：参加者 16 名）に地区ごとに実施され、院内外から事例に関わる支援者が集まり、活発な議論を行いました。地域から対応困難なケースや今後の方向性を共有したいケースが事例としてあげられ、地域支援者の関心も高く貴重な話し合いの機会となりました。

当院主催の精神科地域連絡会は Zoom と集合のハイブリット開催という形で 2 月 29 日に実施しました。「魚沼基幹病院の精神科について」を精神科部長「統合失調症について」を精神科医師がそれぞれ講演し、46 箇所の施設・事業所より 85 名の参加がありました。地域の関連施設等に当院の機能や役割を周知し、適切な連携関係を強化する機会となりました。

また、十日町地域保健福祉セミナー・みちくさカフェふらっと・南魚沼市こころの健康づくり連携会議などに参加し、地域での支援状況について情報収集を行い理解を深めました。

### 地域移行の推進

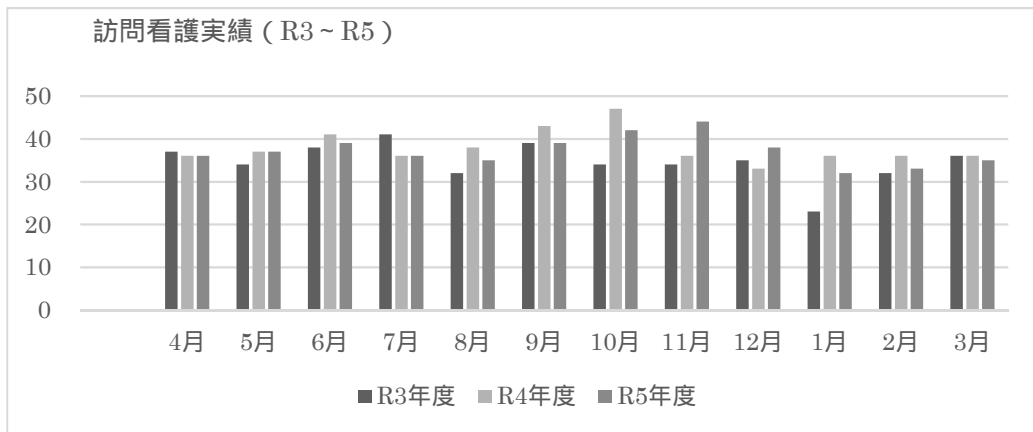
令和 5 年度、精神科入院数・外来数ともに増加しています。特に入院稼働率は平均 86.2% と高水準で推移しました。しかし、当地域には利用できるサービスや福祉施設などの社会資源が少なく、療養できる精神科病院も少ないため、退院時には多くの場合、在宅への社会復帰が求められます。入院者の退院支援や外来通院者の地域生活の維持に関わる業務が増加している現状があり、更なる地域との連携・移行が必要となりました。

また、当地域では治療（通院）継続のための移動手段的確保も重要な課題です。自立支援協議会（地域生活部会）での検討会議の際には医療機関からの意見を述べ、地域の実情についても学ぶ機会を得ました。

当科では、入院中から地域支援者との連携を密にし、退院前訪問等を共同で行なうことで退院後の生活を見据えた支援を早期から始動して貰えるよう工夫しました。対象者が地域の担当スタッフを認識し顔の見える関係を作ることによって、退院後の生活を具体的にイメージしたり不安を軽減することができ、スムーズな地域移行につながりました。一方、退院促進により訪問看護の利用者が増加していますが、対象とする地域が広範囲であり、実施日を増やして対応しましたが対応可能数には限界がありました。今後は地域の事業所等と連携し、積極的な関わりを依頼していく必要があると考えます。地域生活を支える手段としてデイケアも運営しており、利用者との面談でニーズを把握し、地域への積極的な移行の援助をしました。地域生活を行う対象者の息抜きの場、相談の場としても活用されています。

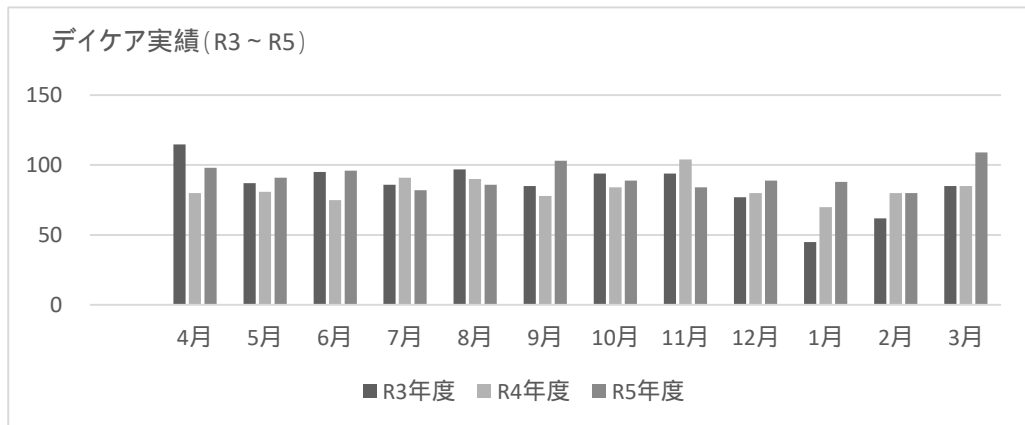
訪問看護実績

|      |       | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計  |
|------|-------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| R3年度 | 訪問看護  | 34 | 34 | 37 | 39 | 32 | 36 | 34  | 34  | 35  | 23 | 32 | 36 | 406 |
|      | 退院前訪問 |    |    | 1  | 1  |    | 2  |     |     |     |    |    |    | 4   |
|      | 算定なし  | 3  |    |    | 1  |    | 1  |     |     |     |    |    |    | 5   |
|      | 計     | 37 | 34 | 38 | 41 | 32 | 39 | 34  | 34  | 35  | 23 | 32 | 36 | 415 |
| R4年度 | 訪問看護  | 34 | 36 | 40 | 36 | 36 | 43 | 45  | 36  | 33  | 36 | 36 | 35 | 446 |
|      | 退院前訪問 | 1  | 1  | 1  |    | 2  |    |     |     |     |    |    |    | 5   |
|      | 算定なし  | 1  |    |    |    |    |    | 2   |     |     |    |    | 1  | 4   |
|      | 計     | 36 | 37 | 41 | 36 | 38 | 43 | 47  | 36  | 33  | 36 | 36 | 36 | 455 |
| R5年度 | 訪問看護  | 36 | 37 | 38 | 36 | 34 | 39 | 41  | 41  | 35  | 29 | 33 | 35 | 434 |
|      | 退院前訪問 |    |    | 1  |    | 1  |    | 1   | 1   |     |    |    |    | 4   |
|      | 算定なし  |    |    |    |    |    |    |     | 2   | 3   | 3  |    |    | 8   |
|      | 計     | 36 | 37 | 39 | 36 | 35 | 39 | 42  | 44  | 38  | 32 | 33 | 35 | 446 |



デイケア実績

|      |          | 4月  | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月  | 合計    |
|------|----------|-----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|----|----|-----|-------|
| R3年度 | デイケア(食有) | 69  | 45 | 66 | 55 | 59 | 51  | 56  | 60  | 39  | 30 | 49 | 63  | 642   |
|      | デイケア(食無) | 12  | 8  |    |    |    |     |     | 1   | 12  |    |    |     | 33    |
|      | ショートケア   | 34  | 30 | 29 | 31 | 36 | 33  | 38  | 32  | 25  | 15 | 13 | 22  | 338   |
|      | 算定なし     |     | 4  |    |    | 2  | 1   |     | 1   | 1   |    |    |     | 9     |
|      | 計        | 115 | 87 | 95 | 86 | 97 | 85  | 94  | 94  | 77  | 45 | 62 | 85  | 1,022 |
| R4年度 | デイケア(食有) | 49  | 53 | 42 | 62 | 61 | 54  | 55  | 73  | 59  | 52 | 54 | 63  | 677   |
|      | デイケア(食無) |     |    |    |    |    |     |     |     |     |    |    |     | 0     |
|      | ショートケア   | 30  | 28 | 33 | 29 | 29 | 24  | 28  | 29  | 21  | 18 | 24 | 21  | 314   |
|      | 算定なし     | 1   |    |    |    |    |     | 1   | 2   |     |    | 2  | 1   | 7     |
|      | 計        | 80  | 81 | 75 | 91 | 90 | 78  | 84  | 104 | 80  | 70 | 80 | 85  | 998   |
| R5年度 | デイケア(食有) | 78  | 70 | 62 | 57 | 53 | 70  | 62  | 44  | 49  | 55 | 58 | 74  | 732   |
|      | デイケア(食無) |     |    | 9  | 11 | 8  |     | 7   | 10  | 12  | 9  |    | 13  | 79    |
|      | ショートケア   | 19  | 19 | 22 | 13 | 20 | 29  | 16  | 22  | 28  | 24 | 18 | 19  | 249   |
|      | 算定なし     | 1   | 2  | 3  | 1  | 5  | 4   | 4   | 8   |     |    | 4  | 3   | 35    |
|      | 計        | 98  | 91 | 96 | 82 | 86 | 103 | 89  | 84  | 89  | 88 | 80 | 109 | 1,095 |

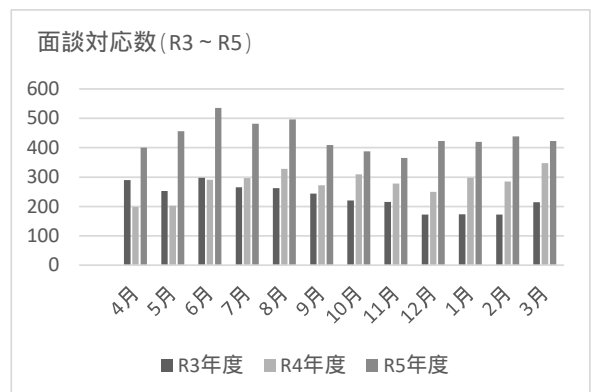
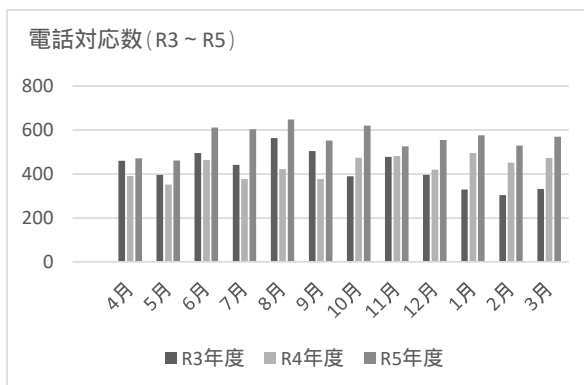


### 地域生活継続のための支援

外来受診時の定期面談や日常的な相談電話への対応を行いました。支援が必要な場合でも、適切な相談先が分からずに不安や悩みの中にいる対象者に対し、関係機関との連絡調整などタイムリーな対応を行うことで地域生活の継続を支援しました。病院機能評価でも入院から退院・外来まで時期に応じた患者支援を継続して行っていることが評価されました。

電話対応・面談件数 (R5年度)

|      |     | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    | 10月   | 11月   | 12月   | 1月    | 2月    | 3月    | 合計     |
|------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 電話対応 | 相談  | 335   | 344   | 485   | 480   | 535   | 438   | 523   | 432   | 450   | 480   | 434   | 471   | 5,407  |
|      | 受診  | 92    | 72    | 76    | 80    | 62    | 69    | 66    | 62    | 61    | 57    | 53    | 56    | 806    |
|      | その他 | 45    | 45    | 50    | 44    | 51    | 45    | 31    | 32    | 44    | 39    | 43    | 43    | 512    |
|      | 小計  | 472   | 461   | 611   | 604   | 648   | 552   | 620   | 526   | 555   | 576   | 530   | 570   | 6,725  |
| 連絡調整 | PSW | 1,213 | 1,134 | 1,476 | 1,389 | 1,358 | 1,204 | 1,483 | 1,218 | 1,138 | 1,364 | 1,223 | 1,315 | 15,515 |
| 面談   | PSW | 394   | 443   | 518   | 453   | 470   | 387   | 361   | 339   | 404   | 398   | 421   | 408   | 4,996  |
|      | CP  | 0     | 2     | 1     | 1     | 2     | 0     | 5     | 2     | 1     | 3     | 2     | 0     | 19     |
|      | OT  | 6     | 11    | 16    | 28    | 24    | 22    | 22    | 24    | 18    | 19    | 16    | 15    | 221    |
|      | 小計  | 400   | 456   | 535   | 482   | 496   | 409   | 388   | 365   | 423   | 420   | 439   | 423   | 5,236  |



## (10) 事務部

### 事業目標

各部門・診療科と連携し、魚沼基幹病院事業計画を着実に遂行します。

教育研修病院としての機能の強化を図ります。

経営基盤の安定化を図ります。

働き方改革の実現に向け業務の簡素化・省力化を推進し、長時間労働の常態化を是正します。

職場環境の改善・処遇改善を図ります。

### 重点取組内容

新型コロナ感染症対応のための災害本部運営や病院機能評価受審・認定のための準備を中心となって運営するなど、各部門と連携を図り、円滑な事業遂行に取り組んできました。また、診療情報管理室が中心となって連携を進め、医療情報システムの更新を行いました。

紹介受診重点医療機関の指定等を契機として、一層、地域連携を進めるため、地域連携推進室を立ち上げ、地域医療機関との役割分担の明確化や連携強化を図りました。

臨床研修医の確保に努め、募集人員の確保の目途が立ちました。また、看護部と連携し、特定行為研修を立ち上げ、7名の研修生を受け入れ着実に成果を上げています。

ベットコントロール会議等を通して、病床稼働率のアップに向けた取組を進めてきました。また、診療報酬の施設基準や各種加算取得を行うとともに、費用が高騰する中、燃料費等の経費節減に取り組みました。計画的に医療機器の更新を図るため、CT診断装置や生化学自動分析装置等の入替を行いました。

事務部は時間外勤務が多い部署のため、必要な人員を配置するとともに、業務改善や勤怠管理システムの導入等を通して時間外勤務時間の縮減を図りました。働き方改革に対応してコンプライアンスが遵守できるよう取組を進めています。

県の人事委員会勧告に沿った給与改善や看護職の処遇改善を行いました。こうした取組を受けて、職員やりがい度調査でも職員の評価が高まりました。

## (11) 臨床研究推進部

### 事業目標

治験に関連する業務の円滑な運営を行います。  
市販後調査等を積極的に受託し、病院経営に貢献します。

### 重点取組内容

#### 新規治験の受託

新規治験受託はありませんでしたが、受託機会増加に繋げるため、新潟大学医歯学総合病院との連携、MDV Act のデータ活用、NHA 治験ネットワーク参加など、体制整備に取り組みました。昨今の日本における治験を取り巻く現状から、今後、来院に依存しない治験の実施(DCT: Decentralized Clinical Trial)の導入が進む可能性も視野に入れる必要があります。

#### 治験審査委員会に関する業務

新規治験受託がなかったため、治験審査委員会の開催はありませんでした。

#### 市販後調査・臨床研究に関する業務

市販後調査関連の要綱等を改訂し、市販後調査の対象範囲を拡大しました。また、費用算定基準の改訂、依頼・実施・契約等に係る手続き業務を一元管理し、体制整備を行いました。

## 8 施設管理

### (1) 病院施設・設備等

#### ア 管理施設の内容

新潟県との基本協定に基づき建物や設備及び敷地を管理し、日々生じる故障及びトラブルに対して、病院機能に支障をきたさないことを心掛けて対応しました。

また、消耗部品等の交換は、メーカー推奨による予防保全ではなく、日々の日常点検や定期点検の結果に基づき、交換時期を見極める予防保全に努めました。

なお、職員及び委託職員で対応可能な場合は、病院にて材料を購入し、職員及び委託職員にて作業を行い修繕費の削減に努めました。

管理施設

| 区分           | 構造概要           | 延べ床面積      |
|--------------|----------------|------------|
| 病院棟          | 鉄筋コンクリート造 地上9階 | 30,186.55㎡ |
| センター棟        | 鉄筋コンクリート造 地上2階 | 3,151.86㎡  |
| リニアック棟       | 鉄筋コンクリート造 地上1階 | 210.90㎡    |
| 渡り廊下         | 鉄骨造 地上2階       | 71.95㎡     |
| 車庫棟          | 鉄筋コンクリート造 地上1階 | 85.00㎡     |
| 医ガス棟         | 鉄筋コンクリート造 地上1階 | 115.31㎡    |
| 駐輪場          | 鉄骨造 地上1階       | 25.44㎡     |
| 研修医宿舎        | 鉄筋コンクリート造 地上3階 | 1,685.41㎡  |
| 看護職員寮        | 鉄骨造 地上3階       | 2,409.60㎡  |
| ゆきぐに大和病院北棟3階 | 鉄筋コンクリート造 地上3階 | 1,184.70㎡  |

イ 主な利便施設

(ア) 主な利便施設の概要

| 施設  | 運営業者                | 設置場所           | 営業日            | 営業時間        | 契約期限    |
|---|---------------------|----------------|----------------|-------------|---------|
| 売店  | (株)セブンイレブン・ジャパン     | 病院棟<br>2階      | 年中無休           | 7:00～22:00  | R6.9.30 |
| 一般のセブンイレブン店舗と同様の販売商品に加え、病院指定の衛生材料や介護用品等の販売、病棟への配達の一部実施、公共料金等収納代行、ATM他の付帯サービスも実施 |                     |                |                |             |         |
| 外来・職員レストラン  | 東京ケータリング(株)         | センター棟<br>2階    | 月～金<br>(平日のみ)  | 10:00～15:00 | R5.3.31 |
| 「利用者ニーズの的確な把握」と「愛ある食空間の提供」をテーマに、豊富なメニューを提供の他、随時、カレーフェア等のイベントを実施                 |                     |                |                |             |         |
| 外来・職員レストラン  | 東京ケータリング(株)         | センター棟<br>2階    | 月～金<br>(平日のみ)  | 10:00～15:00 | R9.3.31 |
| 「感動ある憩いの空間」を基に、食文化の創造に努める方針に沿ったメニューの提供。その他、各種イベントを実施                            |                     |                |                |             |         |
| 理髪室   | 山崎 英輝               | 病院棟<br>2階      | 週3日<br>(月・水・金) | 12:00～17:00 | R7.3.31 |
| 入院患者を対象に、完全予約制で運営。入院患者の状況によっては、病棟への出張理髪も実施                                      |                     |                |                |             |         |
| 床頭台<br>コインランドリー等  | (株)パースジャパン          | 病院棟<br>各階      | -              | -           | R7.3.31 |
| テレビ、冷蔵庫、セーフティボックスを備えた床頭台を病室に配置する他、入院生活に対応するため、コインランドリーを設置                       |                     |                |                |             |         |
| 自動販売機   | コカ・コーラ ボトラーズジャパン(株) | 病院内各所<br>看護職員寮 | -              | -           | R7.3.31 |
| 飲料の販売。売上の一部を福祉団体や難病支援団体等に寄付する社会貢献型自販機の設置を推進                                     |                     |                |                |             |         |

(イ) サービス向上、適正管理

利用者の利便性の向上等を図るため、業者と随時意見交換等を行うなどの適正な管理運営に努めました。

ウ 管理方針

(ア) 駐車場等の整備

ゆきぐに大和病院南棟の解体が進まないため、現状維持の状態が続いています。

(イ) 医療情報総合システムの安定稼働

稼働から9年が経過し、ハード故障が多くなったので安定稼働を図るため、サーバ、端末、プリンタ等を入替えて、医療情報システムの更新を行いました。また、障害発生から復旧までの時間を可能な限り短縮して、現場影響が少なくなるように取り組みました。

(ウ) 医療機器等の整備・保守

保守点検計画に基づき保守定期点検を行い、医療機器の安全性と性能の維持に努めました。

令和5年度から始まった医療機器等の更新にあっては、機器の更新推奨、修理可能の有無や時期等を確認し、臨床工学科及び他部門と連携して中・長期的な更新計画の見直しを行い、超音波画像診断装置7台を含む医療機器更新31案件について更新整備を行いました。

また、X線CT装置及び生化学自動分析装置などの高額な医療機器の更新整備もあわせて行いました。

## (2) 外部委託

### ア 主な外部委託の状況

| 主な業務名・概要   | 事業者             | 業務委託期間           |
|--|-----------------|------------------|
| 施設総合管理業務   | 日本空調サービスほか共同企業体 | R3.10.1～R7.3.31  |
| 病院施設の監視や日常の巡視点検、保守点検・環境測定、院内環境整備(院内清掃・看護環境整備)、警備、電話交換等の病院施設管理に関する業務を包括して委託 |                 |                  |
| 医事業務   | (株)ニチイ学館        | R2.10.1～R5.11.30 |
| 受付、会計、診療報酬請求、収納等の医事業務を包括して委託   |                 |                  |
| 医事業務   | (株)ニチイ学館        | R5.12.1～R8.11.30 |
| 受付、会計、診療報酬請求、収納等の医事業務を包括して委託   |                 |                  |
| システム管理運営業務   | (株)エム・エス・シー     | R5.4.1～R8.3.31   |
| システムの円滑稼働のため、運用オペレータ業務を委託  |                 |                  |
| 物品管理等総合業務  | (株)エフエヌユニマネジメント | R3.10.1～R7.3.31  |
| 医薬品や診療材料等の調達・管理、搬送や手術室支援(ケースカート作成等)等の業務を包括して委託                             |                 |                  |
| 患者給食業務   | 日清医療食品(株)中部支店   | R3.10.1～R7.3.31  |
| 食材の調達、献立案作成、調理、食器洗浄等、患者に提供する給食に関する業務を包括して委託                                |                 |                  |
| 臨床検査業務   | (株)ビー・エム・エル     | R3.6.1～R7.3.31   |
| 病院が指定する特殊検査について、検体回収、仕分け、運搬、分析等の業務を委託                                      |                 |                  |
| リネン等賃貸借及び洗濯業務  | (株)新潟県厚生事業協同公社  | R2.10.1～R7.3.31  |
| リネン、カーテン、ユニフォーム等について賃貸借による調達を行うとともに、洗濯等の業務を委託                              |                 |                  |

## イ 外部委託の管理

### (ア) 施設総合管理業務

中央監視・日常巡視点検、保守点検・環境測定、院内環境整備(清掃・看護環境整備)、警備、電話交換の各業務責任者を中心に多岐にわたる各々業務間の連携に努めました。

中央監視業務及び警備業務にあっては、夜間・休日を問わず、拘束番職員の電話呼出、ドクターヘリの到着時の対応、冬場の歩道除雪、措置入院患者への対応等、病院に不可欠な役割を担っています。

院内環境整備業務にあっては、清掃業務と看護環境整備業務を一本化で、病室への入室回数を減らし患者への負担を軽減に努めました。また、清掃業務は新型コロナウイルス感染症患者の病室への対応も行うことで、看護師の業務低減及び院内感染防止に努めました。

### (イ) 医事業務

日常業務中に生じた課題については、随時報告を受け、対応方法について連携し、円滑な業務実施に努めました。

経営企画課医事係と医事業務受託者とで、毎月定期的に定例会を開催し、業務実績等について報告を受け、業務実施状況を確認しました。

定例会を活用し、情報共有を行うとともに、課題の確認、解決方法の検討、対応方針の策定等を行い、適正な業務実施を図りました。

令和5年11月で委託契約が終了したため、プロポーザル方式による委託業者の選定を行い、前委託業者と契約を継続しました。

(ウ) 医療情報総合システム管理運営業務

医療情報システムの課題や要望について、問い合わせ窓口と受付手順を明確化し、業務上悪影響を及ぼすものについてはベンダーへ迅速な対応を求めました。また、システムの円滑・適正な稼働を目指して医療情報システム連絡票の運用を開始し、診療情報管理室スタッフ全体で現場からの問い合わせに対応しました。

(エ) 物品管理等総合業務

診療材料と鋼製小物については、使用実績に基づいた定数変更を実施し、適正な在庫管理と損失防止に努めました。毎月の診療材料委員会にて安価品への切替や集約について積極的に提案し、各部署と連携しながら費用削減に努めました。また、令和元年度から加入している診療材料をはじめとした各種医薬品、医療機器、事務用品等の共同購入組織を活用し、更なる費用削減を図りました。

(オ) 患者給食業務

定期的な嗜好調査及び残食調査をもとに、受託業者協力のもと患者に喜ばれる患者給食の提供に努めました。毎月の栄養管理科科内会議にてインシデントと対策を共有し、インシデントの防止に努めました。

(カ) 臨床検査業務

特殊・不採算などの検査項目について業務を委託しています。検査適正化委員会にて新規検査採用申請について協議を共有し、円滑に検査業務が行われるよう努めました。

(キ) リネン等賃貸借及び洗濯業務

病院運用に支障が生じないように清潔で適正なリネンの供給に努め、円滑な洗濯業務が行われるよう各病棟のダーティリネン庫へ分別表を掲示しました。

## 第2章 魚沼基幹病院 令和5年度の財務状況

### 1 令和5年度収支の前提

#### (1) 魚沼基幹病院の経営フレーム

令和5年度の経常収益は、循環器内科の患者数や診療実績が増加したこと等により、過去最高の事業収益となったものの、血液内科常勤医の不在に伴う収益減少や新型コロナウイルス感染症に係る補助金の大幅減により、前年度を下回る 121.5 億円となりました。

一方、経常費用は、職員数の増加等による給与費の増加があったものの、委託契約の見直し等による経費削減や昨年度末に行った前倒し執行等の影響により、昨年度を下回る 125.3 億円となりました。

この結果、当期の純損益は 3.5 億円の赤字、開院以来の累積赤字は 21.6 億円となりました。

なお、経常赤字及び病院運営に係る運転資金についての金融機関からの借入金は、借入限度額 45 億円に対して 28.5 億円となりました。

#### (2) 新潟県の支援

県立病院同様、救急・精神・周産期等の不採算医療分野や高度医療を政策的に実施するために必要な経費について、新潟県から魚沼基幹病院へ交付されています。

| 種類      | 内容  | 金額(千円)    |
|---------|---|-----------|
| 政策医療交付金 | 県立病院と同様に救急、精神、周産期等の不採算医療分野や高度医療を政策的に実施するために必要な経費を支援 | 1,389,328 |



## 2 令和5年度魚沼基幹病院収益・費用内訳

(単位:百万円)

| 区 分                   | 主な内容                              | R5<br>決算<br>A | R4<br>決 算 額<br>B | 差 額<br>A - B |
|-----------------------|-----------------------------------|---------------|------------------|--------------|
| 経常収益 (a)              |                                   | 12,150        | 12,856           | 706          |
| 病院事業収益                | 入院・外来収益、室料差額収益、保健予防活動収益、その他医業収益等  | 10,324        | 10,292           | 32           |
| 病院事業外収益               | 職員宿舍等の貸付料、売店の管理手数料等               | 78            | 75               | 3            |
| 受取補助金等                |                                   | 1,666         | 2,429            | 763          |
| (政策医療交付金)             | 不採算医療について政策的に実施するために必要な経費に係る交付金   | 1,389         | 1,322            | 67           |
| (新型コロナ対策交付金)          | 新型コロナウイルス感染症対策のために必要な経費に係る交付金     | 209           | 1,013            | 804          |
| その他収益                 | 受取利息等                             | 82            | 60               | 22           |
| 経常費用 (b)              |                                   | 12,525        | 12,756           | 231          |
| 給与費                   | 当院職員に係る人件費<br>(教育センター教員に係る人件費を含む) | 7,099         | 6,894            | 205          |
| 材料費                   | 医薬品、診療材料等の購入に係る経費                 | 2,791         | 2,970            | 179          |
| 委託費                   | 病院施設の総合管理委託、医療情報システムの保守委託に係る経費    | 1,199         | 1,403            | 204          |
| 経費                    | 光熱水料費、消耗品等の購入に係る経費                | 876           | 924              | 48           |
| 設備関係費                 | 医療機器等の賃借、保守及び修繕等に係る経費             | 527           | 534              | 7            |
| 研究研修費                 | 研究活動、講習会参加に係る経費                   | 33            | 31               | 2            |
| 経常損益 (c) = (a) - (b)  |                                   | 375           | 100              | 475          |
| 経常外損益 (d)             |                                   | 6             | 0                | 6            |
| 税引前当期一般正味財産増減額 (e)    |                                   | 381           | 100              | 481          |
| 法人税、住民税及び事業税 (f)      |                                   | 0             | 48               | 48           |
| 法人税、住民税及び事業税還付額 (g)   |                                   | 35            | 73               | 38           |
| 当期純損益 (e) - (f) - (g) |                                   | 346           | 125              | 471          |
| 累積損益                  |                                   | 2,158         | 1,812            | 346          |

【魚沼基幹病院の経営指標】

| 大分類                   | 中分類                    | 単位     | 令和4年度<br>実績 | 令和5年度<br>目標 | 令和5年度<br>実績 |
|-----------------------|------------------------|--------|-------------|-------------|-------------|
| 1) 医療機能・医療品質<br>に係るもの | 救急患者数                  | 人      | 8,139       | 8,300       | 8,814       |
|                       | 手術件数                   | 件      | 9,933       | 10,200      | 10,005      |
|                       | 臨床研修医の受入件数（基幹型）        | 件      | 7           | 8           | 9           |
|                       | 臨床研修医の受入件数（協力型）        | 件      | 6           | 7           | 8           |
|                       | 紹介率                    | %      | 39.3        | 55.0        | 39.7        |
|                       | 逆紹介率                   | %      | 45.1        | 50.0        | 52.7        |
|                       | 在宅復帰率                  | %      | 89.4        | 90.0        | 89.6        |
|                       | リハビリ件数                 | 件      | 102,543     | 104,000     | 98,623      |
|                       | 分娩件数                   | 件      | 527         | 550         | 467         |
|                       | クリニカルパス件数              | 件      | 125         | 130         | 130         |
|                       | 患者満足度                  | %      | 78.0        | 85.0        | 76.8        |
|                       | 2) 収支改善に係るもの           | 経常収支比率 | %           | 100.8       | 100.0       |
| 医業収支比率                |                        | %      | 80.7        | 87.6        | 82.5        |
| 3) 経費削減に係るもの          | 材料費（対医業収益比率）           | %      | 28.9        | 29.3        | 27.0        |
|                       | 薬品費（対医業収益比率）           | %      | 17.7        | 18.3        | 15.8        |
|                       | 委託費（対医業収益比率）           | %      | 13.6        | 10.6        | 11.6        |
|                       | 職員給与費【全体】（対医業収益比率）     | %      | 67.0        | 61.1        | 68.8        |
|                       | 100床当たり職員数             | 人/100床 | 200.7       | 204.8       | 212.1       |
|                       | 後発医薬品の使用割合（数量シェア）      | %      | 91.5        | 90.0        | 92.6        |
| 4) 収入確保に係るもの          | 1日当たり入院患者数             | 人      | 290.8       | 326.9       | 312.1       |
|                       | 1日当たり外来患者数             | 人      | 832.7       | 828.6       | 841.8       |
|                       | 入院患者1人1日当たり診療収入（実収ベース） | 円      | 66,543      | 66,862      | 63,269      |
|                       | 外来患者1人1日当たり診療収入（実収ベース） | 円      | 14,858      | 16,513      | 14,221      |
|                       | 医師1人当たり入院診療収入          | 千円     | 77,621      | 87,868      | 76,879      |
|                       | 看護師1人当たり入院診療収入         | 千円     | 16,620      | 18,814      | 15,409      |
|                       | 医師1人当たり外来診療収入          | 千円     | 33,040      | 36,538      | 30,946      |
|                       | 看護師1人当たり外来診療収入         | 千円     | 7,074       | 7,824       | 6,202       |
|                       | 病床利用率（一般）              | %      | 71.5        | 82.9        | 76.2        |
|                       | 病床利用率（精神）              | %      | 62.0        | 65.0        | 86.2        |
|                       | 病床利用率（全体）              | %      | 69.9        | 80.7        | 77.1        |
|                       | 平均在院日数（一般）             | 日      | 12.4        | 12.3        | 12.1        |
|                       | 平均在院日数（精神）             | 日      | 61.1        | 64.0        | 62.3        |
|                       | 平均在院日数（全体）             | 日      | 13.6        | 13.5        | 13.6        |
| 5) 経営の安定性に係るもの        | 医師数（院長を除く）             | 人      | 91          | 91          | 94          |

※ 医師・看護師1人当たり収入における職員数は10/1時点のもの。

# 令和5年度事業報告

## - 燕労災病院 -

(令和6年3月31日現在)

## 第1章 令和5年度事業報告

### < 燕労災病院の理念、基本方針 >

#### 1 理念

地域の人々のために最善の医療を提供し、地域から信頼される病院を目指します。

#### 2 基本方針

- (1) 地域の人々の健康を守り、福祉に寄与します。
- (2) 安全で質の高い医療の提供を目指します。
- (3) 医療に関する教育・研修を支援します。
- (4) 県央基幹病院への円滑な移行に向けた準備を進めます。

### < 令和5年度の事業活動 >

地域医療支援病院として、県央圏域における当院の強みを活かしつつ、地域との連携を図りながら、急性期を中心とした医療機能の確保に努めた。

#### 1 急性期医療の維持・充実

- 従来の地域医療支援病院としての機能維持に加え、令和4年度に新設した救急科、総合診療科の医師を追加で招へいし、救急医療を始めとした急性期医療の機能充実を図った。
- 当院の強みであるがん、循環器、脳卒中・神経難病、外傷、透析に関する医療に継続して対応しつつ、外科医師等の増員により、手術体制のさらなる充実を図った。
- セミナーや連携会議などを通じた周辺医療機関等との関係づくりに取り組むとともに、地元自治体等と連携し、乳がん検診や人間ドックの拡充などを行った。

#### 2 新型コロナウイルス感染症への対応

- 5月に、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが「新型インフルエンザ等感染症」から「5類感染症」に変更された後も、県と連携しながら感染症患者の受入れを行った。

#### 3 県央基幹病院への移行準備

- 断らない救急の実現のため、救急科、総合診療科の医師の参画を得て、プレER救急機能の強化・拡充を行った。  
また、職員の知識・技術向上のため、講演会や勉強会を実施した。  
県央基幹病院で勤務予定の医師、看護師、医療職が燕労災病院へ段階的

に集結し、職員の連帯感の醸成を図るとともに、新病院における運営フローや患者移送・物品移転の検討・実施を行うなど開院準備を進めた。

- 県央地域内の病院が、一つの病院のように機能することを目指し、地域の病院と地域医療連携部門合同会議を開催した。
- 初期臨床研修医の受入を積極的に行うなど、医師の研修を行う病院として必要な要件を満たし、令和6年3月に基幹型臨床研修病院の指定を受けた。

県央基幹病院の看護の質向上や診療体制拡充を図ることを目的に、令和6年2月に看護師の特定行為指定研修機関の指定を受けた。

- 県央基幹病院に向け医工連携を促進するため、当院職員の製品アイデアについて地元企業とともに製品化に向けた検討を進めた。

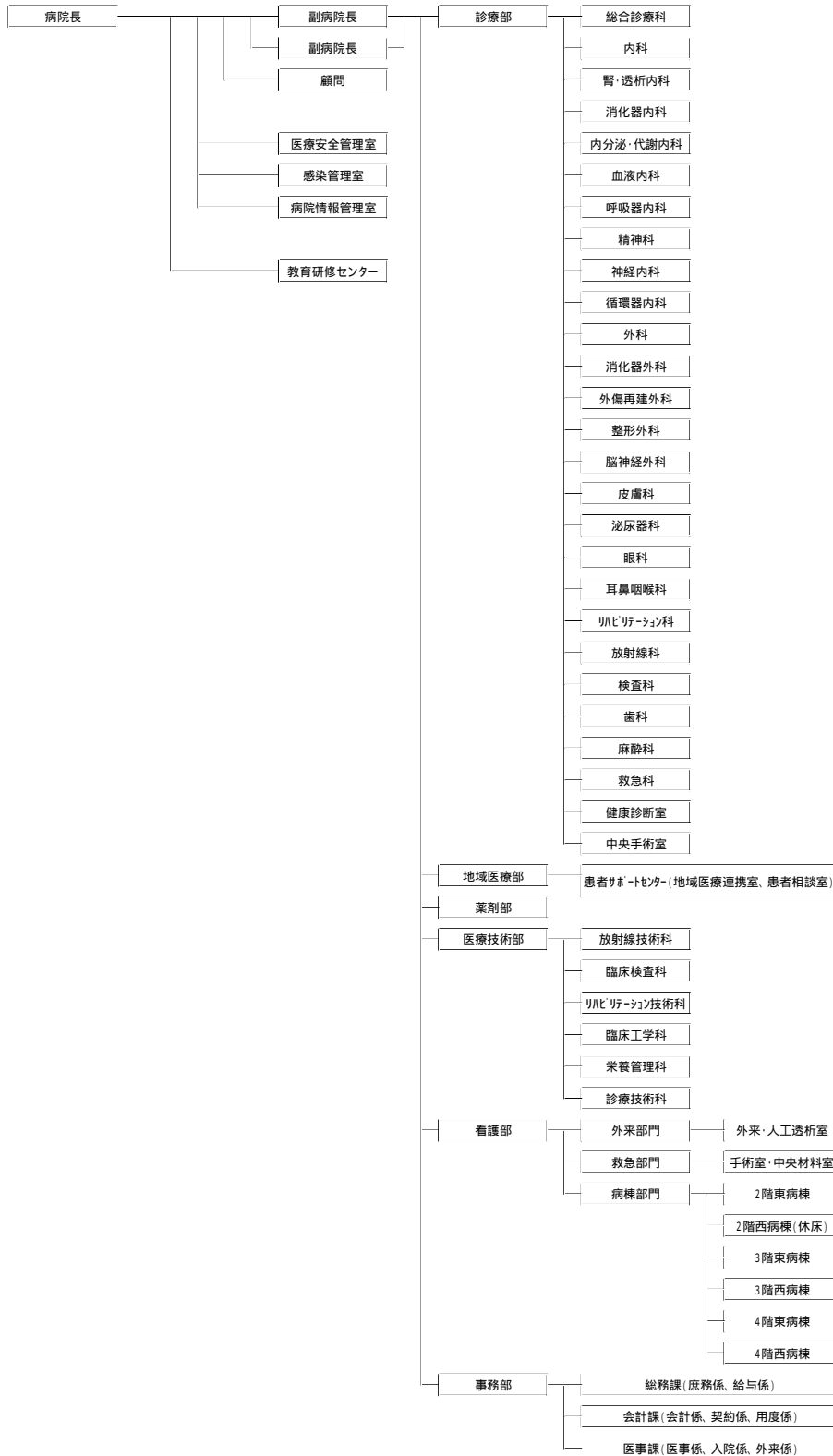
#### 4 働きやすい環境の整備

働きやすい環境整備や経営課題の解決に向け、職員意見の吸い上げや部門との意見交換を行う機会を設け、院内コミュニケーションの活性化に努めた。

# 1 燕労災病院の管理・運営

## (1) 病院の組織等

### ア 病院組織図



## イ 病院長等

- ・ 病院長 遠藤 直人
- ・ 副病院長 小池 俊朗、宮北 靖

## (2) 診療・経営の質の向上

### ア 診療体制

#### (ア) 病床数

許可 300 床、稼働 233 床 ( 5 病棟 )

|       | 2階東<br>(障害者) | 2階西<br>【休床】 | 3階東<br>(一般) | 3階西<br>(一般) | 4階東<br>(一般) | 4階西<br>(一般) | 計   |
|-------|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-----|
| 許可病床数 | 46           | 63          | 49          | 47          | 48          | 47          | 300 |
| 稼働病床数 | 44           | -           | 48          | 47          | 48          | 46          | 233 |

#### (イ) 診療科

医師数 ( 診療科別 )

( 単位 : 人 )

| 診療科          | 医師数 | 診療科        | 医師数 |
|--------------|-----|------------|-----|
| 総合診療科        | 4   | 皮膚科        | 0   |
| 内科           | 11  | 眼科         | 0   |
| 循環器内科        | 3   | 耳鼻咽喉科      | 0   |
| 神経内科         | 3   | リハビリテーション科 | 0   |
| 外科 ( 消化器外科 ) | 7   | 放射線科       | 1   |
| 外傷再建外科       | 1   | 麻酔科        | 1   |
| 整形外科         | 4   | 救急科        | 4   |
| 脳神経外科        | 1   | 病理診断       | 1   |
| 泌尿器科         | 0   | 計          | 41  |

令和 6 年 2 月 29 日現在

整形外科に病院長を含む。

眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科、リハビリテーション科は、新潟大学等からの応援医師による診療を実施。

#### (ウ) 外来・入院患者の推移

外来患者の推移

救急、紹介件数の増等に伴う内科、外科等の患者増により、1 日平均患

者数は前年度を上回る水準となった。

延外来患者数

(単位:人)

|     | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    | 10月   | 11月   | 12月   | 1月    | 2月    | 3月    | 計      |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 4年度 | 7,361 | 7,364 | 8,178 | 7,862 | 8,046 | 8,144 | 7,840 | 7,989 | 8,218 | 7,254 | 7,161 | 9,084 | 94,501 |
| 5年度 | 8,076 | 8,178 | 9,016 | 8,655 | 8,922 | 8,690 | 9,060 | 8,649 | 8,835 | 8,425 | 7,180 |       | 93,686 |

1日平均外来患者数

(単位:人)

|     | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    | 10月   | 11月   | 12月   | 1月    | 2月    | 3月    | 平均    |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 4年度 | 368.1 | 387.6 | 371.7 | 393.1 | 365.7 | 407.2 | 392.0 | 399.5 | 410.9 | 381.8 | 377.1 | 412.9 | 388.9 |
| 5年度 | 403.8 | 408.9 | 409.8 | 432.8 | 405.5 | 434.5 | 431.4 | 432.5 | 441.8 | 443.4 | 377.9 |       | 420.1 |

入院患者の推移

外来同様、救急、紹介件数の増等に伴う総合診療科、外科、救急科等の患者確保により、1日平均患者数は前年度を回る水準となった。

延入院患者数

(単位:人)

|     | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    | 10月   | 11月   | 12月   | 1月    | 2月    | 3月    | 計      |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 4年度 | 4,595 | 4,830 | 4,576 | 4,863 | 4,743 | 4,882 | 4,987 | 4,743 | 4,885 | 5,098 | 4,561 | 4,840 | 57,603 |
| 5年度 | 4,954 | 4,980 | 4,900 | 4,709 | 5,473 | 5,104 | 5,595 | 5,238 | 5,509 | 4,870 | 1,941 |       | 53,273 |

1日平均入院患者数

(単位:人)

|     | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    | 10月   | 11月   | 12月   | 1月    | 2月    | 3月    | 平均    |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 4年度 | 153.2 | 155.8 | 152.5 | 156.9 | 153.0 | 162.7 | 160.9 | 158.1 | 157.6 | 164.5 | 162.9 | 156.1 | 157.8 |
| 5年度 | 165.1 | 160.6 | 163.3 | 151.9 | 176.5 | 170.1 | 180.5 | 174.6 | 177.7 | 157.1 | 66.9  |       | 159.0 |

イ 診療機能の維持・充実

(ア) 基本的な対応

引き続き新型コロナウイルス感染症に対応しながら、地域医療支援病院として、県央圏域における当院の強みを活かしつつ、救急医療を始めとした急性期医療の機能充実を図ったほか、総合診療科の設置による紹介状のない初診患者等のアクセス向上や、地域との連携を図りながら紹介患者の受入れ、急性期を脱した患者の医療機関への逆紹介などの地域医療機関との連携促進に取り組んだ。

(イ) 主な医療の対応



## 救急医療

県央基幹病院の開院に向け救急患者受入れ体制を拡充した。また、地域医療機関や消防署と連携しながら、二次救急患者を主とした受入れを継続し、県央圏域における救急医療の確保に寄与した。

救急搬送受入件数

(単位:件)

|     | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 計     |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 4年度 | 210 | 262 | 255 | 269 | 254 | 260 | 272 | 249 | 292 | 257 | 236 | 289 | 3,105 |
| 5年度 | 278 | 307 | 305 | 305 | 413 | 294 | 311 | 272 | 304 | 200 | 143 |     | 3,132 |

## がん医療

疾病に関する啓発活動や手術対象患者の紹介受入れなどに取り組みながら、外科及び麻酔科医師の確保などの診療体制強化を図るなどし、全国がん登録数、悪性腫瘍の手術件数は前年度を大きく上回った。

がん医療症例数

(単位:件、人)

| 項目        |     | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 計     |
|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 全国がん登録数   | 4年度 | 27  | 36  | 36  | 42  | 36  | 54  | 42  | 35  | 54  | 38  | 45  | 43  | 488   |
|           | 5年度 | 57  | 42  | 41  | 44  | 56  | 55  | 53  | 61  | 54  | 31  | 29  |     | 523   |
| 悪性腫瘍の手術件数 | 4年度 | 21  | 15  | 19  | 23  | 29  | 7   | 20  | 20  | 18  | 24  | 24  | 21  | 241   |
|           | 5年度 | 30  | 20  | 27  | 33  | 36  | 28  | 35  | 32  | 29  | 23  | 8   |     | 301   |
| 放射線治療延患者数 | 4年度 | 209 | 136 | 176 | 267 | 279 | 182 | 143 | 178 | 118 | 70  | 114 | 272 | 2,144 |
|           | 5年度 | 157 | 150 | 275 | 289 | 195 | 181 | 173 | 161 | 192 | 138 | 18  |     | 1,929 |

## 循環器医療

循環器内科の診療体制などの強みを活かして、引き続き心筋梗塞や狭心症等の循環器疾患に対応した。

循環器医療症例数

(単位:件)

| 項目       |     | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計  |
|----------|-----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| 心筋梗塞・狭心症 | 4年度 | 5  | 6  | 11 | 10 | 4  | 7  | 6   | 6   | 8   | 7  | 7  | 8  | 85 |
|          | 5年度 | 4  | 14 | 7  | 7  | 7  | 7  | 8   | 7   | 10  | 11 | 6  |    | 88 |

## 脳卒中・神経難病に関する医療

神経内科、脳神経外科の連携体制の強みを活かして、引き続き脳卒中の急性期や神経難病などの治療に対応した。

脳卒中・神経難病に関する医療症例数

(単位:件)

| 項目       |     | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計   |
|----------|-----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 脳卒中・神経難病 | 4年度 | 13 | 11 | 12 | 6  | 10 | 13 | 11  | 14  | 22  | 14 | 8  | 14 | 148 |
|          | 5年度 | 9  | 15 | 8  | 7  | 8  | 7  | 13  | 8   | 14  | 8  | 5  |    | 102 |

### 外傷等に関する医療

感染症対策として一時的な手術の延期や救急患者等の増加による病床逼迫があったものの、1日平均入院患者数、手術件数ともに前年度を上回る水準となった。

外傷等に関する医療提供

(単位:人、件)

| 項目            |     | 4月   | 5月   | 6月   | 7月   | 8月   | 9月   | 10月  | 11月  | 12月  | 1月   | 2月   | 3月   | 平均・計 |
|---------------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 整形外科1日平均入院患者数 | 4年度 | 26.5 | 27.9 | 29.4 | 28.5 | 21.3 | 19.5 | 23.3 | 22.5 | 23.4 | 27.8 | 30.4 | 22.4 | 25.2 |
|               | 5年度 | 24.0 | 20.3 | 21.6 | 23.7 | 24.4 | 21.6 | 22.4 | 29.5 | 34.1 | 36.2 | 10.8 |      | 24.4 |
| 整形外科手術件数      | 4年度 | 43   | 32   | 50   | 36   | 33   | 34   | 26   | 37   | 41   | 41   | 45   | 52   | 470  |
|               | 5年度 | 36   | 41   | 42   | 50   | 43   | 35   | 54   | 50   | 58   | 36   | 14   |      | 459  |

### 透析医療

慢性腎不全患者への血液透析(夜間透析を含む。)を中心に、引き続き急性期疾患患者への血液透析濾過等の治療に対応した。

透析医療延患者数

(単位:人)

|     | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    | 10月   | 11月   | 12月   | 1月    | 2月    | 3月    | 計      |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 4年度 | 1,015 | 1,007 | 1,017 | 1,007 | 1,067 | 1,003 | 1,031 | 1,042 | 1,057 | 1,036 | 985   | 1,118 | 12,385 |
| 5年度 | 1,026 | 1,137 | 1,100 | 1,106 | 1,136 | 1,085 | 1,122 | 1,148 | 1,118 | 1,145 | 1,052 |       | 12,175 |

## ウ 経営改善への取組

急性期対応や地域医療連携の促進などに取り組みつつ、救急科、総合診療科等の機能充実を図ったことにより、入院患者の確保や手術対象患者の確保による診療単価アップを図り、収益を確保した。

また、経営改善委員会等を通じ、県央基幹病院への移行を見据えた病院の目指す方向性や目標などを部門や職員と共有するとともに、病院全体及び各部門で評価指標を設定し、中間評価や改善を図った。

### < 参考：主な評価の状況 >

#### 急性期機能の維持・充実

| 基本的方向        | 評価指標              | 5年度目標   | 5年度実績   |
|--------------|-------------------|---------|---------|
| 急性期機能の維持・充実  | 入院1日単価(障害者病棟を除く。) | 64,763円 | 62,149円 |
|              | 平均在院日数(障害者病棟を除く。) | 14.0日   | 13.2日   |
|              | 手術件数(手術室)         | 1,825件  | 1,771件  |
| 病病連携・病診連携の促進 | 紹介率               | 95.0%   | 93.7%   |
|              | 逆紹介率              | 120.0%  | 151.5%  |

#### 経営改善

| 基本的方向   | 評価指標          | 5年度目標   | 5年度実績   |
|---------|---------------|---------|---------|
| 病床稼働の向上 | 新入院患者数        | 4,063人  | 3,797人  |
| 収入確保    | 救急医療管理加算の算定件数 | 14,078件 | 11,766件 |
| 経費抑制    | 材料費率(対医業収益)   | 25.3%以内 | 30.5%   |

### (3) 人材の確保・育成・教育

#### ア 診療体制

##### (ア) 職員配置

昨年度、積極的に募集活動を行った看護師等を4月に配置した。

職員確保状況

(単位:人)

|             | 5年4月1日計画 |       |     | 6年2月29日現在 |       |     |       |     | 差引   |       |    |    |
|-------------|----------|-------|-----|-----------|-------|-----|-------|-----|------|-------|----|----|
|             | 正規職員     | 非常勤職員 | 計   | 正規職員      |       |     | 非常勤職員 | 計   | 正規職員 | 非常勤職員 | 計  |    |
|             |          |       |     | 機構職員      | 県派遣職員 | 計   |       |     |      |       |    |    |
| 医師          | 41       | 1     | 42  | 40        | 0     | 40  | 1     | 41  | 1    | 0     | 1  |    |
| 看護職         | (准)看護師   | 244   | 18  | 262       | 221   |     | 221   | 17  | 238  | 23    | 1  | 24 |
|             | 看護助手     |       | 2   | 2         |       |     |       | 2   | 2    | 0     | 0  | 0  |
|             | 計        | 244   | 20  | 264       | 221   | 0   | 221   | 19  | 240  | 23    | 1  | 24 |
| 医療技術職       | 薬剤師      | 13    |     | 13        | 12    |     | 12    |     | 12   | 1     | 0  | 1  |
|             | 診療放射線技師  | 12    |     | 12        | 12    |     | 12    |     | 12   | 0     | 0  | 0  |
|             | 臨床検査技師   | 14    | 2   | 16        | 14    |     | 14    | 1   | 15   | 0     | 1  | 1  |
|             | 理学療法士    | 7     | 1   | 8         | 7     |     | 7     | 1   | 8    | 0     | 0  | 0  |
|             | 作業療法士    | 4     |     | 4         | 4     |     | 4     |     | 4    | 0     | 0  | 0  |
|             | 言語聴覚士    | 1     | 1   | 2         | 2     |     | 2     |     | 2    | 1     | 1  | 0  |
|             | 視能訓練士    | 2     | 1   | 3         | 2     |     | 2     | 1   | 3    | 0     | 0  | 0  |
|             | 臨床工学技士   | 5     |     | 5         | 5     |     | 5     |     | 5    | 0     | 0  | 0  |
|             | 管理栄養士    | 2     | 1   | 3         | 2     |     | 2     | 2   | 4    | 0     | 1  | 1  |
| 計           | 60       | 6     | 66  | 60        | 0     | 60  | 5     | 65  | 0    | 1     | 1  |    |
| 事務職(MSW等含む) | 18       | 22    | 40  | 13        | 4     | 17  | 19    | 36  | 1    | 3     | 4  |    |
| 調理師         | 2        | 10    | 12  | 2         | 0     | 2   | 10    | 12  | 0    | 0     | 0  |    |
| 合計          | 365      | 59    | 424 | 336       | 4     | 340 | 54    | 394 | 25   | 5     | 30 |    |

注:産育休職員を含み、正規職員に再雇用職員を含む。また、医師に病院長を含む。

新潟県済生会及び三条総合病院からの出向者は含まない。

##### (イ) 看護職員配置

| 部門   | 病棟等       | 診療科等       | 許可病床数   | 稼働病床数 | 看護配置          | 体制                      |
|------|-----------|------------|---------|-------|---------------|-------------------------|
| 外来部門 | 外来・人工透析室  | -          | 人工透析31床 |       | -             | -                       |
| 救急部門 | 救急外来      | -          | -       |       | -             | 夜間(月～木):当直<br>土日祝日:3交代制 |
|      | 手術室・中央材料室 | -          | -       |       | -             | オンコール体制                 |
| 病棟部門 | 2階東病棟     | 脳外・神内・整外・眼 | 46床     | 44床   | 障害者病棟         | 3交代制                    |
|      | 2階西病棟     | (休床)       | (63床)   | (63床) | 一般病棟<br>(7:1) | 2交代制と3交代制               |
|      | 3階東病棟     | 脳外・神内・整外   | 49床     | 48床   |               |                         |
|      | 3階西病棟     | 外・腎内・整外    | 47床     | 47床   |               |                         |
|      | 4階東病棟     | 消内・呼内・血内   | 48床     | 48床   |               |                         |
|      | 4階西病棟     | 循内・呼内      | 47床     | 46床   |               |                         |

4東病棟は新型コロナウイルス感染症患者受入れ病棟として運用

## イ 職員確保・育成

燕労災病院のほか新潟県済生会が採用した職員も含め、県央基幹病院で勤務予定の医師、看護師、医療職が燕労災病院へ段階的に集結し、新病院で必要な知識・技能の習得に努めた。

加えて、統合する三条総合病院との人事交流や合同研修会を開催するなど連携を強化した。

## ウ 教育

(ア) 新潟大学医歯学総合病院をはじめ複数の基幹型臨床研修病院の協力型臨床研修病院として初期臨床研修医の受入を積極的に行った。

また、県央基幹病院の開院にも参画する医師を招へいするため、県と連携し、総合診療科・救急科・脳神経内科・麻酔科医の募集を積極的に行い、次年度の採用につなげた。

(イ) 大学、専門学校等と連携し、薬剤師、看護師（診療看護師を含む。）作業療法士、理学療法士等に係る臨床実習の受入を通じて、地域の医療人材の育成に努めた。

## (4) 施設管理等

### ア 病院施設・設備等の管理

#### (ア) 管理施設の内容

新潟県との基本協定に基づいて病院や職員宿舎等を管理した。

管理施設

| 種類             | 構造             | 延面積(m <sup>2</sup> ) |
|----------------|----------------|----------------------|
| 病院             | 鉄筋コンクリート造4階建   | 19,925.54            |
| 職員宿舎A棟         | 鉄筋コンクリート造3階建   | 791.40               |
| 職員宿舎B棟         | 鉄筋コンクリート造3階建   | 512.10               |
| 職員宿舎C棟         | 鉄筋コンクリート造3階建   | 430.86               |
| 職員宿舎F棟         | 鉄筋コンクリート造3階建   | 1,379.61             |
| 寄宿舍            | 鉄筋コンクリート造3階建   | 1,179.47             |
| 病院長宿舎          | 鉄筋コンクリート造2階建   | 112.17               |
| 事務部長宿舎         | 鉄筋コンクリート造2階建   | 84.43                |
| 病院附属建物(倉庫)     | 鉄骨造平屋建         | 199.47               |
| 病院附属建物(車庫・倉庫)  | 鉄骨造平屋建         | 167.04               |
| 職員宿舎A棟附属建物(物置) | 軽量鉄骨造平屋建       | 25.16                |
| 職員宿舎B棟附属建物(物置) | 軽量鉄骨造平屋建       | 53.28                |
| 職員宿舎C棟附属建物(物置) | コンクリートブロック造平屋建 | 9.00                 |
| 病院長宿舎附属建物(物置)  | 軽量鉄骨造平屋建       | 8.10                 |
| 事務部長宿舎附属施設(物置) | 軽量鉄骨造平屋建       | 6.48                 |
| 計              |                | 24,884.11            |

(イ) 主な利便施設

| 施設  | 運営業者       | 設置場所 | 営業日             | 営業時間                              | 契約期限    |
|---|------------|------|-----------------|-----------------------------------|---------|
| 売店  | (株)オアシスMSC | 1階   | 年中無休<br>(1/1休業) | 月～金 8:00～18:00<br>土日祝日 8:30～15:30 | R6.2.29 |
| 一般店舗の販売ほか、雑誌・書籍、介護・福祉用品の販売、郵便サービス、公衆電話等のサービスも実施 |            |      |                 |                                   |         |

(ウ) 令和5年度の管理方針

燕労災病院の施設・設備、医療機器等は老朽化が進んでいることから、必要度、緊急度を踏まえて県と連携して必要な修繕等を行い、施設・設備等の機能維持に努めた。

イ 主な外部委託等

| 主な業務名・概要                       | 事業者             | 業務委託期間         |
|--------------------------------|-----------------|----------------|
| 医療事務委託                         | (株)ニチイ学館        | R5.4.1～R6.2.29 |
| 医療事務(受付、計算、診療報酬請求など)の委託        |                 |                |
| 物品管理・調達等業務委託                   | (株)エフエスユニマネジメント | R5.4.1～R6.2.29 |
| 医薬品や診療材料等の調達・管理、搬送等業務の委託       |                 |                |
| 施設管理業務委託                       | カイシンスタッフサービス(株) | R5.4.1～R6.2.29 |
| 施設管理に関する業務(電気、ボイラー、空調等)の委託     |                 |                |
| 建物清掃業務委託                       | キョウワプロテック(株)    | R5.4.1～R6.2.29 |
| 病院施設の建物清掃に関する業務の委託             |                 |                |
| 病棟補助等業務(派遣)                    | カイシンスタッフサービス(株) | R5.4.1～R6.2.29 |
| 病棟、透析室、手術室、中央材料室等における看護助手の人材派遣 |                 |                |
| 守衛・宿日直業務委託                     | (株)新潟ビルサービス     | R5.4.1～R6.2.29 |
| 夜間・休日の守衛及び宿日直業務の委託             |                 |                |
| 洗濯業務委託                         | 新潟県基準寝具(株)      | R5.4.1～R6.2.29 |
| 看護衣、診察衣、手術衣等の洗濯業務の委託           |                 |                |

## 第2章 令和5年度の財務状況

### 1 令和5年度の取組等

#### (1) 燕労災病院の経営と現状の課題

県央基幹病院への移行準備を着実に進めると同時に、救急科の拡充等による急性期患者の受入れ強化と手術対象等の紹介患者数確保による診療単価の向上など、収益確保に重点的に取り組むこととした。

#### (2) 収支改善への対応

##### ア 収益の確保

新型コロナウイルス感染症患者受入れのための専用病床を確保すると同時に、救急患者を始めとした急性期患者受入れのためのベッドコントロールを徹底し、患者確保に努めた。また、オンラインを活用した各種セミナーの開催や、県央基幹病院の開院を見据え、県央6病院と地域医療連携部門合同会議を実施するなど、地域医療連携の促進による紹介患者の確保や手術件数の増に取り組み、患者数、診療単価ともに前年度を上回って推移した。

診療単価推移表

(単位:円)

| 区分 | 年度 | 4月     | 5月     | 6月     | 7月     | 8月     | 9月     | 10月    | 11月    | 12月    | 1月     | 2月     | 3月     | 平均     |
|----|----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 外来 | R4 | 15,228 | 15,404 | 14,908 | 15,534 | 16,376 | 15,501 | 16,406 | 16,923 | 16,273 | 18,048 | 17,563 | 16,815 | 16,239 |
|    | R5 | 17,895 | 18,614 | 17,744 | 17,733 | 19,873 | 18,242 | 18,858 | 20,797 | 18,565 | 20,263 | 19,189 |        | 18,885 |
| 入院 | R4 | 55,384 | 55,476 | 58,615 | 58,973 | 59,543 | 61,226 | 59,471 | 62,128 | 60,552 | 61,217 | 58,273 | 63,401 | 59,555 |
|    | R5 | 65,084 | 62,518 | 62,205 | 65,140 | 65,937 | 62,837 | 60,978 | 61,956 | 59,372 | 57,211 | 57,986 |        | 62,149 |

地域医療支援病院にかかる紹介率・逆紹介率

(単位:%)

| 項目   |     | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    | 10月   | 11月   | 12月   | 1月    | 2月    | 3月    | 平均    |
|------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 紹介率  | 4年度 | 90.0  | 96.4  | 92.5  | 97.5  | 84.6  | 95.1  | 99.1  | 92.9  | 91.9  | 87.6  | 95.4  | 104.9 | 93.9  |
|      | 5年度 | 99.4  | 98.7  | 95.3  | 92.4  | 82.9  | 97.5  | 100.0 | 91.7  | 97.7  | 89.1  | 79.9  |       | 93.7  |
| 逆紹介率 | 4年度 | 110.7 | 129.1 | 111.9 | 123.8 | 110.2 | 121.0 | 126.2 | 116.2 | 102.2 | 111.2 | 128.8 | 146.0 | 119.5 |
|      | 5年度 | 124.1 | 143.0 | 130.0 | 127.8 | 124.9 | 144.3 | 149.3 | 145.7 | 147.9 | 185.2 | 397.3 |       | 151.5 |

## 手術件数

(単位:件)

| 項目          |     | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 計     |
|-------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 全件数         | 4年度 | 253 | 246 | 268 | 281 | 231 | 261 | 272 | 247 | 265 | 245 | 250 | 307 | 3,126 |
|             | 5年度 | 284 | 294 | 298 | 279 | 351 | 308 | 365 | 341 | 313 | 262 | 147 |     | 3,242 |
| 手術室<br>〔再掲〕 | 4年度 | 130 | 125 | 160 | 160 | 122 | 159 | 147 | 145 | 146 | 136 | 157 | 185 | 1,772 |
|             | 5年度 | 152 | 160 | 154 | 157 | 206 | 154 | 203 | 185 | 191 | 144 | 66  |     | 1,772 |

## 平均在院日数

(単位:日)

|     | 4月   | 5月   | 6月   | 7月   | 8月   | 9月   | 10月  | 11月  | 12月  | 1月   | 2月   | 3月   | 計    |
|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 4年度 | 14.2 | 14.4 | 12.9 | 12.6 | 15.2 | 14.3 | 14.7 | 15.9 | 13.9 | 15.1 | 13.5 | 12.0 | 14.0 |
| 5年度 | 13.6 | 12.5 | 12.6 | 13.1 | 12.8 | 13.5 | 12.7 | 12.8 | 12.8 | 17.6 | 12.1 |      | 13.2 |

## イ 費用の節減

- (ア) 医薬品・診療材料の調達について、共同購入事業を活用し、スケールメリットを活かした安価品への切替を進めた。また、民間事業者（調達代行業者）のノウハウを活用するとともに、他病院のベンチマークを参考としながら調達代行業者との価格交渉に取り組んだ。
- (イ) 委託費等の抑制に向け、事業者選定における競争性確保や情報収集による適切な予定価格の設定に努めた。
- (ウ) 職員の協力を得て、令和2年度から4年間、臨時的給与削減を行うこととした。

## ウ 令和5年度の新潟県の主な支援

| 種類      | 内容  | 金額(千円)  |
|---------|---|---------|
| 政策医療交付金 | 他の県立病院と同様に救急等の不採算分野について政策的に実施するため必要な経費を支援 | 238,673 |
| 経営支援交付金 | 燕労災病院の経営・財政基盤を安定させるための所要額を支援              | -       |



## 燕労災病院 令和5年度決算概要

令和5年度の経常収益は、救急機能の強化・拡充による患者数の増加、診療単価の向上などにより病院事業収益が増加したほか、新型コロナウイルス感染症対策に係る交付金や不採算医療の提供による政策医療交付金が交付された結果、67.2億円が確保されることとなった。

一方、経常費用は、県央基幹病院の開院に向けた職員の先行採用や閉院に伴う退職金などの人件費の増加、高額薬品の使用や手術の増加に伴う材料費の増加などにより、72.2億円となった。

この結果、当期の純損益は4.3億円の赤字決算となった。

(単位:百万円)

| 区 分                   | 主な内容                             | R5<br>決算額<br>A | R4<br>決算額<br>B | 差 額<br>A - B |
|-----------------------|----------------------------------|----------------|----------------|--------------|
| 経常収益 (a)              |                                  | 6,726          | 6,357          | 369          |
| 病院事業収益                | 入院・外来収益、室料差額収益、保健予防活動収益、その他医業収益等 | 5,145          | 5,040          | 105          |
| 病院事業外収益               | 職員宿舍等の貸付料、職員等の給食代、売店の管理手数料等      | 18             | 20             | 2            |
| 受取補助金等                |                                  | 370            | 1,227          | 857          |
| (政策医療交付金)             | 救急等の提供等のために必要な経費に係る交付金           | 239            | 236            | 3            |
| (経営支援交付金)             | 病院の経営・財務基盤を安定させるための所要額に係る交付金     | 0              | 0              | 0            |
| (新型コロナ対策交付金)          | 新型コロナウイルス感染症の対策のために必要な経費に係る交付金   | 127            | 979            | 852          |
| 受取負担金                 | 労働者健康安全機構から引き継いだ退職給付引当金相当額       | 1,191          | 69             | 1,122        |
| その他収益                 | 受取利息、団体生命保険事務取扱手数料等              | 2              | 1              | 1            |
| 経常費用 (b)              |                                  | 7,224          | 6,086          | 1,138        |
| 給与費                   | 当院職員に係る人件費(応援診療医師報酬費等を含む)        | 4,460          | 3,290          | 1,170        |
| 材料費                   | 医薬品、診療材料等の購入に係る経費                | 1,581          | 1,290          | 291          |
| 委託費                   | 医事業務委託、病棟補助等業務(派遣)委託等に係る経費       | 431            | 446            | 15           |
| 経費                    | 光熱水料費、消耗品等の購入に係る経費               | 543            | 690            | 147          |
| 設備関係費                 | 医療機器等の賃借、保守及び修繕等に係る経費            | 197            | 359            | 162          |
| 研究研修費                 | 学会参加等に係る経費                       | 12             | 11             | 1            |
| 経常損益 (c) = (a) - (b)  |                                  | 498            | 271            | 769          |
| 経常外損益 (d)             |                                  | 15             | 0              | 15           |
| 税引前当期一般正味財産増減額 (e)    |                                  | 513            | 271            | 784          |
| 法人税、住民税及び事業税 (f)      |                                  | 0              | 96             | 96           |
| 法人税、住民税及び事業税還付額 (g)   |                                  | 82             | 31             | 51           |
| 当期純損益 (e) - (f) - (g) |                                  | 431            | 206            | 637          |
| 累積損益                  |                                  | 900            | 1,331          | 431          |

## 令和5年度理事会・評議員会開催状況

令和5年度は理事会を定例・臨時合わせ6回、評議員会を定時・臨時合わせて4回開催した。  
理事会・評議員会の開催状況については以下のとおり

【理事会の開催状況】

| 決議年月日                                  | 議案及び報告事項   |
|--|--|
| 第1回定例理事会<br>(令和5年5月29日)<br>興和ビル10階大会議室 | (1) 令和4年度事業報告及び事業報告の附属明細書の承認の件<br>(2) 令和4年度計算書類及び計算書類の附属明細書の承認の件<br>(3) 令和5年度定時評議員会の招集の件<br>(4) 資金運用状況の報告<br>(5) 職務執行状況の報告   |
| 第1回臨時理事会<br>(書面決議日:令和5年6月15日)          | (1) 理事長の選定の件<br>(2) 副理事長の選定の件  |
| 第2回臨時理事会<br>(書面決議日:令和5年7月14日)          | (1) 職員給与規程等の一部改正の件   |
| 第3回臨時理事会<br>(書面決議日:令和5年7月18日)          | (1) 専務理事選定の件<br>(2) 事務局長任命の件   |
| 第4回臨時理事会<br>(書面決議日:令和6年2月19日)          | (1) 職員給与規程等の一部改正の件<br>(2) 規則・規程の一部改正の件<br>(3) 従たる事務所の設置の継続の件<br>(4) 燕労災病院の閉院に係る業務に関する協定締結の件  |
| 第2回定例理事会<br>(令和6年3月28日)<br>興和ビル10階大会議室 | (1) 令和5年度収支補正予算の件<br>(2) 令和6年度事業計画・収支予算の件<br>(3) 魚沼基幹病院の管理に関する新潟県との令和6年度協定締結の件<br>(4) 令和6年度借入限度額の決定の件<br>(5) 規程等の一部改正の件<br>(6) 令和5年度事業報告(素案)の件<br>(7) 理事・評議員の選任の件<br>(8) 職務執行状況の報告 |

【評議員会の開催状況】

| 決議年月日                                | 議案及び報告事項  |
|--------------------------------------|---|
| 定時評議員会<br>(令和5年6月15日)<br>興和ビル10階大会議室 | (1) 令和4年度計算書類の承認の件<br>(2) 理事選任の件<br>(3) 令和4年度事業報告の件 |
| 第1回臨時評議員会<br>(書面決議日:令和5年7月18日)       | (1) 理事選任の件<br>(2) 評議員選任の件                           |

|   |   |
|---|---|
| 第2回臨時評議員会<br>(書面決議日:令和6年1月31日)          | (1) 理事選任の件<br>(2) 定款の一部変更の件                                 |
| 第3回臨時評議員会<br>(令和6年3月28日)<br>興和ビル10階大会議室 | (1) 令和5年度収支補正予算の件<br>(2) 令和6年度事業計画・収支予算の件<br>(3) 理事・評議員選任の件 |

# 令和5年度貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位：円)

| 科 目         | 当 年 度         | 前 年 度         | 増 減             |
|-------------|---------------|---------------|-----------------|
| I 資産の部      |               |               |                 |
| 1 流動資産      |               |               |                 |
| 現金預金        | 943,322,287   | 2,097,850,304 | △ 1,154,528,017 |
| 医業未収金       | 2,025,262,294 | 2,976,281,928 | △ 951,019,634   |
| 医業外未収金      | 10,349,070    | 11,214,148    | △ 865,078       |
| その他未収金      | 168,212,262   | 299,827,444   | △ 131,615,182   |
| 医薬品         | 99,292,612    | 98,690,928    | 601,684         |
| 診療材料        | 3,348,241     | 4,286,106     | △ 937,865       |
| 貯蔵品         | 10,696,873    | 16,017,332    | △ 5,320,459     |
| 前払費用        | 3,148,318     | 11,042,289    | △ 7,893,971     |
| 立替金         | 135,328       | 204,284       | △ 68,956        |
| 貸倒引当金       | △ 12,495,976  | △ 18,531,214  | 6,035,238       |
| 流動資産合計      | 3,251,271,309 | 5,496,883,549 | △ 2,245,612,240 |
| 2 固定資産      |               |               |                 |
| (1) 基本財産    |               |               |                 |
| 普通預金        | 4,913,400     | 0             | 4,913,400       |
| 定期預金        | 50,000,000    | 3,050,000,000 | △ 3,000,000,000 |
| 投資有価証券      | 2,996,020,821 | 0             | 2,996,020,821   |
| 基本財産合計      | 3,050,934,221 | 3,050,000,000 | 934,221         |
| (2) 特定資産    |               |               |                 |
| 建物          | 5,891,120     | 18,270,312    | △ 12,379,192    |
| 医療用器械備品     | 81,433,365    | 120,410,090   | △ 38,976,725    |
| その他器械備品     | 990,329       | 1,454,675     | △ 464,346       |
| 特定資産合計      | 88,314,814    | 140,135,077   | △ 51,820,263    |
| (3) その他固定資産 |               |               |                 |
| 医療用器械備品     | 4,165,913     | 3,853,744     | 312,169         |
| その他器械備品     | 16,296,410    | 24,979,823    | △ 8,683,413     |
| その他有形固定資産   | 20,050,000    | 20,050,000    | 0               |
| ソフトウェア      | 0             | 32,047        | △ 32,047        |
| 長期貸付金       | 123,375,840   | 109,226,800   | 14,149,040      |
| 長期前払費用      | 38,879        | 3,156,766     | △ 3,117,887     |
| 敷金          | 2,616,200     | 3,149,700     | △ 533,500       |
| 保証金         | 30,000        | 30,000        | 0               |
| 貸倒引当金       | △ 679,360     | △ 640,960     | △ 38,400        |
| その他固定資産合計   | 165,893,882   | 163,837,920   | 2,055,962       |
| 固定資産合計      | 3,305,142,917 | 3,353,972,997 | △ 48,830,080    |
| 資産合計        | 6,556,414,226 | 8,850,856,546 | △ 2,294,442,320 |

|               |                   |                   |                  |
|---------------|-------------------|-------------------|------------------|
| II 負債の部       |                   |                   |                  |
| 1 流動負債        |                   |                   |                  |
| 未払金           | 1,069,993,724     | 1,769,334,743     | △ 699,341,019    |
| 未払法人税等        | 120,000           | 144,251,700       | △ 144,131,700    |
| 未払消費税等        | 6,518,200         | 6,322,800         | 195,400          |
| 預り金           | 247,058           | 27,939,974        | △ 27,692,916     |
| 短期借入金         | 2,850,000,000     | 3,050,000,000     | △ 200,000,000    |
| 前受収益          | 132,000           | 132,000           | 0                |
| 仮受金           | 22,891,230        | 15,883,707        | 7,007,523        |
| 賞与引当金         | 334,748,591       | 457,120,285       | △ 122,371,694    |
| 流動負債合計        | 4,284,650,803     | 5,470,985,209     | △ 1,186,334,406  |
| 2 固定負債        |                   |                   |                  |
| 退職給付引当金       | 387,813,325       | 667,792,875       | △ 279,979,550    |
| 長期預り金         | 2,400,000         | 2,400,000         | 0                |
| 固定負債合計        | 390,213,325       | 670,192,875       | △ 279,979,550    |
| 負債合計          | 4,674,864,128     | 6,141,178,084     | △ 1,466,313,956  |
| III 正味財産の部    |                   |                   |                  |
| 1 指定正味財産      |                   |                   |                  |
| 地方公共団体補助金     | 3,139,248,735     | 3,188,510,622     | △ 49,261,887     |
| 寄付金           | 0                 | 1,624,109         | △ 1,624,109      |
| 指定正味財産合計      | 3,139,248,735     | 3,190,134,731     | △ 50,885,996     |
| (うち基本財産への充当額) | ( 3,050,934,221 ) | ( 3,050,000,000 ) | ( 934,221 )      |
| (うち特定資産への充当額) | ( 88,314,514 )    | ( 140,134,731 )   | ( △ 51,820,217 ) |
| 2 一般正味財産      | △ 1,257,698,637   | △ 480,456,269     | △ 777,242,368    |
| (うち特定資産への充当額) | ( 300 )           | ( 346 )           | ( △ 46 )         |
| 正味財産合計        | 1,881,550,098     | 2,709,678,462     | △ 828,128,364    |
| 負債及び正味財産合計    | 6,556,414,226     | 8,850,856,546     | △ 2,294,442,320  |

# 令和5年度正味財産増減計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

| 科 目          | 当 年 度              | 前 年 度              | 増 減                |
|--------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| I 一般正味財産増減の部 |                    |                    |                    |
| 1 経常増減の部     |                    |                    |                    |
| (1) 経常収益     |                    |                    |                    |
| ① 基本財産運用益    | ( 19,758,819 )     | ( 2,277,736 )      | ( 17,481,083 )     |
| 基本財産受取利息     | 455,139            | 2,277,736          | △1,822,597         |
| 基本財産受取利息振替   | 19,303,680         | 0                  | 19,303,680         |
| ② 病院事業収益     | ( 15,468,934,178 ) | ( 15,332,092,077 ) | ( 136,842,101 )    |
| 入院診療収益       | 10,528,286,231     | 10,494,040,479     | 34,245,752         |
| 室料差額収益       | 92,403,250         | 91,456,820         | 946,430            |
| 外来診療収益       | 4,675,411,429      | 4,541,162,357      | 134,249,072        |
| 保健予防活動収益     | 83,710,589         | 108,717,837        | △25,007,248        |
| 受託検査・施設利用収益  | 10,913,474         | 9,412,744          | 1,500,730          |
| その他医業収益      | 116,071,295        | 109,038,965        | 7,032,330          |
| 保険等査定増減      | △37,862,090        | △21,737,125        | △16,124,965        |
| ③ 病院事業外収益    | ( 95,428,892 )     | ( 95,381,286 )     | ( 47,606 )         |
| 貸付料収益        | 35,811,309         | 41,658,848         | △5,847,539         |
| 保育所収益        | 2,111,100          | 1,964,200          | 146,900            |
| 患者外給食収益      | 2,643,260          | 6,748,800          | △4,105,540         |
| その他医業外収益     | 54,863,223         | 45,009,438         | 9,853,785          |
| ④ 受取補助金等     | ( 2,036,032,206 )  | ( 3,655,559,078 )  | ( △1,619,526,872 ) |
| 受取国庫補助金      | 2,612,000          | 391,315            | 2,220,685          |
| 受取地方公共団体補助金  | 1,999,274,316      | 3,617,212,945      | △1,617,938,629     |
| 受取民間補助金      | 36,140             | 200,000            | △163,860           |
| 受取民間助成金      | 2,314,193          | 1,248,821          | 1,065,372          |
| 受取補助金等振替額    | 31,795,557         | 36,505,997         | △4,710,440         |
| ⑤ 受取負担金      | ( 1,244,119,000 )  | ( 120,647,540 )    | ( 1,123,471,460 )  |
| 受取負担金        | 1,244,119,000      | 120,647,540        | 1,123,471,460      |
| ⑥ 受取寄付金      | ( 512,200 )        | ( 672,045 )        | ( △159,845 )       |
| 受取寄付金振替額     | 512,200            | 672,045            | △159,845           |
| ⑦ 雑収益        | ( 11,067,181 )     | ( 5,976,414 )      | ( 5,090,767 )      |
| 受取利息         | 18,634             | 17,561             | 1,073              |
| 雑収益          | 11,048,547         | 5,958,853          | 5,089,694          |
| 経常収益計        | 18,875,852,476     | 19,212,606,176     | △336,753,700       |
| (2) 経常費用     |                    |                    |                    |
| ① 事業費        | ( 19,733,489,482 ) | ( 18,823,895,731 ) | ( 909,593,751 )    |
| 給料手当         | 6,758,805,196      | 6,488,772,741      | 270,032,455        |
| 臨時雇賃金        | 455,944,951        | 470,595,579        | △14,650,628        |
| 賞与           | 1,159,945,068      | 974,183,209        | 185,761,859        |
| 賞与引当金繰入額     | 334,640,910        | 457,017,509        | △122,376,599       |
| 退職給付費用       | 1,544,196,975      | 243,226,034        | 1,300,970,941      |
| 法定福利費        | 1,204,177,498      | 1,183,851,443      | 20,326,055         |
| 医薬品費         | 2,547,306,599      | 2,492,686,442      | 54,620,157         |
| 診療材料費        | 1,761,520,424      | 1,679,675,563      | 81,844,861         |
| 医療消耗器具備品費    | 23,132,578         | 46,739,789         | △23,607,211        |

|             |                |                |                |
|-------------|----------------|----------------|----------------|
| 給食用材料費      | 40,303,410     | 40,478,404     | △174,994       |
| 検査委託費       | 57,985,865     | 58,397,349     | △411,484       |
| 給食委託費       | 194,243,155    | 187,049,436    | 7,193,719      |
| 寝具委託費       | 51,146,582     | 52,308,754     | △1,162,172     |
| 医事委託費       | 368,398,086    | 371,875,961    | △3,477,875     |
| 清掃委託費       | 111,405,810    | 115,451,610    | △4,045,800     |
| 保守委託費       | 191,979,845    | 451,413,043    | △259,433,198   |
| その他の委託費     | 652,686,820    | 610,913,345    | 41,773,475     |
| 減価償却費       | 40,097,563     | 43,312,459     | △3,214,896     |
| 賃借料         | 369,791,932    | 405,164,284    | △35,372,352    |
| 地代家賃        | 34,276,425     | 44,425,054     | △10,148,629    |
| 修繕費         | 73,612,276     | 85,406,615     | △11,794,339    |
| 機器保守料       | 205,602,841    | 313,793,678    | △108,190,837   |
| 車両関係費       | 389,165        | 588,697        | △199,532       |
| 印刷製本費       | 14,153,288     | 12,127,634     | 2,025,654      |
| 燃料費         | 155,899,858    | 170,384,662    | △14,484,804    |
| 研究費         | 4,135,826      | 4,789,794      | △653,968       |
| 研修費         | 40,639,304     | 36,581,874     | 4,057,430      |
| 図書費         | 8,632,992      | 12,881,655     | △4,248,663     |
| 福利厚生費       | 21,065,207     | 83,260,128     | △62,194,921    |
| 旅費交通費       | 67,457,180     | 55,586,098     | 11,871,082     |
| 職員被服費       | 2,548,757      | 4,039,890      | △1,491,133     |
| 通信運搬費       | 19,317,890     | 16,878,959     | 2,438,931      |
| 広告宣伝費       | 2,187,853      | 6,078,628      | △3,890,775     |
| 消耗品費        | 52,482,475     | 68,685,539     | △16,203,064    |
| 消耗器具備品費     | 5,938,026      | 19,554,374     | △13,616,348    |
| 会議費         | 703,514        | 107,068        | 596,446        |
| 光熱水料費       | 315,144,508    | 325,337,554    | △10,193,046    |
| 保険料         | 25,910,437     | 23,625,465     | 2,284,972      |
| 渉外費         | 833,041        | 781,684        | 51,357         |
| 諸会費         | 2,531,233      | 2,431,900      | 99,333         |
| 租税公課        | 27,738,464     | 27,637,195     | 101,269        |
| 雑費          | 26,319,314     | 25,812,991     | 506,323        |
| 報償費         | 557,332,039    | 498,512,546    | 58,819,493     |
| 職員採用費       | 35,540,030     | 44,386,742     | △8,846,712     |
| 支払負担金       | 43,609,799     | 419,011,628    | △375,401,829   |
| 支払寄付金       | 108,664,292    | 112,545,548    | △3,881,256     |
| 貸倒引当金繰入額    | △5,698,848     | 3,702,764      | △9,401,612     |
| 支払利息        | 7,089,376      | 7,653,026      | △563,650       |
| 患者外給食用材料費   | 2,582,591      | 5,722,955      | △3,140,364     |
| 貸倒引当金医業外繰入額 | △297,990       | △1,756,321     | 1,458,331      |
| 奨学給付金       | 4,200,000      | 14,860,000     | △10,660,000    |
| 雑損失         | 5,239,052      | 5,346,753      | △107,701       |
| ②管理費        | ( 16,279,655 ) | ( 17,377,635 ) | ( △1,097,980 ) |
| 役員報酬        | 9,864,000      | 10,862,000     | △998,000       |
| 給料手当        | 1,145,093      | 1,163,830      | △18,737        |
| 賞与          | 324,600        | 313,888        | 10,712         |
| 賞与引当金繰入額    | 107,681        | 102,776        | 4,905          |
| 法定福利費       | 202,293        | 194,858        | 7,435          |
| 清掃委託費       | 69,573         | 69,573         | 0              |



|                             |                |                |                |
|-----------------------------|----------------|----------------|----------------|
| 保 守 委 託 費                   | 81,503         | 82,666         | △1,163         |
| そ の 他 委 託 費                 | 2,653,200      | 2,653,200      | 0              |
| 賃 借 料                       | 146,895        | 146,895        | 0              |
| 印 刷 製 本 費                   | 153,285        | 137,800        | 15,485         |
| 燃 料 費                       | 60,716         | 60,602         | 114            |
| 旅 費 交 通 費                   | 59,798         | 80,798         | △21,000        |
| 通 信 運 搬 費                   | 646,342        | 604,163        | 42,179         |
| 消 耗 品 費                     | 134,887        | 137,590        | △2,703         |
| 会 議 費                       | 103,296        | 125,584        | △22,288        |
| 光 熱 水 料 費                   | 108,815        | 121,011        | △12,196        |
| 渉 外 費                       | 126,330        | 222,893        | △96,563        |
| 租 税 公 課                     | 61,800         | 72,800         | △11,000        |
| 雑 費                         | 229,548        | 224,708        | 4,840          |
| 経 常 費 用 計                   | 19,749,769,137 | 18,841,273,366 | 908,495,771    |
| 当 期 経 常 増 減 額               | △873,916,661   | 371,332,810    | △1,245,249,471 |
| 2 経 常 外 増 減 の 部             |                |                |                |
| (1) 経 常 外 収 益               |                |                |                |
| ① 受 取 補 助 金 等               | ( 18,400,551 ) | ( 0 )          | ( 18,400,551 ) |
| 受 取 補 助 金 等 振 替 額           | 18,400,551     | 0              | 18,400,551     |
| ② 受 取 寄 付 金 等               | ( 1,161,909 )  | ( 0 )          | ( 1,161,909 )  |
| 受 取 寄 付 金 等 振 替 額           | 1,161,909      | 0              | 1,161,909      |
| 経 常 外 収 益 計                 | 19,562,460     | 0              | 19,562,460     |
| (2) 経 常 外 費 用               |                |                |                |
| ① 固 定 資 産 除 却 損             | ( 11,262,823 ) | ( 0 )          | ( 11,262,823 ) |
| 建 物 除 却 損                   | 11,262,823     | 0              | 11,262,823     |
| ② 過 年 度 補 助 金 返 還 支 出       | ( 5,714,000 )  | ( 0 )          | ( 5,714,000 )  |
| 過 年 度 補 助 金 返 還 支 出         | 5,714,000      | 0              | 5,714,000      |
| ③ 閉 院 損 失                   | ( 23,273,399 ) | ( 0 )          | ( 23,273,399 ) |
| 閉 院 損 失                     | 23,273,399     | 0              | 23,273,399     |
| 経 常 外 費 用 計                 | 40,250,222     | 0              | 40,250,222     |
| 当 期 経 常 外 増 減 額             | △20,687,762    | 0              | △20,687,762    |
| 税 引 前 当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額 | △894,604,423   | 371,332,810    | △1,265,937,233 |
| 法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税       | 120,000        | 144,251,700    | △144,131,700   |
| 法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税 還 付 額 | △117,482,055   | △103,851,200   | △13,630,855    |
| 当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額       | △777,242,368   | 330,932,310    | △1,108,174,678 |
| 一 般 正 味 財 産 期 首 残 高         | △480,456,269   | △811,388,579   | 330,932,310    |
| 一 般 正 味 財 産 期 末 残 高         | △1,257,698,637 | △480,456,269   | △777,242,368   |
| II 指 定 正 味 財 産 増 減 の 部      |                |                |                |
| ① 受 取 補 助 金 等               | ( 0 )          | ( 2,082,685 )  | ( △2,082,685 ) |
| 受 取 地 方 公 共 団 体 補 助 金       | 0              | 2,082,685      | △2,082,685     |
| ② 基 本 財 産 運 用 益             | ( 20,237,901 ) | ( 0 )          | ( 20,237,901 ) |
| 基 本 財 産 受 取 利 息             | 20,237,901     | 0              | 20,237,901     |
| ③ 一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額     |                |                |                |
| 一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額       | △71,123,897    | △37,178,042    | △33,945,855    |
| 当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額       | △50,885,996    | △35,095,357    | △15,790,639    |
| 指 定 正 味 財 産 期 首 残 高         | 3,190,134,731  | △3,225,230,088 | 6,415,364,819  |
| 指 定 正 味 財 産 期 末 残 高         | 3,139,248,735  | 3,190,134,731  | △50,885,996    |
| III 正 味 財 産 期 末 残 高         | 1,881,550,098  | 2,709,678,462  | △828,128,364   |

## 財務諸表に対する注記

1. 継続組織の前提に関する注記

該当事項なし

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券は償却原価法（定額法）によっています。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

医薬品、診療材料、貯蔵品・・・最終仕入原価法に基づく原価基準によっています。

(3) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産・・・法人税法に基づく定額法によっています。

無形固定資産・・・法人税法に基づく定額法によっています。

(4) 引当金の計上基準

貸倒引当金

債権の貸倒損失に備えるため、法人税法に規定する法定繰入率により、回収不能見込額を計上しています。

賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上しています。

退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、別に定める規程に基づき、当期末における退職給付債務が、当期末に発生していると認められる額を計上しています。なお、退職給付債務は、期末の自己都合要支給額に基づいて計算しています。

(5) キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

該当事項なし

(6) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込処理によっています。

3. 会計方針の変更

該当事項なし

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。

(単位：円)

| 科 目     | 前期末残高         | 当期増加額         | 当期減少額         | 当期末残高         |
|---------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 基本財産    |               |               |               |               |
| 普通預金    | 0             | 4,913,400     | 0             | 4,913,400     |
| 定期預金    | 3,050,000,000 | 0             | 3,000,000,000 | 50,000,000    |
| 投資有価証券  | 0             | 2,996,020,821 | 0             | 2,996,020,821 |
| 特定資産    |               |               |               |               |
| 建 物     | 18,270,312    | 0             | 12,379,192    | 5,891,120     |
| 医療用器械備品 | 120,410,090   | 0             | 38,976,725    | 81,433,365    |
| その他器械備品 | 1,454,675     | 0             | 464,346       | 990,329       |
| 合 計     | 3,195,135,077 | 3,000,934,221 | 3,056,820,263 | 3,139,249,035 |

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。

(単位：円)

| 科 目     | 当期末残高         | (うち指定正味財産からの充当額) | (うち一般正味財産からの充当額) | (うち負債に対応する額) |
|---------|---------------|------------------|------------------|--------------|
| 基本財産    |               |                  |                  |              |
| 普通預金    | 4,913,400     | (4,913,400)      | (0)              | —            |
| 定期預金    | 50,000,000    | (50,000,000)     | (0)              | —            |
| 投資有価証券  | 2,996,020,821 | (2,996,020,821)  | (0)              | —            |
| 特定資産    |               |                  |                  |              |
| 建 物     | 5,891,120     | (5,891,120)      | (0)              | —            |
| 医療用器械備品 | 81,433,365    | (81,433,065)     | (300)            | —            |
| その他器械備品 | 990,329       | (990,329)        | (0)              | —            |
| 合 計     | 3,139,249,035 | (3,139,248,735)  | (300)            | (0)          |

6. 担保に供している資産  
該当事項なし

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高  
固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりです。

(単位：円)

| 科 目            | 取得価額        | 減価償却累計額     | 当期末残高       |
|----------------|-------------|-------------|-------------|
| 建 物 (特定資産)     | 7,425,000   | 1,533,880   | 5,891,120   |
| 医療用器械備品 (特定資産) | 171,440,198 | 90,006,833  | 81,433,365  |
| その他器械備品 (特定資産) | 1,967,405   | 977,076     | 990,329     |
| 医療用器械備品        | 15,647,240  | 11,481,327  | 4,165,913   |
| その他器械備品        | 32,234,601  | 15,938,191  | 16,296,410  |
| ソフトウェア         | 0           | 0           |             |
| 合 計            | 228,714,444 | 119,937,307 | 108,777,137 |

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高  
該当事項なし

9. 保証債務(債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。)等の偶発債務  
該当事項なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益  
満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は次のとおりです。

(単位：円)

| 種類及び銘柄           | 帳簿価額          | 時価            | 評価損益         |
|------------------|---------------|---------------|--------------|
| 国債               |               |               |              |
| 180回 利付国庫債券(20年) | 2,996,020,821 | 2,744,440,380 | △251,580,441 |
| 合 計              | 2,996,020,821 | 2,744,440,380 | △251,580,441 |

11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高  
補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりです。

(単位：円)

| 補助金等の名称     | 交付者   | 前期末残高       | 当期増加額         | 当期減少額         | 当期末残高      | 貸借対照表上の記載区分 |
|-------------|-------|-------------|---------------|---------------|------------|-------------|
| 補助金         |       |             |               |               |            |             |
| 受取国庫補助金     | 厚生労働省 | 0           | 2,612,000     | 2,612,000     | 0          | 指定正味財産      |
| 受取地方公共団体補助金 | 新潟県   | 138,510,622 | 1,999,274,316 | 2,049,470,424 | 88,314,514 |             |
| 受取民間補助金     | 東北電力  | 0           | 36,140        | 36,140        | 0          |             |
| 助成金         |       |             |               |               |            |             |
| 受取民間助成金     | 新潟大学他 | 0           | 2,314,193     | 2,314,193     | 0          |             |
| 合 計         |       | 0           | 2,004,236,649 | 2,054,432,757 | 88,314,514 |             |

12. 基金及び代替基金の増減額及びその残高  
該当事項なし

13. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳  
指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりです。

(単位：円)

| 内 容           | 金 額        |
|---------------|------------|
| 経常収益への振替額     |            |
| 減価償却費計上による振替額 | 32,257,757 |
| 特定資産除却に伴う振替額  | 11,262,823 |
| 基本財産受取利息の振替額  | 19,303,680 |
| 閉院損失に伴う振替額    | 8,299,637  |
| 合 計           | 71,123,897 |

14. 関連当事者との取引の内容  
該当事項なし

15. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引  
該当事項なし

16. 重要な後発事象  
該当事項なし

17. その他  
該当事項なし

## 計算書類に係る附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記2「基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」に記載しているため省略する。

### 2. 引当金の明細

(単位:円)

| 科目      | 期首残高        | 当期増加額       | 当期減少額       |            | 期末残高        |
|---------|-------------|-------------|-------------|------------|-------------|
|         |             |             | 目的使用        | その他        |             |
| 貸倒引当金   | 19,172,174  | 13,175,336  | 0           | 19,172,174 | 13,175,336  |
| 賞与引当金   | 457,120,285 | 334,748,591 | 457,120,285 | 0          | 334,748,591 |
| 退職給付引当金 | 667,792,875 | 82,990,306  | 362,969,856 | 0          | 387,813,325 |

(注)貸倒引当金の当期減少額のその他は洗替によるものである。

# 令和5年度 財産目録

令和6年 3月31日 現在

(単位:円)

| 科 目         |                           | 金 額           |               |
|-------------|---------------------------|---------------|---------------|
| I 資産の部      |                           |               |               |
| 1 流動資産      |                           |               |               |
| 現金          | 窓口両替用等現金・診療収益             | 2,470,119     |               |
| 普通預金        | 第四北越銀行 大和支店・燕中央支店         | 710,405,971   |               |
| 普通預金        | みずほ銀行 新潟支店                | 230,446,197   |               |
| 医業未収金       | 国保連合・支払基金 診療報酬            | 2,025,262,294 |               |
| 医業外未収金      | 宿舍貸付料他                    | 10,349,070    |               |
| その他未収金      | 還付法人税等                    | 168,212,262   |               |
| 医薬品         | 期末棚卸分                     | 99,292,612    |               |
| 診療材料        | 期末棚卸分                     | 3,348,241     |               |
| 貯蔵品(給食用材料)  | 期末棚卸分(備蓄食料他)              | 2,219,750     |               |
| 貯蔵品(燃料)     | 期末棚卸分(灯油他)                | 8,435,812     |               |
| 貯蔵品(その他)    | 期末棚卸分(切手・印紙・被服)           | 41,311        |               |
| 前払費用        | リネン・ユニフォーム購買支援サービス<br>手数料 | 3,148,318     |               |
| 立替金         | 医師公舎(共益費)                 | 135,328       |               |
| 貸倒引当金       | 債権の貸倒損失に備えるもの             | △12,495,976   |               |
| 流動資産合計      |                           |               | 3,251,271,309 |
| 2 固定資産      |                           |               |               |
| (1) 基本財産    |                           |               |               |
| 普通預金        | みずほ銀行 新潟支店                | 4,913,400     |               |
| 定期預金        | 大和ネクスト銀行                  | 50,000,000    |               |
| 投資有価証券      | 利付国庫債券                    | 2,996,020,821 |               |
| 基本財産合計      |                           | 3,050,934,221 |               |
| (2) 特定資産    |                           |               |               |
| 建物          | ACU陰圧空調工事・分娩室陰圧空調工事       | 5,891,120     |               |
| 医療用器械備品     | 遺伝子検査システム他                | 81,433,365    |               |
| その他器械備品     | 電子カルテ用ノートパソコン他            | 990,329       |               |
| 特定資産合計      |                           | 88,314,814    |               |
| (3) その他固定資産 |                           |               |               |
| 医療用器械備品     | 視線入力式意思伝達装置、吸引モデル他        | 4,165,913     |               |
| その他器械備品     | Wifi整備一式、中軽量棚、防草シート他      | 16,296,410    |               |
| その他有形固定資産   | 寄付物品 日本画他                 | 20,050,000    |               |
| 長期貸付金       | 看護学生に対する貸付金               | 123,375,840   |               |
| 長期前払費用      | 火災保険料、商業登記電子証明書発行手数料      | 38,879        |               |
| 敷金          | 医師公舎敷金                    | 2,616,200     |               |
| 保証金         | タクシー共通チケット申込預け金           | 30,000        |               |
| 貸倒引当金       | 債権の貸倒損失に備えるもの             | △679,360      |               |
| その他固定資産合計   |                           | 165,893,882   |               |
| 固定資産合計      |                           |               | 3,305,142,917 |
| 資産合計        |                           |               | 6,556,414,226 |

|         |  |               |               |
|---------|--|---------------|---------------|
| II 負債の部 |  |               |               |
| 1 流動負債  |  |               |               |
| 未払金     | 事業費に対する未払額等                                  | 1,069,993,724 |               |
| 未払法人税等  | 法人税他   | 120,000       |               |
| 未払消費税等  | 消費税及び地方消費税                                   | 6,518,200     |               |
| 預り金     | 源泉所得税等                                       | 247,058       |               |
| 短期借入金   | 運営資金借入金 みずほ銀行<br>新潟県厚生事業協同舎社、うらさ耳<br>鼻科クリニック | 2,850,000,000 |               |
| 前受収益    | 労災診療費  | 132,000       |               |
| 仮受金     | 職員に対する賞与支給に備えるため                             | 22,891,230    |               |
| 賞与引当金   |  | 334,748,591   |               |
| 流動負債合計  |  |               | 4,284,650,803 |
| 2 固定負債  |  |               |               |
| 退職給付引当金 | 職員の退職給付に備えるため                                | 387,813,325   |               |
| 長期預り金   | 修学資金貸付金分 新潟県                                 | 2,400,000     |               |
| 固定負債合計  |  |               | 390,213,325   |
| 負債合計    |  |               | 4,674,864,128 |
| 正味財産    |  |               | 1,881,550,098 |

# 令和5年度貸借対照表(魚沼基幹病院)

令和 6 年 3 月 31 日 現在

( 単 位 : 円 )

| 科 目         | 当 年 度         | 前 年 度         | 増 減             |
|-------------|---------------|---------------|-----------------|
| I 資産の部      |               |               |                 |
| 1 流動資産      |               |               |                 |
| 現金預金        | 274,792,001   | 555,879,838   | △ 281,087,837   |
| 医業未収金       | 1,776,686,416 | 1,951,576,877 | △ 174,890,461   |
| 医業外未収金      | 9,980,288     | 10,104,301    | △ 124,013       |
| その他未収金      | 82,095,034    | 112,662,190   | △ 30,567,156    |
| 医薬品         | 89,981,280    | 67,820,775    | 22,160,505      |
| 診療材料        | 1,359,935     | 1,362,370     | △ 2,435         |
| 貯蔵品         | 10,692,665    | 12,297,388    | △ 1,604,723     |
| 前払費用        | 3,148,318     | 5,977,309     | △ 2,828,991     |
| 立替金         | 135,328       | 204,284       | △ 68,956        |
| 仮払金         | 0             | 0             | 0               |
| 貸倒引当金       | △ 10,913,177  | △ 12,371,320  | 1,458,143       |
| 流動資産合計      | 2,237,958,088 | 2,705,514,012 | △ 467,555,924   |
| 2 固定資産      |               |               |                 |
| (1) 基本財産    |               |               |                 |
| 普通預金        | 4,913,400     | 0             | 4,913,400       |
| 定期預金        | 50,000,000    | 3,050,000,000 | △ 3,000,000,000 |
| 投資有価証券      | 2,996,020,821 | 0             | 2,996,020,821   |
| 基本財産合計      | 3,050,934,221 | 3,050,000,000 | 934,221         |
| (2) 特定資産    |               |               |                 |
| 普通預金        | 0             | 0             | 0               |
| 建物          | 5,891,120     | 18,270,312    | △ 12,379,192    |
| 医療用器械備品     | 80,719,794    | 107,811,432   | △ 27,091,638    |
| その他器械備品     | 990,329       | 1,454,675     | △ 464,346       |
| 特定資産合計      | 87,601,243    | 127,536,419   | △ 39,935,176    |
| (3) その他固定資産 |               |               |                 |
| 医療用器械備品     | 4,165,913     | 3,853,744     | 312,169         |
| その他器械備品     | 16,296,410    | 20,368,396    | △ 4,071,986     |
| その他有形固定資産   | 20,050,000    | 20,050,000    | 0               |
| ソフトウェア      | 0             | 32,047        | △ 32,047        |
| 長期貸付金       | 113,226,800   | 109,226,800   | 4,000,000       |
| 長期前払費用      | 38,879        | 3,156,766     | △ 3,117,887     |
| 敷金          | 2,616,200     | 3,149,700     | △ 533,500       |
| 保証金         | 30,000        | 30,000        | 0               |
| 貸倒引当金       | △ 679,360     | △ 640,960     | △ 38,400        |
| その他固定資産合計   | 155,744,842   | 159,226,493   | △ 3,481,651     |
| 固定資産合計      | 3,294,280,306 | 3,336,762,912 | △ 42,482,606    |

|                         |                                    |                                    |                             |
|-------------------------|------------------------------------|------------------------------------|-----------------------------|
| 資 産 合 計                 | 5,532,238,394                      | 6,042,276,924                      | △ 510,038,530               |
| II 負債の部                 |                                    |                                    |                             |
| 1 流動負債                  |                                    |                                    |                             |
| 未 払 金                   | 953,024,803                        | 929,763,486                        | 23,261,317                  |
| 未 払 法 人 税 等             | 60,000                             | 47,794,951                         | △ 47,734,951                |
| 未 払 消 費 税 等             | 0                                  | 0                                  | 0                           |
| 預 り 金                   | 247,058                            | 452,039                            | △ 204,981                   |
| 短 期 借 入 金               | 2,850,000,000                      | 3,050,000,000                      | △ 200,000,000               |
| 前 受 収 益                 | 132,000                            | 132,000                            | 0                           |
| 仮 受 金                   | 22,891,230                         | 15,754,897                         | 7,136,333                   |
| 賞 与 引 当 金               | 334,748,591                        | 310,440,562                        | 24,308,029                  |
| 流動負債合計                  | 4,161,103,682                      | 4,354,337,935                      | △ 193,234,253               |
| 2 固定負債                  |                                    |                                    |                             |
| 退職給付引当金                 | 387,813,325                        | 319,850,321                        | 67,963,004                  |
| 長期預り金                   | 2,400,000                          | 2,400,000                          | 0                           |
| 固定負債合計                  | 390,213,325                        | 322,250,321                        | 67,963,004                  |
| 負債合計                    | 4,551,317,007                      | 4,676,588,256                      | △ 125,271,249               |
| III 正味財産の部              |                                    |                                    |                             |
| 1 指定正味財産                |                                    |                                    |                             |
| 地方公共団体補助金               | 3,138,535,164                      | 3,177,536,119                      | △ 39,000,955                |
| 指定正味財産<br>(うち基本財産への充当額) | 3,138,535,164<br>( 3,050,934,221 ) | 3,177,536,119<br>( 3,050,000,000 ) | △ 39,000,955<br>( 934,221 ) |
| (うち特定資産への充当額)           | ( 87,600,943 )                     | ( 127,536,119 )                    | ( △ 39,935,176 )            |
| 2 一般正味財産                | △ 2,157,613,777                    | △ 1,811,847,451                    | △ 345,766,326               |
| (うち特定資産への充当額)           | ( 300 )                            | ( 300 )                            | ( 0 )                       |
| 正味財産合計                  | 980,921,387                        | 1,365,688,668                      | △ 384,767,281               |
| 負債及び正味財産合計              | 5,532,238,394                      | 6,042,276,924                      | △ 510,038,530               |



# 令和5年度正味財産増減計算書(魚沼基幹病院)

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

| 科 目          | 当 年 度              | 前 年 度              | 増 減              |
|--------------|--------------------|--------------------|------------------|
| I 一般正味財産増減の部 |                    |                    |                  |
| 1 経常増減の部     |                    |                    |                  |
| (1) 経常収益     |                    |                    |                  |
| ① 基本財産運用益    | ( 19,758,819 )     | ( 2,277,736 )      | ( 17,481,083 )   |
| 基本財産受取利息     | 455,139            | 2,277,736          | △1,822,597       |
| 基本財産受取利息振替額  | 19,303,680         | 0                  | 19,303,680       |
| ② 病院事業収益     | ( 10,324,126,965 ) | ( 10,291,915,232 ) | ( 32,211,733 )   |
| 入院診療収益       | 7,226,601,901      | 7,063,495,695      | 163,106,206      |
| 室料差額収益       | 70,172,800         | 63,278,670         | 6,894,130        |
| 外来診療収益       | 2,908,919,374      | 3,006,599,636      | △97,680,262      |
| 保健予防活動収益     | 72,237,533         | 93,547,495         | △21,309,962      |
| 受託検査・施設利用収益  | 10,913,474         | 9,412,744          | 1,500,730        |
| その他医業収益      | 63,575,976         | 69,254,531         | △5,678,555       |
| 保険等査定増減      | △28,294,093        | △13,673,539        | △14,620,554      |
| ③ 病院事業外収益    | ( 77,809,402 )     | ( 75,342,856 )     | ( 2,466,546 )    |
| 貸付料収益        | 35,133,203         | 40,887,128         | △5,753,925       |
| 保育所収益        | 2,111,100          | 1,964,200          | 146,900          |
| その他医業外収益     | 40,565,099         | 32,491,528         | 8,073,571        |
| ④ 受取補助金等     | ( 1,665,750,686 )  | ( 2,428,822,823 )  | ( △763,072,137 ) |
| 受取国庫補助金      | 2,612,000          | 391,315            | 2,220,685        |
| 受取地方公共団体補助金  | 1,632,116,000      | 2,393,716,000      | △761,600,000     |
| 受取地方公共団体助成金  | 0                  | 0                  | 0                |
| 受取民間補助金      | 36,140             | 200,000            | △163,860         |
| 受取民間助成金      | 2,314,193          | 1,248,821          | 1,065,372        |
| 受取補助金等振替額    | 28,672,353         | 33,266,687         | △4,594,334       |
| ⑤ 受取負担金      | ( 53,204,900 )     | ( 52,145,940 )     | ( 1,058,960 )    |
| 受取負担金        | 53,204,900         | 52,145,940         | 1,058,960        |
| ⑥ 受取寄付金      | ( 50,000 )         | ( 0 )              | ( 50,000 )       |
| 受取寄付金        | 50,000             | 0                  | 50,000           |
| ⑦ 雑収益        | ( 9,183,275 )      | ( 5,494,544 )      | ( 3,688,731 )    |
| 受取利息         | 5,711              | 5,189              | 522              |
| 雑収益          | 9,177,564          | 5,489,355          | 3,688,209        |
| 経常収益計        | 12,149,884,047     | 12,855,999,131     | △706,115,084     |
| (2) 経常費用     |                    |                    |                  |
| ① 事業費        | ( 12,512,637,764 ) | ( 12,742,786,879 ) | ( △230,149,115 ) |
| 給料手当         | 4,743,980,328      | 4,572,969,089      | 171,011,239      |
| 臨時雇賃金        | 330,194,280        | 328,018,310        | 2,175,970        |
| 賞与           | 682,310,493        | 678,226,539        | 4,083,954        |
| 賞与引当金繰入額     | 334,640,910        | 310,337,786        | 24,303,124       |
| 退職給付費用       | 90,836,597         | 82,579,093         | 8,257,504        |
| 法定福利費        | 815,216,896        | 815,778,774        | △561,878         |
| 医薬品費         | 1,626,343,998      | 1,824,210,850      | △197,866,852     |
| 診療材料費        | 1,153,031,669      | 1,114,674,786      | 38,356,883       |

|             |                |                |              |
|-------------|----------------|----------------|--------------|
| 医療消耗器具備品費   | 12,014,170     | 30,656,785     | △18,642,615  |
| 検査委託費       | 37,820,854     | 43,664,645     | △5,843,791   |
| 給食委託費       | 187,600,611    | 180,251,436    | 7,349,175    |
| 寝具委託費       | 25,590,300     | 25,978,148     | △387,848     |
| 医事委託費       | 292,608,086    | 292,807,961    | △199,875     |
| 清掃委託費       | 84,803,127     | 88,791,397     | △3,988,270   |
| 保守委託費       | 174,939,103    | 364,309,038    | △189,369,935 |
| その他委託費      | 393,327,864    | 405,734,541    | △12,406,677  |
| 減価償却費       | 35,158,826     | 33,442,957     | 1,715,869    |
| 賃借料         | 216,482,253    | 211,795,942    | 4,686,311    |
| 代家賃         | 30,781,615     | 41,353,114     | △10,571,499  |
| 修繕費         | 45,636,789     | 48,028,573     | △2,391,784   |
| 機器保守料       | 198,531,009    | 199,306,013    | △775,004     |
| 印刷製本費       | 7,338,092      | 7,746,765      | △408,673     |
| 燃料費         | 108,687,907    | 108,146,256    | 541,651      |
| 研究費         | 4,135,826      | 4,789,794      | △653,968     |
| 研修費         | 28,781,679     | 25,832,024     | 2,949,655    |
| 図書費         | 3,587,874      | 5,262,802      | △1,674,928   |
| 福利厚生費       | 17,927,256     | 58,453,955     | △40,526,699  |
| 旅費交通費       | 43,998,274     | 37,828,510     | 6,169,764    |
| 職員被服費       | 198,209        | 308,033        | △109,824     |
| 通信運搬費       | 12,823,305     | 10,875,613     | 1,947,692    |
| 広告宣伝費       | 2,162,223      | 6,002,061      | △3,839,838   |
| 消耗品費        | 31,044,846     | 42,279,440     | △11,234,594  |
| 消耗器具備品費     | 4,212,764      | 11,893,190     | △7,680,426   |
| 会議費         | 703,514        | 107,068        | 596,446      |
| 光熱水料費       | 203,028,810    | 223,993,489    | △20,964,679  |
| 保険料         | 17,680,733     | 18,367,518     | △686,785     |
| 渉外費         | 833,041        | 682,014        | 151,027      |
| 諸会費         | 1,140,000      | 1,227,700      | △87,700      |
| 租税公課        | 19,907,774     | 19,876,921     | 30,853       |
| 雑費          | 20,995,278     | 19,491,144     | 1,504,134    |
| 報償費         | 275,207,547    | 237,772,461    | 37,435,086   |
| 職員採用費       | 29,010,258     | 20,294,922     | 8,715,336    |
| 支払負担金       | 43,609,799     | 48,245,628     | △4,635,829   |
| 支払寄付金       | 108,664,292    | 112,545,548    | △3,881,256   |
| 医療貸倒損失      | 0              | 0              | 0            |
| 貸倒引当金繰入額    | △1,042,073     | 1,973,158      | △3,015,231   |
| 支払利息        | 7,089,376      | 7,653,026      | △563,650     |
| 貸倒引当金医療外繰入額 | △377,670       | △1,757,900     | 1,380,230    |
| 奨学金給付金      | 4,200,000      | 14,860,000     | △10,660,000  |
| 雑損失         | 5,239,052      | 5,119,962      | 119,090      |
| ②管理費        | ( 12,483,225 ) | ( 13,079,474 ) | ( △596,249 ) |
| 役員報酬        | 7,088,000      | 7,642,600      | △554,600     |
| 給料手当        | 1,145,093      | 1,163,830      | △18,737      |
| 臨時雇賃金       | 0              | 0              | 0            |
| 賞与          | 324,600        | 313,888        | 10,712       |
| 賞与引当金繰入額    | 107,681        | 102,776        | 4,905        |
| 法定福利費       | 202,293        | 194,858        | 7,435        |

|                 |                |                |                |
|-----------------|----------------|----------------|----------------|
| 清掃委託費           | 69,573         | 69,573         | 0              |
| 保守委託費           | 81,503         | 82,666         | △1,163         |
| その他委託費          | 1,709,125      | 1,709,125      | 0              |
| 賃借料             | 146,895        | 146,895        | 0              |
| 印刷製本費           | 153,285        | 137,800        | 15,485         |
| 燃料費             | 60,716         | 60,602         | 114            |
| 旅費交通費           | 49,819         | 70,811         | △20,992        |
| 通信運搬費           | 639,409        | 597,328        | 42,081         |
| 消耗品費            | 132,318        | 135,556        | △3,238         |
| 消耗器具備品費         | 0              | 0              | 0              |
| 会議費             | 85,848         | 103,280        | △17,432        |
| 光熱水料費           | 108,815        | 121,011        | △12,196        |
| 渉外費             | 126,330        | 178,759        | △52,429        |
| 租税公課            | 55,440         | 53,900         | 1,540          |
| 雑費              | 196,482        | 194,216        | 2,266          |
| 経常費用計           | 12,525,120,989 | 12,755,866,353 | △230,745,364   |
| 当期経常増減額         | △375,236,942   | 100,132,778    | △475,369,720   |
| 2 経常外増減の部       |                |                |                |
| (1) 経常外収益       |                |                |                |
| ① 受取補助金等        |                |                |                |
| 受取補助金等振替額       | 11,262,823     | 0              | 11,262,823     |
| その他固定資産受贈益      | 0              | 0              | 0              |
| ② 貸倒引当金戻入益      |                |                |                |
| 貸倒引当金戻入益        |                |                |                |
| 経常外収益計          | 11,262,823     | 0              | 11,262,823     |
| (2) 経常外費用       |                |                |                |
| ① 固定資産除却損       | ( 11,262,823 ) | ( 0 )          | ( 11,262,823 ) |
| 建物除却損           | 11,262,823     | 0              | 11,262,823     |
| ② 過年度補助金返還支出    | ( 5,714,000 )  | ( 0 )          | ( 5,714,000 )  |
| 過年度補助金返還支出      | 5,714,000      | 0              | 5,714,000      |
| 経常外費用計          | 16,976,823     | 0              | 16,976,823     |
| 当期経常外増減額        | △5,714,000     | 0              | △5,714,000     |
| 税引前当期一般正味財産増減額  | △380,950,942   | 100,132,778    | △481,083,720   |
| 法人税、住民税及び事業税    | 60,000         | 47,794,951     | △47,734,951    |
| 法人税、住民税及び事業税還付額 | △35,244,616    | △72,695,840    | 37,451,224     |
| 当期一般正味財産増減額     | △345,766,326   | 125,033,667    | △470,799,993   |
| 一般正味財産期首残高      | △1,811,847,451 | △1,936,881,118 | 125,033,667    |
| 一般正味財産期末残高      | △2,157,613,777 | △1,811,847,451 | △345,766,326   |
| II 指定正味財産増減の部   |                |                |                |
| ① 受取補助金等        | ( 0 )          | ( 2,082,685 )  | ( △2,082,685 ) |
| 受取地方公共団体補助金     | 0              | 2,082,685      | △2,082,685     |
| ② 基本財産運用益       | ( 20,237,901 ) | ( 0 )          | ( 20,237,901 ) |
| 基本財産受取利息        | 20,237,901     | 0              | 20,237,901     |
| ③ 一般正味財産への振替額   |                |                |                |
| 一般正味財産への振替額     | △59,238,856    | △33,266,687    | △25,972,169    |
| 当期指定正味財産増減額     | △39,000,955    | △31,184,002    | △7,816,953     |
| 指定正味財産期首残高      | 3,177,536,119  | 3,208,720,121  | △31,184,002    |
| 指定正味財産期末残高      | 3,138,535,164  | 3,177,536,119  | △39,000,955    |
| III 正味財産期末残高    | 980,921,387    | 1,365,688,668  | △384,767,281   |

## 財務諸表に対する注記

(魚沼基幹病院)

1. 継続組織の前提に関する注記

該当事項なし

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券は償却原価法（定額法）によっています。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

医薬品、診療材料、貯蔵品・・・最終仕入原価法に基づく原価基準によっています。

(3) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産・・・法人税法に基づく定額法によっています。

無形固定資産・・・法人税法に基づく定額法によっています。

(4) 引当金の計上基準

貸倒引当金

債権の貸倒損失に備えるため、法人税法に規定する法定繰入率により、回収不能見込額を計上しています。

賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上しています。

退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、別に定める規程に基づき、当期末における退職給付債務が、当期末に発生していると認められる額を計上しています。なお、退職給付債務は、期末の自己都合要支給額に基づいて計算しています。

(5) キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

該当事項なし

(6) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込処理によっています。

3. 会計方針の変更

該当事項なし

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。

(単位：円)

| 科 目     | 前期末残高         | 当期増加額         | 当期減少額         | 当期末残高         |
|---------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 基本財産    |               |               |               |               |
| 普通預金    | 0             | 4,913,400     | 0             | 4,913,400     |
| 定期預金    | 3,050,000,000 | 0             | 3,000,000,000 | 50,000,000    |
| 投資有価証券  | 0             | 2,996,020,821 | 0             | 2,996,020,821 |
| 特定資産    |               |               |               |               |
| 建 物     | 18,270,312    | 0             | 12,379,192    | 5,891,120     |
| 医療用器械備品 | 107,811,432   | 0             | 27,091,638    | 80,719,794    |
| その他器械備品 | 1,454,675     | 0             | 464,346       | 990,329       |
| 合 計     | 3,177,536,419 | 3,000,934,221 | 3,039,935,176 | 3,138,535,464 |

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。

(単位：円)

| 科 目     | 当期末残高         | (うち指定正味財<br>産からの充当額) | (うち一般正味財<br>産からの充当額) | (うち負債に対応<br>する額) |
|---------|---------------|----------------------|----------------------|------------------|
| 基本財産    |               |                      |                      |                  |
| 普通預金    | 4,913,400     | (4,913,400)          | (0)                  | —                |
| 定期預金    | 50,000,000    | (50,000,000)         | (0)                  | —                |
| 投資有価証券  | 2,996,020,821 | (2,996,020,821)      | (0)                  | —                |
| 特定資産    |               |                      |                      |                  |
| 建 物     | 5,891,120     | (5,891,120)          | (0)                  | —                |
| 医療用器械備品 | 80,719,794    | (80,719,494)         | (300)                | —                |
| その他器械備品 | 990,329       | (990,329)            | (0)                  | —                |
| 合 計     | 3,138,535,464 | (3,138,535,164)      | (300)                | (0)              |

6. 担保に供している資産  
該当事項なし

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高  
固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりです。

(単位：円)

| 科 目            | 取得価額        | 減価償却累計額     | 当期末残高       |
|----------------|-------------|-------------|-------------|
| 建 物 (特定資産)     | 7,425,000   | 1,533,880   | 5,891,120   |
| 医療用器械備品 (特定資産) | 158,841,540 | 78,121,746  | 80,719,794  |
| その他器械備品 (特定資産) | 1,967,405   | 977,076     | 990,329     |
| 医療用器械備品        | 15,647,240  | 11,481,327  | 4,165,913   |
| その他器械備品        | 32,234,601  | 15,938,191  | 16,296,410  |
| 合 計            | 216,115,786 | 108,052,220 | 108,063,566 |

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高  
該当事項なし

9. 保証債務(債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。)等の偶発債務  
該当事項なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益  
満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は次のとおりです。

(単位：円)

| 種類及び銘柄                  | 帳簿価額          | 時価            | 評価損益         |
|-------------------------|---------------|---------------|--------------|
| 国債<br>180回 利付国庫債券 (20年) | 2,996,020,821 | 2,744,440,380 | △251,580,441 |
| 合 計                     | 2,996,020,821 | 2,744,440,380 | △251,580,441 |

11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高  
補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりです。

(単位：円)

| 補助金等の名称     | 交付者   | 前期末残高       | 当期増加額         | 当期減少額         | 当期末残高      | 貸借対照表上の記載区分 |
|-------------|-------|-------------|---------------|---------------|------------|-------------|
| 補助金         |       |             |               |               |            |             |
| 受取国庫補助金     | 厚生労働省 | 0           | 2,612,000     | 2,612,000     | 0          | 指定正味財産      |
| 受取地方公共団体補助金 | 新潟県   | 127,536,119 | 1,632,116,000 | 1,672,051,176 | 87,600,943 |             |
| 受取民間補助金     | 東北電力  | 0           | 36,140        | 36,140        | 0          |             |
| 助成金         |       |             |               |               |            |             |
| 受取民間助成金     | 新潟大学他 | 0           | 2,314,193     | 2,314,193     | 0          |             |
| 合 計         |       | 0           | 1,637,078,333 | 1,677,013,509 | 87,600,943 |             |

12. 基金及び代替基金の増減額及びその残高  
該当事項なし

13. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳  
指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりです。

(単位：円)

| 内 容           | 金 額        |
|---------------|------------|
| 経常収益への振替額     |            |
| 減価償却費計上による振替額 | 28,672,353 |
| 特定資産除却に伴う振替額  | 11,262,823 |
| 基本財産受取利息への振替額 | 19,303,680 |
| 合 計           | 59,238,856 |

14. 関連当事者との取引の内容  
該当事項なし

15. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引  
該当事項なし

16. 重要な後発事象  
該当事項なし

17. その他  
該当事項なし

## 計算書類に係る附属明細書

(魚沼基幹病院)

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記2「基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」に記載しているため省略する。

### 2. 引当金の明細

(単位:円)

| 科目      | 期首残高        | 当期増加額       | 当期減少額       |            | 期末残高        |
|---------|-------------|-------------|-------------|------------|-------------|
|         |             |             | 目的使用        | その他        |             |
| 貸倒引当金   | 13,012,280  | 11,592,537  | 0           | 13,012,280 | 11,592,537  |
| 賞与引当金   | 310,440,562 | 334,748,591 | 310,440,562 | 0          | 334,748,591 |
| 退職給付引当金 | 319,850,321 | 82,990,306  | 15,027,302  | 0          | 387,813,325 |

(注)貸倒引当金の当期減少額のその他は洗替によるものである。

# 令和5年度 財産目録

魚沼 参考

令和6年 3月31日 現在

(単位:円)

| 科 目         |                       | 金 額           |               |
|-------------|-----------------------|---------------|---------------|
| I 資産の部      |                       |               |               |
| 1 流動資産      |                       |               |               |
| 現金          | 診療収益・窓口両替用等現金         | 2,470,119     |               |
| 普通預金        | 第四北越銀行 大和支店           | 160,370,548   |               |
| 普通預金        | みずほ銀行 新潟支店            | 111,951,334   |               |
| 医業未収金       | 国保連合・支払基金 診療報酬        | 1,776,686,416 |               |
| 医業外未収金      | 宿舍貸付料他                | 9,980,288     |               |
| その他未収金      | 還付法人税等                | 82,095,034    |               |
| 医薬品         | 期末棚卸分                 | 89,981,280    |               |
| 診療材料        | 期末棚卸分                 | 1,359,935     |               |
| 貯蔵品(給食用材料)  | 期末棚卸分(備蓄食料)           | 2,219,750     |               |
| 貯蔵品(燃料)     | 期末棚卸分(灯油)             | 8,435,812     |               |
| 貯蔵品(その他)    | 期末棚卸分(切手・印紙)          | 37,103        |               |
| 前払費用        | リネン・ユニフォーム購買支援サービス手数料 | 3,148,318     |               |
| 立替金         | 医師公舎(共益費)             | 135,328       |               |
| 貸倒引当金       | 債権の貸倒損失に備えるもの         | △10,913,177   |               |
| 流動資産合計      |                       |               | 2,237,958,088 |
| 2 固定資産      |                       |               |               |
| (1) 基本財産    |                       |               |               |
| 普通預金        | みずほ銀行 新潟支店            | 4,913,400     |               |
| 定期預金        | 大和ネクスト銀行              | 50,000,000    |               |
| 投資有価証券      | 利付国庫債券                | 2,996,020,821 |               |
| 基本財産合計      |                       | 3,050,934,221 |               |
| (2) 特定資産    |                       |               |               |
| 普通預金        | 第四北越銀行 大和支店           | 0             |               |
| 建物          | ACU陰圧空調工事・分娩室陰圧空調工事   | 5,891,120     |               |
| 医療用器械備品     | 遺伝子検査システム他            | 80,719,794    |               |
| その他器械備品     | 電子カルテ用ノートパソコン他        | 990,329       |               |
| 特定資産合計      |                       | 87,601,243    |               |
| (3) その他固定資産 |                       |               |               |
| 医療用器械備品     | 視線入力式意思伝達装置、吸引モデル他    | 4,165,913     |               |
| その他器械備品     | Wifi整備一式、中軽量棚、防草シート他  | 16,296,410    |               |
| その他有形固定資産   | 寄付物品 日本画他             | 20,050,000    |               |
| ソフトウェア      | 給与システム名札機能ソフト他        | 0             |               |
| 長期貸付金       | 看護学生に対する貸付金           | 113,226,800   |               |
| 長期前払費用      | 火災保険料、商業登記電子証明書発行手数料  | 38,879        |               |
| 敷金          | 医師公舎敷金                | 2,616,200     |               |
| 保証金         | タクシー共通チケット申込預け金       | 30,000        |               |
| 貸倒引当金       | 債権の貸倒損失に備えるもの         | △679,360      |               |
| その他固定資産合計   |                       | 155,744,842   |               |
| 固定資産合計      |                       |               | 3,294,280,306 |
| 資産合計        |                       |               | 5,532,238,394 |

|         |                         |               |               |
|---------|-------------------------|---------------|---------------|
| II 負債の部 |                         |               |               |
| 1 流動負債  |                         |               |               |
| 未払金     | 事業費に対する未払額等             | 953,024,803   |               |
| 未払法人税等  | 法人税他                    | 60,000        |               |
| 未払消費税等  | 消費税及び地方消費税              | 0             |               |
| 預り金     | 源泉所得税等                  | 247,058       |               |
| 短期借入金   | 運営資金借入金 みずほ銀行           | 2,850,000,000 |               |
| 前受収益    | 新潟県厚生事業協同舎社、うらさ耳鼻科クリニック | 132,000       |               |
| 仮受金     | 労災診療費                   | 22,891,230    |               |
| 賞与引当金   | 職員に対する賞与支給に備えるため        | 334,748,591   |               |
| 流動負債合計  |                         |               | 4,161,103,682 |
| 2 固定負債  |                         |               |               |
| 退職給付引当金 | 職員の退職給付に備えるため           | 387,813,325   |               |
| 長期預り金   | 修学資金貸付金分 新潟県            | 2,400,000     |               |
| 固定負債合計  |                         |               | 390,213,325   |
| 負債合計    |                         |               | 4,551,317,007 |
| 正味財産    |                         |               | 980,921,387   |



# 令和5年度貸借対照表(燕労災病院)

令和 6 年 3 月 31 日 現在

( 単 位 : 円 )

| 科 目               | 当 年 度         | 前 年 度         | 増 減           |
|-------------------|---------------|---------------|---------------|
| 資 産 の 部           |               |               |               |
| 1 流 動 資 産         |               |               |               |
| 現 金 預 金           | 668,530,286   | 1,541,970,466 | 873,440,180   |
| 医 業 未 収 金         | 248,575,878   | 1,024,705,051 | 776,129,173   |
| 医 業 外 未 収 金       | 368,782       | 1,109,847     | 741,065       |
| そ の 他 未 収 金       | 86,945,758    | 188,541,808   | 101,596,050   |
| 医 薬 品             | 9,311,332     | 30,870,153    | 21,558,821    |
| 診 療 材 料           | 1,988,306     | 2,923,736     | 935,430       |
| 貯 蔵 品             | 4,208         | 3,719,944     | 3,715,736     |
| 前 払 費 用           | 0             | 5,064,980     | 5,064,980     |
| 貸 倒 引 当 金         | 1,582,799     | 6,159,894     | 4,577,095     |
| 流 動 資 産 合 計       | 1,014,141,751 | 2,792,746,091 | 1,778,604,340 |
| 2 固 定 資 産         |               |               |               |
| (1) 特 定 資 産       |               |               |               |
| 医 療 用 器 械 備 品     | 713,571       | 12,598,658    | 11,885,087    |
| 特 定 資 産 合 計       | 713,571       | 12,598,658    | 11,885,087    |
| (1) そ の 他 固 定 資 産 |               |               |               |
| そ の 他 器 械 備 品     | 0             | 4,611,427     | 4,611,427     |
| 長 期 貸 付 金         | 10,149,040    | 0             | 10,149,040    |
| そ の 他 固 定 資 産 合 計 | 10,149,040    | 4,611,427     | 5,537,613     |
| 固 定 資 産 合 計       | 10,862,611    | 17,210,085    | 6,347,474     |
| 資 産 合 計           | 1,025,004,362 | 2,809,956,176 | 1,784,951,814 |
| 負 債 の 部           |               |               |               |
| 1 流 動 負 債         |               |               |               |
| 未 払 金             | 116,968,921   | 840,082,131   | 723,113,210   |
| 未 払 法 人 税 等       | 60,000        | 96,456,749    | 96,396,749    |
| 未 払 消 費 税 等       | 7,346,730     | 7,188,480     | 158,250       |
| 預 り 金             | 0             | 27,487,935    | 27,487,935    |
| 短 期 借 入 金         | 0             | 0             | 0             |
| 仮 受 金             | 0             | 128,810       | 128,810       |
| 賞 与 引 当 金         | 0             | 146,679,723   | 146,679,723   |
| 流 動 負 債 合 計       | 124,375,651   | 1,118,023,828 | 993,648,177   |

|               |               |                |                |
|---------------|---------------|----------------|----------------|
| 2 固 定 負 債     |               |                |                |
| 退職給付引当金       | 0             | 347,942,554    | 347,942,554    |
| 固定負債合計        | 0             | 347,942,554    | 347,942,554    |
| 負債合計          | 124,375,651   | 1,465,966,382  | 1,341,590,731  |
| 正味財産の部        |               |                |                |
| 1 指定正味財産      |               |                |                |
| 地方公共団体補助金     | 713,571       | 10,974,503     | 10,260,932     |
| 寄 付 金         | 0             | 1,624,109      | 1,624,109      |
| 指定正味財産合計      | 713,571       | 12,598,612     | 11,885,041     |
| (うち基本財産への充当額) | ( 0 )         | ( 0 )          | ( 0 )          |
| (うち特定資産への充当額) | ( 713,571 )   | ( 12,598,612 ) | ( 11,885,041 ) |
| 2 一般正味財産      | 899,915,140   | 1,331,391,182  | 431,476,042    |
| 正味財産合計        | 900,628,711   | 1,343,989,794  | 443,361,083    |
| (うち特定資産への充当額) | ( )           | ( 46 )         | ( 46 )         |
| 負債及び正味財産合計    | 1,025,004,362 | 2,809,956,176  | 1,784,951,814  |

# 令和5年度正味財産増減計算書(燕労災病院)

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

| 科 目           | 当 年 度             | 前 年 度             | 増 減               |
|---------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 一般正味財産増減の部    |                   |                   |                   |
| 1 経 常 増 減 の 部 |                   |                   |                   |
| (1) 経 常 収 益   |                   |                   |                   |
| 病院事業収益        | ( 5,144,807,213 ) | ( 5,040,176,845 ) | ( 104,630,368 )   |
| 入院診療収益        | 3,301,684,330     | 3,430,544,784     | 128,860,454       |
| 室料差額収益        | 22,230,450        | 28,178,150        | 5,947,700         |
| 外来診療収益        | 1,766,492,055     | 1,534,562,721     | 231,929,334       |
| 保健予防活動収益      | 11,473,056        | 15,170,342        | 3,697,286         |
| その他医業収益       | 52,495,319        | 39,784,434        | 12,710,885        |
| 保険等査定増減       | 9,567,997         | 8,063,586         | 1,504,411         |
| 病院事業外収益       | ( 17,619,490 )    | ( 20,038,430 )    | ( 2,418,940 )     |
| 貸付料収益         | 678,106           | 771,720           | 93,614            |
| 患者外給食収益       | 2,643,260         | 6,748,800         | 4,105,540         |
| その他医業外収益      | 14,298,124        | 12,517,910        | 1,780,214         |
| 受取補助金等        | ( 370,281,520 )   | ( 1,226,736,255 ) | ( 856,454,735 )   |
| 受取国庫補助金       | 0                 | 0                 | 0                 |
| 受取地方公共団体補助金   | 367,158,316       | 1,223,496,945     | 856,338,629       |
| 受取補助金等振替額     | 3,123,204         | 3,239,310         | 116,106           |
| 受取負担金         | ( 1,190,914,100 ) | ( 68,501,600 )    | ( 1,122,412,500 ) |
| 受取負担金         | 1,190,914,100     | 68,501,600        | 1,122,412,500     |
| 受取寄付金         | ( 462,200 )       | ( 672,045 )       | ( 209,845 )       |
| 受取寄付金振替額      | 462,200           | 672,045           | 209,845           |
| 雑収益           | ( 1,883,906 )     | ( 481,870 )       | ( 1,402,036 )     |
| 受取利息          | 12,923            | 12,372            | 551               |
| 雑収益           | 1,870,983         | 469,498           | 1,401,485         |
| 経常収益計         | 6,725,968,429     | 6,356,607,045     | 369,361,384       |
| (2) 経 常 費 用   |                   |                   |                   |
| 事業費           | ( 7,220,851,718 ) | ( 6,081,108,852 ) | ( 1,139,742,866 ) |
| 給料手当          | 2,014,824,868     | 1,915,803,652     | 99,021,216        |
| 臨時雇賃金         | 125,750,671       | 142,577,269       | 16,826,598        |
| 賞与            | 477,634,575       | 295,956,670       | 181,677,905       |
| 賞与引当金繰入額      | 0                 | 146,679,723       | 146,679,723       |
| 退職給付費用        | 1,453,360,378     | 160,646,941       | 1,292,713,437     |
| 法定福利費         | 388,960,602       | 368,072,669       | 20,887,933        |
| 医薬品費          | 920,962,601       | 668,475,592       | 252,487,009       |

|             |             |             |             |
|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 診療材料費       | 608,488,755 | 565,000,777 | 43,487,978  |
| 医療消耗器具備品費   | 11,118,408  | 16,083,004  | 4,964,596   |
| 給食用材料費      | 40,303,410  | 40,478,404  | 174,994     |
| 検査委託費       | 20,165,011  | 14,732,704  | 5,432,307   |
| 給食委託費       | 6,642,544   | 6,798,000   | 155,456     |
| 寝具委託費       | 25,556,282  | 26,330,606  | 774,324     |
| 医事委託費       | 75,790,000  | 79,068,000  | 3,278,000   |
| 清掃委託費       | 26,602,683  | 26,660,213  | 57,530      |
| 保守委託費       | 17,040,742  | 87,104,005  | 70,063,263  |
| その他委託費      | 259,358,956 | 205,178,804 | 54,180,152  |
| 減価償却費       | 4,938,737   | 9,869,502   | 4,930,765   |
| 賃借料         | 153,309,679 | 193,368,342 | 40,058,663  |
| 家賃地代        | 3,494,810   | 3,071,940   | 422,870     |
| 修繕費         | 27,975,487  | 37,378,042  | 9,402,555   |
| 機器保守料       | 7,071,832   | 114,487,665 | 107,415,833 |
| 車両関係費       | 389,165     | 588,697     | 199,532     |
| 印刷製本費       | 6,815,196   | 4,380,869   | 2,434,327   |
| 燃料費         | 47,211,951  | 62,238,406  | 15,026,455  |
| 研修費         | 11,857,625  | 10,749,850  | 1,107,775   |
| 図書費         | 5,045,118   | 7,618,853   | 2,573,735   |
| 福利厚生費       | 3,137,951   | 24,806,173  | 21,668,222  |
| 旅費交通費       | 23,458,906  | 17,757,588  | 5,701,318   |
| 職員被服費       | 2,350,548   | 3,731,857   | 1,381,309   |
| 通信運搬費       | 6,494,585   | 6,003,346   | 491,239     |
| 広告宣伝費       | 25,630      | 76,567      | 50,937      |
| 消耗品費        | 21,437,629  | 26,406,099  | 4,968,470   |
| 消耗器具備品費     | 1,725,262   | 7,661,184   | 5,935,922   |
| 光熱水料費       | 112,115,698 | 101,344,065 | 10,771,633  |
| 保険料         | 8,229,704   | 5,257,947   | 2,971,757   |
| 渉外費         | 0           | 99,670      | 99,670      |
| 諸会費         | 1,391,233   | 1,204,200   | 187,033     |
| 租税公課        | 7,830,690   | 7,760,274   | 70,416      |
| 雑費          | 5,324,036   | 6,321,847   | 997,811     |
| 報償費         | 282,124,492 | 260,740,085 | 21,384,407  |
| 職員採用費       | 6,529,772   | 24,091,820  | 17,562,048  |
| 支払負担金       | 0           | 370,766,000 | 370,766,000 |
| 貸倒引当金繰入額    | 4,656,775   | 1,729,606   | 6,386,381   |
| 支払利息        | 0           | 0           | 0           |
| 患者外給食用材料費   | 2,582,591   | 5,722,955   | 3,140,364   |
| 貸倒引当金医業外繰入額 | 79,680      | 1,579       | 78,101      |
| 雑損失         | 0           | 226,791     | 226,791     |

|                             |               |               |               |
|-----------------------------|---------------|---------------|---------------|
| 管 理 費                       | ( 3,796,430 ) | ( 4,298,161 ) | ( 501,731 )   |
| 役 員 報 酬                     | 2,776,000     | 3,219,400     | 443,400       |
| そ の 他 委 託 費                 | 944,075       | 944,075       | 0             |
| 旅 費 交 通 費                   | 9,979         | 9,987         | 8             |
| 通 信 運 搬 費                   | 6,933         | 6,835         | 98            |
| 消 耗 品 費                     | 2,569         | 2,034         | 535           |
| 消 耗 器 具 備 品 費               | 0             | 0             | 0             |
| 会 議 費                       | 17,448        | 22,304        | 4,856         |
| 渉 外 費                       | 0             | 44,134        | 44,134        |
| 租 税 公 課                     | 6,360         | 18,900        | 12,540        |
| 雑 費                         | 33,066        | 30,492        | 2,574         |
| 経 常 費 用 計                   | 7,224,648,148 | 6,085,407,013 | 1,139,241,135 |
| 当 期 経 常 増 減 額               | 498,679,719   | 271,200,032   | 769,879,751   |
| 2 経 常 外 増 減 の 部             |               |               |               |
| (1) 経 常 外 収 益               |               |               |               |
| 受 取 補 助 金 等                 | 7,137,728     |               |               |
| 受 取 補 助 金 等 振 替 額           | 7,137,728     |               |               |
| 受 取 寄 付 金 等                 | 1,161,909     |               |               |
| 受 取 寄 付 金 等 振 替 額           | 1,161,909     |               |               |
| 経 常 外 収 益 計                 | 8,299,637     | 0             | 8,299,637     |
| (2) 経 常 外 費 用               |               |               |               |
| 閉 院 損 失                     | 23,273,399    |               |               |
| 閉 院 損 失                     | 23,273,399    | 0             | 23,273,399    |
| 経 常 外 費 用 計                 | 23,273,399    | 0             | 23,273,399    |
| 当 期 経 常 外 増 減 額             | 14,973,762    | 0             | 14,973,762    |
| 税 引 前 当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額 | 513,653,481   | 271,200,032   | 784,853,513   |
| 法 人 税 住 民 税 及 び 事 業 税       | 60,000        | 65,301,389    | 65,241,389    |
| 法 人 税 等 還 付 額               | 82,237,439    | 0             | 82,237,439    |
| 当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額       | 431,476,042   | 205,898,643   | 637,374,685   |
| 一 般 正 味 財 産 期 首 残 高         | 1,331,391,182 | 1,125,492,539 | 205,898,643   |
| 一 般 正 味 財 産 期 末 残 高         | 899,915,140   | 1,331,391,182 | 431,476,042   |
| 指 定 正 味 財 産 増 減 の 部         |               |               |               |
| 受 取 補 助 金 等                 |               |               |               |
| 受 取 地 方 公 共 団 体 補 助 金       | 0             | 0             | 0             |
| 受 取 寄 付 金                   |               |               |               |
| 受 取 寄 付 金                   | 0             | 0             | 0             |
| 一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額       |               |               |               |
| 一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額       | 11,885,041    | 3,911,355     | 7,973,686     |
| 当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額       | 11,885,041    | 3,911,355     | 7,973,686     |
| 指 定 正 味 財 産 期 首 残 高         | 12,598,612    | 16,509,967    | 3,911,355     |
| 指 定 正 味 財 産 期 末 残 高         | 713,571       | 12,598,612    | 11,885,041    |

|          |             |               |             |
|----------|-------------|---------------|-------------|
| 正味財産期末残高 | 900,628,711 | 1,343,989,794 | 443,361,083 |
|----------|-------------|---------------|-------------|

# 財務諸表に対する注記

( 燕労災 )

## 1. 継続事業の前提に関する注記

燕労災病院は令和6年2月29日付で閉院し、清算業務のみ実施している。

## 2. 重要な会計方針

### ( 1 ) 有価証券の評価基準及び評価方法

該当事項なし

### ( 2 ) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

医薬品、診療材料、貯蔵品・・・最終仕入原価法に基づく原価基準によっています。

### ( 3 ) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産・・・法人税法に基づく定額法によっています。

### ( 4 ) 引当金の計上基準

#### 貸倒引当金

債権の貸倒損失に備えるため、法人税法に規定する法定繰入率により、回収不能見込額を計上しています。

#### 賞与引当金

閉院をもって賞与の支払いを完了

#### 退職給付引当金

閉院をもって退職金の支払いを完了

### ( 5 ) キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

該当事項なし

### ( 6 ) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込処理によっています。

## 3. 会計方針の変更

該当事項なし

## 4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。

( 単位 : 円 )

| 科 目     | 前期末残高      | 当期増加額 | 当期減少額      | 当期末残高   |
|---------|------------|-------|------------|---------|
| 特定資産    |            |       |            |         |
| 医療用器械備品 | 12,598,658 | 0     | 11,885,087 | 713,571 |
| 合 計     | 12,598,658 | 0     | 11,885,087 | 713,571 |

## 5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。

( 単位 : 円 )

| 科 目     | 当期末残高   | (うち指定正味財産からの充当額) | (うち一般正味財産からの充当額) | (うち負債に対応する額) |
|---------|---------|------------------|------------------|--------------|
| 特定資産    |         |                  |                  |              |
| 医療用器械備品 | 713,571 | (713,571)        | (0)              | -            |
| 合 計     | 713,571 | (713,571)        | (0)              | (0)          |

6. 担保に供している資産

該当事項なし

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりです。

(単位：円)

| 科 目            | 取得価額       | 減価償却累計額    | 当期末残高   |
|----------------|------------|------------|---------|
| 建 物 (特定資産)     |            | 0          | 0       |
| 医療用器械備品 (特定資産) | 12,598,658 | 11,885,087 | 713,571 |
| その他器械備品 (特定資産) |            |            | 0       |
| 医療用器械備品        |            |            | 0       |
| その他器械備品        |            |            | 0       |
| ソフトウェア         |            |            | 0       |
| 合 計            | 12,598,658 | 11,885,087 | 713,571 |

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

該当事項なし

9. 保証債務(債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。)等の偶発債務

該当事項なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当事項なし

11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりです。

(単位：円)

| 補助金等の名称     | 交付者 | 前期末残高      | 当期増加額       | 当期減少額       | 当期末残高   | 貸借対照表上の記載区分 |
|-------------|-----|------------|-------------|-------------|---------|-------------|
| 補助金         |     |            |             |             |         |             |
| 受取地方公共団体補助金 | 新潟県 | 10,974,503 | 367,158,316 | 377,419,248 | 713,571 | 指定正味財産      |
| 合 計         | 計   | 0          | 367,158,316 | 377,419,248 | 713,571 |             |

12. 基金及び代替基金の増減額及びその残高

該当事項なし

13. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

(単位：円)

| 内 容           | 金 額        |
|---------------|------------|
| 経常損益への振替額     |            |
| 閉院損失に伴う振替額    | 8,299,637  |
| 減価償却費計上による振替額 | 3,585,404  |
| 合 計           | 11,885,041 |

14. 関連当事者との取引の内容

該当事項なし

15. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引

該当事項なし

16. 重要な後発事象

該当事項なし

17. その他

該当事項なし



## 計算書類に係る付属明細書

( 燕労災 )

### 1 . 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記 2 「基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」に記載しているため省略する。

### 2 . 引当金の明細

( 単位 : 円 )

| 科目      | 期首残高        | 当期増加額     | 当期減少額       |           | 期末残高      |
|---------|-------------|-----------|-------------|-----------|-----------|
|         |             |           | 目的使用        | その他       |           |
| 貸倒引当金   | 6,159,894   | 1,582,799 | 0           | 6,159,894 | 1,582,799 |
| 賞与引当金   | 146,679,723 | 0         | 146,679,723 | 0         | 0         |
| 退職給付引当金 | 347,942,554 | 0         | 347,942,554 | 0         | 0         |

( 注 ) 貸倒引当金の当期減少額のその他は洗替によるものである。

# 令和5年度 財産目録

燕労災 参考

令和 6 年 3 月 31 日 現在

(単 位 : 円)

| 科 目                      |                  | 金 額         |               |
|--------------------------|------------------|-------------|---------------|
| <b>資 産 の 部</b>           |                  |             |               |
| <b>1 流 動 資 産</b>         |                  |             |               |
| 現金                       | 窓口両替用等現金         | 0           |               |
| 普通預金                     | 第四北越銀行 燕中央支店     | 550,035,423 |               |
| 普通預金                     | みずほ銀行 新潟支店       | 118,494,863 |               |
| 医業未収金                    | 国保連合・支払基金 診療報酬   | 248,575,878 |               |
| 医業外未収金                   | 職員給食料他           | 368,782     |               |
| その他未収金                   | 退職金負担金 新潟県他      | 86,945,758  |               |
| 医薬品                      | 期末棚卸分            | 9,311,332   |               |
| 診療材料                     | 期末棚卸分            | 1,988,306   |               |
| 貯蔵品(給食用材料)               | 期末棚卸分(備蓄食料他)     | 0           |               |
| 貯蔵品(燃料)                  | 期末棚卸分(重油)        | 0           |               |
| 貯蔵品(その他)                 | 期末棚卸分(切手)        | 4,208       |               |
| 貯蔵品(その他)                 | 看護衣等職員被服         | 0           |               |
| 前払費用                     | 病院賠償責任保険         | 0           |               |
| 貸倒引当金                    | 債権の貸倒損失に備えるもの    | 1,582,799   |               |
| 流動資産合計                   |                  |             | 1,014,141,751 |
| <b>2 固 定 資 産</b>         |                  |             |               |
| <b>(1) 特 定 資 産</b>       |                  |             |               |
| 医療用器械備品                  | 簡易陰圧装置(病院付帯)     | 713,571     |               |
| 特定資産合計                   |                  | 713,571     |               |
| <b>(2) そ の 他 固 定 資 産</b> |                  |             |               |
| その他器械備品                  | 人事給与システム除却他      | 0           |               |
| 長期貸付金                    |                  | 10,149,040  |               |
| その他固定資産合計                |                  | 10,149,040  |               |
| 固定資産合計                   |                  |             | 10,862,611    |
| 資産合計                     |                  |             | 1,025,004,362 |
| <b>負 債 の 部</b>           |                  |             |               |
| <b>1 流 動 負 債</b>         |                  |             |               |
| 未払金                      | 事業費に対する未払額等      | 116,968,921 |               |
| 未払法人税等                   | 法人税他             | 60,000      |               |
| 未払消費税等                   | 消費税及び地方消費税       | 7,346,730   |               |
| 預り金                      | 源泉所得税等           | 0           |               |
| 短期借入金                    | 運営資金借入金 みずほ銀行    | 0           |               |
| 仮受金                      | 診療費返還金他          | 0           |               |
| 賞与引当金                    | 職員に対する賞与支給に備えるもの | 0           |               |
| 流動負債合計                   |                  |             | 124,375,651   |

|         |               |   |             |
|---------|---------------|---|-------------|
| 2 固定負債  |               |   |             |
| 退職給付引当金 | 職員の退職給付に備えるもの | 0 |             |
| 固定負債合計  |               | 0 |             |
| 負債合計    |               |   | 124,375,651 |
| 正味財産    |               |   | 900,628,711 |